



クラス		受験番号	
出席番号		氏名	

2014年度

第3回 全統高2模試

学習の手引き

(解答・解説集)

2014年11月実施

英 語	1
数 学	35
国 語	92

※本冊子巻末に「自己採点シート」と「学力アップ・志望校合格のための復習法」を掲載していますので、志望校合格へむけた効果的な復習のためにご活用ください。

河合塾



1464930329501000

【英語】

『学習の手引き』を読むにあたって

1 『学習の手引き』について

この『学習の手引き』はすべての問題に対し
て、原則として、問題がそのまま印刷されてい
ます。したがって、この『学習の手引き』を読
むことで、問題をもう一度やり直し、自分のわ
からなかつたところをチェックできるようにな
っています。どうか、皆さんの学習に十分役
立ててください。その際、この『学習の手引き』
で用いた記号・略号について理解した上で、読
み進んでください。

2 『学習の手引き』の組み立て

【設問解説】 【解答】と【配点】に続いて、設問を
解く際の合理的な手順を解説しています。

☆☆☆ 各小問の難易度は、以下のように表示し
ています。

★☆☆ 基本（現段階でぜひとも解いてほしい
設問）

★★☆ 標準（現段階でできれば解いてほしい
設問）

★★★ 発展（現段階で解ければ学習が十分に
進んでいることを示す設問）

重要 設問を解くのに最も重要な知識、または解
法に直接つながる考え方を示しています。この
重要に続いて団で解法の手順を示しています。

手がかり 解法の手がかりを示しています。**重要**が
解法の出発点にならない場合に、設問の糸口が
どこにあるのかを示すものです。必ず読んでく
ださい。

研究 設問のポイントに関する詳細な解説です。
できるだけ読んでください。

▶ 正解のポイントや設問文に用いられている語
句や表現に関する解説です。

▷ 誤った解答に関する解説です。なぜそれが間
違っているのかを書いています。

（） 出題者からのアドバイスを示しています。

File 設問を解くための基本的知識のまとめ、ま
たはより深い理解のための発展的知識のまとめ
です。

【要旨】 長文問題の各段落の内容をまとめていま
す。

【本文解説】 長文問題での英文本体の文ごとの解
説です。1), 2), 3) ... は文番号を示します。

3 『学習の手引き』で用いた略号

S 主語

V 動詞

O(O₁ / O₂) 動詞の目的語

C 補語

M 修飾要素

（形容詞[句 / 節]または副詞[句 / 節]）

A / B 名詞または名詞相当表現

X / Y 文法的に同じ働きをする要素

to do to 不定詞

do 原形不定詞(to のつかない不定詞)

doing 現在分詞または動名詞

done 過去分詞

did 過去形

have done 完了形

イタリック体(斜体)の部分には様々な動詞
がくることを示す。

one's 人称代名詞の所有格

oneself 再帰代名詞

that節 接続詞 that によって導かれる節
(that S V ...)

wh-節 what / when / where / why / how /
whether などに導かれる節

cf. 参照例文

[] 言いかえることができる語句

() 省略することができる語句

① リスニング

【解答】

- A 1. should've / should have
 - 2. cut it out
 - 3. in an hour
- B 1. ウ 2. エ 3. エ
 - C 1. エ 2. エ 3. ウ

【配点】(20点)

- A 1. 1点 2~3. 2点×2
- B 2点×3 C 3点×3

A ディクテーション

1. ★☆☆

【放送された英文】

Wow! Beautiful. We can see Mt. Fuji in the distance. I (should've) brought a camera!

【放送された英文の訳】

まあ！ きれいね。遠くに富士山が見えるわよ。カメラを持ってくるべきだったわ。

【語句】

- in the distance 「遠くに」

【設問解説】

should have は、短縮形 should've になると /ʃúdəv/ と聞こえる。

have の短縮形

could などの助動詞に続く have が短縮形've になると、could've / kúdəv/ のように聞こえる。

- 〈例〉 could've / kúdəv /
- must've / mástəv /
- should've / ʃúdəv /
- would've / wúdəv /

File

2. ★☆☆

【放送された英文】

This article is interesting. May I (cut it

out) to read it again?

【放送された英文の訳】

この記事は面白いわ。もう一回読めるようにそれを切り抜いてもいいかしら。

【語句】

- article 「記事」
- cut O out / cut out O 「Oを切り抜く」

【設問解説】

cut の語末の子音 /t/ が、it の語頭の母音 /ɪ/ と連結し、さらに it の語末の子音 /t/ が out の語頭の母音 /au/ と連結し、cut it out が /kʌtɪtaʊt/ と聞こえる。

音の連結

語末の子音が、語頭の母音と連結されて発音される。

〈例〉 hit it off / hɪtɪtəf /
walk around / wɔ:kəraund /

File

☺ 音のつながりのルールを意識しよう！

3. ★☆☆

【放送された英文】

If we keep this pace up, we will reach the top of this mountain (in an hour).

【放送された英文の訳】

このペースで行けば、私たちは一時間後に山頂に着くでしょう。

【語句】

- keep O up / keep up O 「Oを維持する」
- reach O 「Oにたどり着く」
- in A (期間) 「(今から)A後に」

【設問解説】

in の語末の子音 /n/ が、an の語頭の母音 /ə/ と連結し、さらに an の語末の子音 /n/ が hour の語頭の母音 /au/ と連結し、in an hour が /ɪnənauər/ と聞こえる。

B ダイアローグ

1. ★☆☆

【放送された英文】(M:男性, W:女性)

M: Could you put me through to Mr. Green?

W: May I ask who is calling, please?

M: My name is George Kerry from XYZ University.

【放送された英文の訳】

男性：グリーンさんに電話をつないでいただけますか。

女性：どちら様かお伺いしてもよろしいでしょうか。

男性：XYZ 大学のジョージ・ケリーと申します。

【選択肢の訳】

ア. どちら様がおかげかをあなたにお伺いしたのですが。

イ. 私があなたに後でかけ直しましょうか。

ウ. 電話をつなぎする間、そのままお待ちください。

エ. 伝言を残したいですか。

【語句】

- put A through to B 「AをBに(電話で)つなぐ」

【設問解説】

まず Could you put me through to Mr. Green? から、電話をかけてきた男性はグリーン氏と話したがっているのがわかる。女性が May I ask who is calling, please? と尋ねているのを聞き取れば、相手が誰であるかを確認した上でグリーン氏に電話をつなぐと予想できる。したがって、ウが正解。

2. ★★☆

【放送された英文】

M: How about this tablet computer, Madam?

W: I like ordinary computers with a keyboard interface.

M: You can attach a keyboard when necessary.

【放送された英文の訳】

男性：奥様、こちらのタブレット型コンピュー

ターはいかがですか。

女性：私はキーボード付きの普通のコンピューターがいいわ。

男性：必要なときにはキーボードを取り付けることができますよ。

【選択肢の訳】

ア. 私のコンピューターにキーボードを取り付けることはできますか。

イ. 私にはキーボードは必要ありません。

ウ. タブレット型のものが売り出されるまで待ちます。

エ. それにキーボードを取り付けて試させてください。

【語句】

- tablet computer 「タブレット型コンピューター」
- Madam 「奥様」(呼びかけ語)
- ordinary 「普通の」
- with a keyboard interface 「キーボード付きの」
- attach O 「Oを取り付ける」
- when necessary 「必要なときに(は)」

【設問解説】

男性が、How about this tablet computer, Madam? と女性にタブレット型コンピューターを勧めたが、女性は I like ordinary computers with a keyboard interface. と述べており、タブレット型にはキーボードが付いていないので興味がないと考えられる。次に男性が You can attach a keyboard when necessary. と言ったのを聞き取れば、女性が興味を示し、タブレット型にキーボードをつけた状態で試してみると予想できる。したがって、エが正解。

3. ★★☆

【放送された英文】

M: I'm making a business trip to Kobe tomorrow. I will leave home at five in the morning.

W: What time will you get home?

M: I'm not sure, but I will have dinner with

my customers there.

【放送された英文の訳】

男性：明日神戸に出張に行く。朝の5時に家を出るよ。

女性：帰りは何時なの。

男性：わからないけど、お客様と向こうで夕食を食べてくるよ。

【選択肢の訳】

ア. あなたはとてもお腹が空くと思うわ。

イ. わかったわ。たくさん夕食を用意しておくわね。

ウ. それなら明日あなたと一緒に外食するわ。

エ. つまりとても遅くなるということね？

【語句】

・ make a business trip to A 「Aに出張に行く」

・ customer 「顧客」

【設問解説】

明日神戸に出張に行くことを女性に伝えている男性に対し、女性が What time will you get home? と尋ねている。すると男性は I'm not sure と言しながらも I will have dinner with my customers there. と言っているのを聞き取れば、帰りが遅くなることが予想できる。したがって、エが正解。

（⌚） リスニングの対話問題では、状況の把握が大切！

C モノローグ

【放送された英文】

Susan B. Anthony was born in 1820. She grew up in New York, where she began teaching school at 15. At 29, she became a reformer. She was against drinking liquor, and she worked to help end slavery. She also became a suffragist. This means she felt that women should have the same voting rights as men. After the war, she helped found the National Woman Suffrage Association. Its goal was to change the U.S. Constitution so that women could vote. She worked for the rest of her life to gain the vote.

In 1979, because Anthony was a woman that the United States was proud of, they put her face on a dollar coin. This was the first time that a woman's face was shown on U.S. money. However, the coin was very close in size to a quarter—a 25 cent coin—, so many people thought it was easy to confuse the two coins. Finally, the government stopped making the Susan B. Anthony dollar in 1981.

Q1: What did Susan B. Anthony do at first?

Q2: What was the purpose of the National Woman Suffrage Association?

Q3: What is one possible reason the government stopped making the Anthony dollar?

【放送された英文の訳】

スザン・B・アンソニーは1820年に生まれた。彼女はニューヨークで育ち、そこで15歳のときに学校の教師になった。29歳のときに、改革支持者となった。彼女は飲酒に反対し、奴隸制度を終わらせることを手助けしようと尽力した。彼女は参政権拡張論者にもなった。これは、彼女が、女性も男性と同じ選挙権を持つべきだと考えていたということだ。戦後、彼女は全国女性参政権協会の設立を手助けした。その目標は、女性が投票できるようにアメリカ合衆国憲法を変えることだった。彼女はその後一生、投票権を得ることに尽力した。

1979年に、アンソニーはアメリカ合衆国が誇りとする女性であるということで、彼女の顔が1ドル硬貨に載せられた。女性の顔がアメリカのお金に載せられたのはこれが初めてだった。しかし、その硬貨はクォーター、つまり25セント硬貨と大きさがとても似ており、その結果多くの人々がその2つの硬貨は混同しやすいと思った。最終的に、政府は1981年にスザン・B・アンソニー1ドル硬貨の製造を中止した。

【語句】

- ・ teach school 「学校の教師をする」
- ・ reformer 「改革者 / 改革支持者」
- ・ be against A 「Aに反対である」
- ・ liquor 「酒」
- ・ help (to) do 「…することの手助けをする」

- slavery 「奴隸制度」
- suffragist 「参政権拡張論者」
- mean (that) S V ... 「…を意味する / …ということである」
- the same A as B 「Bと同じA」
- voting right 「投票権 / 選挙権」
- found O 「Oを設立する」
- National Woman Suffrage Association 「全国女性参政権協会」(スザン・B・アンソニーによって, 1868年にニューヨーク市で設立された協会)
- goal 「目標」
- U.S. Constitution 「アメリカ合衆国憲法」
- so that S can do ... 「…できるように」
- vote 「投票する」「投票権」
- the rest of A 「Aの残り」
- gain O 「Oを得る」
- be proud of A 「Aを誇りに思う」
- put A on B 「AをBに載せる」
- dollar coin 「1ドル硬貨」
- be close in A to B 「Aの点でBに似ている / AがBに似ている」
- quarter 「クオーター(25セント硬貨)」
- confuse O 「Oを混同する」

1. ★☆☆

【質問の訳】

最初は、スザン・B・アンソニーの職業は何であったか。

【選択肢の訳】

- ア. 彼女は労働者として働いた。
- イ. 彼女は役者として働いた。
- ウ. 彼女は政治家として働いた。
- エ. 彼女は教師として働いた。**

【設問解説】

【放送された英文】の第1段落第1～2文の Susan B. Anthony was born in 1820. She grew up in New York, where she began teaching school at 15. を聞き取れば、彼女が最初についていた職業は教師であったとわかる。したがって、エが正解。

2. ★★☆

【質問の訳】

全国女性参政権協会の目的は何であったか。

【選択肢の訳】

- ア. 完全に奴隸制度を終わらせること。
- イ. 飲酒に反対する運動をすること。
- ウ. アメリカ合衆国憲法を書くこと。

エ. 女性の投票権を得ること。

【設問解説】

【放送された英文】の第1段落第7～8文の After the war, she helped found the National Woman Suffrage Association. Its goal was to change the U.S. Constitution so that women could vote. を聞き取れば、women could vote が全国女性参政権協会の目的であったとわかる。したがって、エが正解。

3. ★★☆

【質問の訳】

政府がアンソニー1ドル硬貨を製造するのをやめた理由の1つになりえるものはどれか。

【選択肢の訳】

- ア. その上に大きな十字型があったから。
- イ. それは女性の顔が載せられた合衆国最初の硬貨だったから。

ウ. 多くの人がそれをクオーターと間違えそうであったから。

エ. 政府はそれを作るのに多くのお金を使っていたから。

【設問解説】

【放送された英文】の第2段落第3文の However, the coin was very close in size to a quarter — a 25 cent coin —, so many people thought it was easy to confuse the two coins. を聞き取れば、アンソニー1ドル硬貨とクオーター(25セント硬貨)の大きさがとても似ているため混同しやすかったということがわかる。したがって、ウが正解。

② 発音・アクセント

【解答】

- | | |
|--------|------|
| A 1. ア | 2. イ |
| B 1. ア | 2. イ |

【配点】(8点)

A 2点×2 B 2点×2

【設問解説】

A 母音・子音の発音

1. ★☆☆

重要 doughnut や although の -ough- は、 / ou / と発音する。

doughnut

ア. although

イ. cough

ウ. drought

エ. thought

doughnut / dóunət / (名) ドーナツ

ア. although / ɔ:lðóu / (接) …けれども

イ. cough / kóf / (動) 咳をする
(名) 咳

ウ. drought / dráut / (名) 干ばつ

エ. thought / θó:t / (名) 考えること / 思考
(動) think 「考える」の過去形・過去分詞形

▣ **重要**より、アが正解。

【研究】

▷イ cough の -ough は、 / o(:)f / と発音する。

▷ウ drought の -ough- は、 / au / と発音する。

▷エ thought の -ough- は、 / ɔ:/ と発音する。

-ough- の発音

主に以下のようになる。

(1) / ou / と発音する場合

〈例〉 though / ðóu / (接) …けれども

(2) / ɔ:/ と発音する場合

〈例〉 bought / bó:t /

(動) buy 「…を買う」の過去形・過去分詞形

brought / bró:t /

(動) bring 「…を持って来る」の過去形・過去分詞形

(3) / ʌf / と発音する場合

〈例〉 enough / mÁf / (形) 十分な

(副) 十分に

tough / tÁf / (形) タフな / 丈夫な

(4) その他の場合

〈例〉 bough / báu / (名) (木の)大枝

through / θrù: / (前) …を通して

File

2. ★★☆

重要 cupboard や receipt の -p- は、黙字で発音しない。

cupboard

ア. except

イ. receipt

ウ. reception

エ. surplus

cupboard / kÁbərd / (名) 食器戸棚

ア. except / ɪksépt /

(前) …を除いて / …以外は

イ. receipt / rɪsí:t / (名) レシート / 領収書

ウ. reception / rɪsépʃn /

(名) レセプション / 接待 / 受付

エ. surplus / sÁ:rplas / (名) 余り / 余剰

▣ **重要**より、イが正解。

【研究】

▷ア, ウ, エ except の -p-, reception の -p-, surplus の -p- は、 / p / と発音する。

黙字

climb の -b, could の -d, know の k-, sword の -w- のように、発音されない綴り字のことを黙字という。黙字の -p- を含む主な語は以下の通り。

〈例〉 pneumonia / n(j)u(:)móuniə / (名) 肺炎
psychology / saɪkó:λedži / (名) 心理学

File

B アクセントの位置

1. ★★☆

重要 accessory は、第2音節にアクセントがある。

ア. ac-ces-so-ry	イ. fash-ion-a-ble
ウ. hel-i-cop-ter	エ. mel-an-chol-y

ア. ac-ces-so-ry / əksésɔri /	(名) アクセサリー / 装飾品
------------------------------	------------------

イ. fash-ion-a-ble / fæʃənəbl /
(形) ファショナブルな / 流行の
ウ. hel-i-cop-ter / héləkà:ptər /
(名) ヘリコプター
エ. mel-an-chol-y / mélənkà:li /
(名) メランコリー / 憂うつ / もの悲しさ

⌚ [重要]より、accessory は第2音節にアクセントがある。

⌚ それ以外のものは第1音節にアクセントがあるので、アが正解。

研究

▶右下向きのアクセント記号(⌚)は、2番目に強く発音される第2アクセントを示す。通常「アクセント」と言えば、第1アクセントを指す。

😊 カタカナ語(外来語)の英語本来のアクセントの位置に注意しよう！

2. ★★☆

重要 -tial で終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

ア. as-tron-o-my	イ. in-flu-en-tial
ウ. lux-u-ri-ous	エ. ne-ces-si-ty

ア. as-tron-o-my / əstrá:nəmi / (名) 天文学

イ. in-flu-en-tial / influénʃəl /	(形) 影響を及ぼす / 有力な
----------------------------------	------------------

ウ. lux-u-ri-ous / lágzúəriəs /
(形) 豪華な / ぜいたくな
エ. ne-ces-si-ty / nəsésəti /
(名) 必要(性) / 必需品

⌚ [重要]より、influential は第3音節にアクセントがある。

ントがある。

⌚ それ以外のものは第2音節にアクセントがあるので、イが正解。

研究

▷ウ luxurious のように、-ious で終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

▷エ necessity のように、-ity で終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

-tial で終わる語のアクセントの位置

-tial で終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

⌚ 例) essential / ɪséնʃəl /
(形) 不可欠の / 本質的な
initial / ɪnɪʃəl / (形) 初めの
(名) イニシャル / 頭文字
potential / pətéնʃəl /
(形) 可能な / 潜在的な
(名) ポテンシャル / 潜在能力

File

直前の音節にアクセントがある語尾

次の綴りで終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

(1) -ious で終わる語
⌚ 例) mysterious / místíriəs /
(形) ミステリアスな / 不思議な
serious / síriəs /
(形) シリアスな / 本気の / 深刻な
(2) -ity で終わる語
⌚ 例) community / kəmju:nəti /
(名) コミュニティー / 共同体
humanity / hju:mánəti /
(名) 人間性 / 人類

File

😊 アクセントのルールを覚えよう！

③ 文法・語法・熟語

【解答】

- | | | | |
|-----------|---------|------|------|
| A 1. イ | 2. ア | 3. エ | 4. エ |
| 5. ウ | 6. イ | 7. ア | 8. ウ |
| 9. イ | 10. ア | | |
| B 1. ア | 2. ア | | |
| C 1. help | 2. make | | |
| 3. head | 4. from | | |

【配点】(32点)

A 2点×10 B 2点×2 C 2点×4

【設問解説】

A

1. ★☆☆

重要 1 till [until] S V ... は、「…するまで（ずっと）」という意味の副詞節。

重要 2 時を表す副詞節内では、未来の事柄は現在時制で表す。

Will you look after the baby for me till dinner ()?

ア. is getting ready **イ. is ready**

ウ. might be ready エ. will get ready

(訳) 夕食ができるまで私の代わりに赤ちゃんの面倒を見てくれる？

⌚ **重要 1** より、文全体は、「夕食ができるまで私の代わりに赤ちゃんの面倒を見てくれる？」という意味になると考えられる。

⌚ **重要 2** より、イが正解。

【研究】

△ア 「夕食ができるかかるまで私の代わりに赤ちゃんの面倒を見てくれる？」という意味になり、文意が不自然。

時・条件を表す副詞節における未来表現

時・条件を表す副詞節中では、未来の事柄を現在形や現在完了形で表す。

1. 時を表す副詞節

〈例 1〉 When I graduate from college, I will go back to my hometown.

(大学を卒業したら、故郷に帰ります)

〈例 2〉 We will start as soon as it has stopped raining.

(雨が上がったらすぐ出発します)

※時を表す副詞節を導く接続詞には、when, after, before, until [till], as soon as, by the timeなどがある。

2. 条件を表す副詞節

〈例 1〉 If I have time next week, I will visit you.

(来週暇があったら、あなたを訪問します)

〈例 2〉 I will return your book on Friday if I have finished reading it.

(あなたの本を読み終わったら、金曜日に返します)

※条件を表す副詞節を導く接続詞には、if, unless, as [so] long asなどがある。

File

⌚ 時・条件を表す副詞節内の時制は入試問題では頻出！

2. ★☆☆

重要 1 look C(形容詞)は、「Cに見える／外見がCである」という意味。

重要 2 〈so+形容詞[副詞]+that S V ...〉は、「たいへん～ので… / …するほど～」という意味。

重要 3 alike には、形容詞で「(外見・性質などが)似ている」という意味がある。

Bill and Tom look so () that people often think they are twins.

ア. alike

イ. like

ウ. likely

エ. likewise

(訳) ビルとトムは、人々がよく双子だと思ってしまうほど似ている。

⌚ **重要 1, 2** より、文全体は、「ビルとトムは、人々がよく双子だと思ってしまうほど似ている」という意味になると考えられる。

⌚ **重要 3** より、アが正解。

研究

▷イ 形容詞の like は、「同じ / 似ている」という意味ではあるが、通例、限定用法(名詞を修飾する用法)で用いる。

▷ウ 形容詞の likely は「ありそうな / 起こりそうな」、副詞の likely は「たぶん / おそらく」という意味。

▷エ 副詞 likewise は、「同様に / さらに」という意味。

3. ★☆☆

重要 most of A は、「Aのほとんど」という意味。

() the houses you see here were built in the latter half of the 19th century.

- ア. Almost イ. Almost of
ウ. Most ロ. **Most of**

(訳) ここに見える家のほとんどは、19世紀後半に建てられたものだ。

手がかり 文全体は、「ここに見える家のほとんどは、19世紀後半に建てられたものだ」という意味になると考えられる。

Ⓐ **重要**より、エが正解。

研究

▷you see here は、the houses を先行詞とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

▷ア 通例、almost A という形は不可。

▷イ almost of A という形は不可。

▷ウ Most of the houses とすれば正しい。

「ほとんど(すべて)のA」の表現

1. 副詞 almost 「ほとんど」を用いた場合

〈例1〉 **Almost all** people want to be happy.
(ほとんどすべての人が幸せになりたいと思う)

〈例2〉 **Almost all** (of) the people in the city voted for her.
(その市のほとんどすべての人が彼女に投票した)

*almost の後には必ず all が必要。

2. most を用いた場合

① 形容詞の most 「ほとんどの」

〈例〉 **Most** people want to be happy.
(ほとんどの人が幸せになりたいと思う)

*形容詞の most には無冠詞の名詞が続く。

② 名詞の most 「ほとんど」

〈例〉 **Most** of the people in the city voted for her.
(その市の人々のほとんどが彼女に投票した)

*most of の後には、定冠詞 the や人称代名詞の所有格など限定詞が付いた名詞がある。

File

4. ★☆☆

重要 the others は、「残り全員[全部]」という意味。

My aunt gave some candies to my sister and me. I took two and she took ().

- ア. each other イ. one another
ウ. other ロ. **the others**

(訳) おばが妹と私にキャンディーをいくつかくれた。私が 2 つとり、残りを妹がとった。

手がかり 第 1 文は「おばが妹と私にキャンディーをいくつかくれた」という意味。

Ⓐ 第 2 文の I took two は、「私が(そのキャンディーのうちの) 2 つをとった」という意味で、後半は、「残り全部を妹がとった」という意味になるとを考えられる。

Ⓑ **重要**より、エが正解。

研究

▷ア, イ いずれも「互い」という意味の代名詞で、文意が通らない。

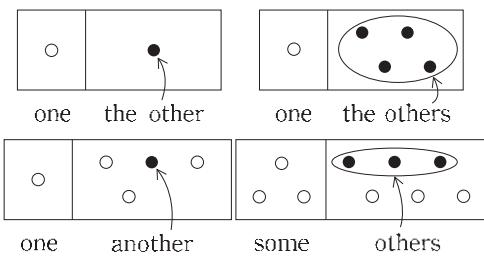
▷ウ other を名詞として用いる場合は可算名詞なので、無冠詞単数で用いられることはない。

「他のもの」の表現

other は「他のもの」という意味で、残りのすべてのものを指す場合には the がつく。複数か単数かは、残りのものの数によって決まる。

	单 数	複 数
残りのすべてのもの	the other	the others
残りのものの一部	another	others

次のように理解しておくとよい。



File

5. ★★☆

重要 **imaginative** には、「想像力に富んだ」という意味がある。

My uncle Tom succeeded in business, mainly because he was ().

- ア. imaginable イ. imaginary
ウ. imaginative エ. imagined

(訳) トムおじさんは、主に想像力が豊かだったために事業で成功した。

手がかり because 以下で、トムおじさんが事業で成功した理由が述べられている。

☞ **重要**より、事業で成功する理由として he was imaginative がふさわしいので、ウが正解。

研究

▷ ア, イ, エ それぞれ, imaginable 「想像できる」, imaginary 「想像上の」, imagined 「想像された」 という意味。

意味の紛らわしい形容詞

considerate	「思いやりのある」
considerable	「かなりの」
economic	「経済的」
economical	「経済的な / お得な」
favorite	「お気に入りの」
favorable	「都合のよい」
industrial	「産業的」
industrious	「勤勉な」
imaginable	「想像できる」
imaginary	「想像上の」
imaginative	「想像力に富んだ」
literate	「読み書きができる」
literal	「文字通りの」
literary	「文学の」
respectable	「立派な / きちんとした」
respectful	「礼儀正しい」
respective	「それぞれの」
sensational	「扇情的な」
sensitive	「敏感な」
sensible	「分別のある」
sensory	「感覚の」
successful	「成功した」
successive	「連続した」

File

6. ★★☆

重要 1 接続詞の後には文の要素がそろった完全な文が続く。

重要 2 whenever は、「…(する)ときはいつでも」という意味の接続詞。

重要 3 on には、「(映画・演劇などが)上映 [演] 中」という意味がある。

You have to be quiet () a film is on.

- ア. whatever イ. whenever
 ウ. whichever エ. whoever

(訳) 映画の上映中はいつも静かにしていなければならない。

☞ **重要 3** より, a film is on は SVC の完全

な文である。

☞ **重要 1, 2** より、イが正解。

[研究]

▷ア 不定冠詞 a がなく、whatever film is on であれば、「どんな映画が上映中でも」という意味になり、文として成立する。

▷ウ 不定冠詞 a がなく、whichever film is on であれば、「どちらの映画が上映中でも」という意味になり、文として成立する。

▷エ 不定冠詞 a がなく、whoever を whoever とし whenever film is on であれば、「誰の映画が上映中でも」という意味になり、文として成立する。

7. ★★☆

重要 1 make O do は、「Oに…させる」という意味。

重要 2 give up doing は、「…するのをあきらめる」という意味。

重要 3 It is S that do は、「…するのはSだ」という意味で、Sを強調する強調構文。

It was my husband's illness () traveling to Kanazawa.

ア. that made my family give up

- イ. that my family didn't go
- ウ. what my family put off
- エ. what my family stopped

(訳) 家族が金沢旅行をするのをあきらめたのは、夫の病気のせいだった。

☞ **重要 1, 2, 3** より、空所に that made my family give up を入れた It was my husband's illness that made my family give up traveling to Kanazawa. は、「家族に金沢旅行をするのをあきらめさせたのは、夫の病気だった」という意味の、Sを強調する強調構文であり、文意も通るので、アが正解。

[研究]

►It was と that をはずせば、My husband's illness made my family give up traveling to Kanazawa. 「夫の病気が、家族に金沢旅行をするのをあきらめさせた」という文になる。

▷イ 「家族が金沢旅行をしなかったのは、夫の

病気だった」という意味の形式主語構文になり、文意が通らない。

▷ウ my family put off traveling to Kanazawa は、「家族が金沢旅行をするのを延期した」という意味になるが、what が節内で役割を持たず、It was my husband's illness ともつながらない。

▷エ my family stopped traveling to Kanazawa は、「家族は金沢旅行をするのをやめた」という意味になるが、what が節内で役割を持たず、It was my husband's illness ともつながらない。

8. ★★☆

重要 1 I wish S had done. 「Sが…していればよかったのにと思う」は、過去の事実に反することや過去に実現できなかったことへの願望、または後悔を表すときの定型表現。

重要 2 could have done には、「(…しようと思えば)…できた(だろう)」という意味の過去の非現実の想定を表す仮定法過去完了の用法がある。

There was nothing I (), but still, I wish you had told me about the matter.

ア. can do イ. can have done

ウ. could have done エ. was able to do

(訳) しようと思っても私にできたであろうことは何もなかったが、それでもその問題について君に話してもらいたかった。

☞ **重要 1** より、文の後半は、「それでもその問題について君に話してもらいたかった」という意味となり、実際は「私」は「君」に話してもらえなかつたとわかる。

☞ 前半も、「もし君が私にその問題について話してくれていたら」という非現実の想定のもとで、「しようと思っても私にできたであろうことは何もなかった」という過去の非現実を表すことになるので、**重要 2** より、ウが正解。

[研究]

▷ア, イ, エ いずれも、過去の非現実の想定にならない。

条件を捕って考える仮定法

1. could do 「…しようと思えば…できるだろう」

〈例〉 I am so hungry that I could eat a horse.

(とても空腹なので食べようと思えば馬1頭でも食べられるだろう)

2. could have done 「…しようと思えば…できただろう」

〈例〉 I got high marks in math, but I could have got full marks.

(数学で高得点をとったが、ところうと思えば満点をとれただろう)

File

9. ★☆☆

重要 1 available には、「(人が)会うことができる」という意味がある。

重要 2 That depends. は、「それは時と場合による」という意味。

A: Is Dr. Yamada available on Saturdays?

B: (). So please contact us in advance.

ア. No problem

イ. That depends

ウ. That's all

エ. That's too bad

(訳)

A: 山田先生には土曜にお会いできますか。

B: それは時と場合によります。ですので、あらかじめご連絡ください。

Ⓐ **重要 1** より、Aが土曜に山田先生に会えるかどうかを尋ねていることがわかる。

Ⓑ 空所の直後でBが「ですので、あらかじめ連絡をください」と言っている。

Ⓑ 空所でBが土曜に山田先生に会えるとはかぎらないという趣旨のことを言ったと考えれば自然な対話になるので、**重要 2** より、イが正解。

研究

▷ ア 「かまいませんよ」という意味で、直後とつながらない。

▷ ウ 「それだけです」という意味。

▷ エ 「それはお気の毒に」という意味。

10. ★☆☆

重要 I've had enough. には、「もう十分です」という意味で、飲食物などの勧めを断るときの定型表現として用いられることがある。

A: You are a very good cook, Kyoko. This meatloaf was delicious.

B: I'm happy to hear that. Would you like some more wine?

A: (). Can I have some coffee instead?

ア. I've had enough

イ. Never mind

ウ. Of course

エ. One more glass, please

(訳)

A: お料理とてもお上手ですね、京子さん。このミートローフはとてもおいしかったです。

B: そう言っていただいてうれしいです。もう少しワインをいかがですか。

A: もう十分いただきました。代わりにコーヒーをいただけますか。

手がかり 空所の直前でBがAに「もう少しワインをいかがですか」と勧めている。

Ⓐ 空所の直後でAが「代わりにコーヒーをいただけますか」と言っている。

Ⓑ 空所でAがワインの勧めを断ったと考えれば自然な対話になるので、**重要**より、アが正解。

研究

▷ I've had enough. は、「もうたくさんだ／もううんざりだ」という意味で用いられることもある。

▷ イ お礼やお詫びに対して「気にするな／かまわないよ」という意味。

▷ ウ 「もちろんです」という意味。

▷ エ 「もう一杯ください」という意味。

B

1. ★★☆

重要 「…のこのA」は、〈this A(名詞) of + 所有代名詞〉で表す。

ア. His this computer is the latest model, which went on sale last month.

- イ. Jim was not attending to what his teacher was saying.
- ウ. The studies of iPS cells will be of great use in a whole range of fields.
- エ. This year neither my wife nor I had a dream on New Year's Day.

(訳)

ア. 彼のこのコンピューターは先月売り出された最新モデルです。

- イ. ジムは彼の先生が言っていることを注意して聞いていなかった。
- ウ. iPS 細胞の研究は広範な分野において大いに役立つだろう。
- エ. 今年、妻も私も元日に夢を見なかった。

手がかり アは、「彼のこのコンピューターは先月売り出された最新モデルです」という意味だと考えられる。

【重要】より、アの His this computer を This computer of his とすれば、正しい文になる。

研究

▷イ attend to A 「Aを注意して聞く」と関係代名詞 what を用いた文。

▷ウ be of great use 「大いに役立つ」と a whole range of A 「広範なA」を用いた文。

▷エ 副詞句 this year 「今年」と neither X nor Y 「XもYも…ない」と have a dream 「夢を見る」と New Year's Day 「元日」を用いた文。

〈this A(名詞) of + 所有代名詞〉と同類の表現

所有格は、a(n), this, that, these, those, some, any, noなどと並べて名詞の前に用いることはできないので、〈a(n) [this / that / these / those / some / any / no] A(名詞) of + 所有代名詞〉の形で使う。

〈例〉 This fountain pen of yours is made in France, isn't it?

×Your this fountain pen is made in France, isn't it?

×This your fountain pen is made in France, isn't it?

(君のこの万年筆はフランス製だね)

File

2. ★★☆

重要 1 「ほとんどない」という意味の形容詞 few / little は、〈few + 可算名詞の複数形〉、〈little + 不可算名詞〉の形で用いる。

重要 2 information は、不可算名詞。

ア. There are few informations on Yamatai-Koku, so historians don't agree about where it was.

イ. This kind of useful technology should be made better use of.

ウ. What do you say to going fishing in the river next weekend, if you have nothing to do?

エ. You should have behaved more respectfully to your elders the other day.

(訳)

ア. 邪馬台国についてはほとんど情報がないので、歴史家たちはそれがどこにあったかについて意見が一致していない。

イ. このような有用な科学技術はもっと有効に利用されるべきだ。

ウ. もしする事がないのなら、次の週末にその川に釣りに行くのはいかがですか。

エ. 先日、君は年長者に対してもっと丁重に振る舞うべきだったのに。

【重要 1, 2】より、アの There are few informations を There is little information とすれば、正しい文となる。

研究

▶「小さな」の意味の little は、可算名詞と共に用いることができる。

▷イ make better use of A 「Aをもっとうまく利用する」を受動態にした A is made better use of. を用いた文。

▷ウ What do you say to *doing*? 「…するのはいかがですか」と go fishing in A 「Aに釣りに行く」を用いた文。What do you say to *doing*? の to は前置詞なので、後には動詞の原形ではなく動名詞がくる。

▷エ should have *done* 「…するべきだったのに」と副詞句 the other day 「先日」を用いた文。

C

1. ★☆☆

重要 1 *I cannot help but do* は、「…せざにはいられない」という意味。

重要 2 *help O with A* は、「OのAを手伝う」という意味。

- (a) Parents cannot (**help**) but interfere in their children's affairs.
- (b) These days, many parents (**help**) their children with their homework.
(訳)
 - (a) 親は子どものことに干渉せずにはいられない。
 - (b) 近頃、子どもの宿題を手伝う親が多い。

研究

►*cannot help but do* は, *cannot but do* や *cannot help doing* と同意。

2. ★★☆

重要 1 *do not make any difference* は、「重要なない / 違いが生じない」という意味。

重要 2 *make room* は、「場所を空ける」という意味。

- (a) It doesn't (**make**) any difference whether you submit your report today or tomorrow.
- (b) You should (**make**) room for more people to sit down in the train.
(訳)

- (a) レポートは今日提出しても明日提出してもどちらでもかまわない。
- (b) 列車の中ではより多くの人が座れるように席を詰めなければならない。

研究

►(a) *It* は形式主語で, *whether* 以下が真主語。*do not make any difference* は, *make no difference* と同意。

►(b) *the room* は、「余地 / 空間」という意味の不可算名詞。

3. ★★★

重要 1 *I head for A* は、「Aに向かって(まっすぐ)進む」という意味。

重要 2 *come into one's head* は、「頭に浮かぶ」という意味。

- (a) Our ship is scheduled to (**head**) for San Francisco at midnight.
- (b) Henry always says anything that comes into his (**head**).
(訳)
 - (a) 私たちの乗る船は真夜中にサンフランシスコに向かう予定だ。
 - (b) いつもヘンリーは頭に浮かんだことを何でも口に出す。

4. ★★☆

重要 1 *keep O from doing* は、「Oが…するのを防ぐ」という意味。

重要 2 *tell A from B* は、「AとBを区別する」という意味。

- (a) I want you to keep your cats (**from**) coming into my garden.
- (b) It is often difficult for young children to tell good (**from**) evil.
(訳)
 - (a) うちの庭におたくのネコが入らないようにしてもらいたい。
 - (b) 幼い子どもが善悪の区別をすることは難しいことが多い。

④ 整序作文・和文英訳

【解答】

A

1. A — イ B — ア
2. A — オ B — ア
3. A — ア B — オ
4. A — ア B — ウ

B

- 1.

【解答例 1】

Tokyo Skytree, which opened on May 22, 2012, had been a popular sightseeing spot even during its construction.

【解答例 2】

Tokyo Skytree, which was opened on May 22nd, 2012, had been a popular tourist spot even when it was being constructed.

- 2.

【解答例 1】

If the earth were twice as large as it is now, we could not live on it.

【解答例 2】

We would not be able to live here if the earth were twice as big as it is now.

- 3.

【解答例 1】

One problem that foreign teachers are faced with soon after they begin teaching in Japan is that when they ask, "Do you have any questions?" no student says anything.

【解答例 2】

Foreign instructors are faced with one problem as soon as they begin to teach in Japan. It is that whenever they ask students if [whether] they have any questions, the students say nothing.

【配点】(40点)

- A 5点×4
B 1. 4点 2. 6点 3. 10点

【設問解説】

A 整序作文

1. ★☆☆

重要 1 疑問詞と do you think を用いるとき、 Yes / No で返答できない場合は、〈疑問詞+do you think+(S) V ...?〉 という形で用いる。

重要 2 「…しようとする」は、try to do で表せる。

サルたちは何をしようとしているのだと思いますか。

(What) (do you think) (the monkeys)
才 ① ウ
(are) (trying) to do?
② 工

〔〕「サルたちは何をしようとしているのだと思いますか」は、「サルたちは何をしようとしているのだとあなたは思いますか」と読みかえ、

重要 1, 2 より、What do you think the monkeys are trying となる。

2. ★★☆

重要 1 「…するのを我慢できない」は、can't stand doing で表せる。

重要 2 動名詞の意味上の主語は、動名詞の前に置く。

重要 3 動名詞の否定は、否定語を動名詞の直前に置く。

重要 4 「Aに置かれている」は、be kept in A で表せる。

私はあるべき所に物がないと我慢できないいたちだ。

I can't (stand) (things) (not) (being)
工 ① ウ ②
(kept) in their proper places.
イ

〔〕「あるべき所に物がないと我慢できないいたちだ」は、「物があるべき所に置かれていないのを我慢できない」と読みかえ、**重要 1, 2, 3, 4** より、stand things not being kept となる。

3. ★☆☆

重要 「決して…しないA」は、the last A to do で表せる。

エドワードがそんなことを言うはずがない。
 Edward would be (the) (last) (man)
 工 プ イ
 (to say) (such a thing).
 ④ ウ

〔解説〕 「エドワードがそんなことを言うはずがない」は、「エドワードは決してそんなことを言わない人だろう」と読みかえ、重要より、the last man to say such a thing となる。

〔研究〕

▶ the last A to do は、「…する最後のA」が直訳だが、「決して…しないA」という意味で用いることができる。

4. ★★★

重要 1 「最近ようやく」は、only recently で表せる。

重要 2 only が副詞表現を伴って文頭に置かれると、それに続く部分は倒置の形(疑問文の語順)になる。

重要 3 「Oがわかる」は、realize O で表せる。

働き始めて10年経つが、最近ようやく自由時間のありがたみがわかるようになった。
 Only (recently) (have) (I) (realized)
 工 プ イ ④
 (the value of free time), though it has been
 才
 10 years since I began to work.

〔解説〕 重要 1, 2, 3 より、recently have I realized the value of free time となる。

〔研究〕

▶ 本問は、I have realized the value of free time only recently の only recently が文頭に出て、それに続く部分が倒置の形(疑問文の語順)になった文である。

▶ it has been 10 years since I began to work は、(It is [has been] + A (期間) + since S V (過去形)....) 「…して以来Aが経つ」を用いた表現。

B 和文英訳

1. ★★☆

重要 1 唯一無二のものが関係詞の先行詞である

場合、関係詞は非制限用法を用いる。

重要 2 「開業する」は、自動詞 open で表せる。

重要 3 「観光スポット」は、sightseeing spot で表せる。

重要 4 「建設中」は、during one's construction で表せる。

2012年5月22日に開業した東京スカイツリーは、建設中でさえ人気の観光スポットだった。

【Tokyo Skytree で始めて】

【解答例 1】 Tokyo Skytree, which opened on May 22, 2012, had been a popular sightseeing spot even during its construction.

【解答例 2】 Tokyo Skytree, which was opened on May 22nd, 2012, had been a popular tourist spot even when it was being constructed.

▶ 「東京スカイツリー」は唯一無二のものなので、「2012年5月22日に開業した東京スカイツリーは」は、重要 1, 2 より、Tokyo Skytree, which opened on May 22, 2012 となる。あるいは、「開業した」に他動詞 open を受動態で用いて、【解答例 2】のように表してもよい。

▶ 非制限用法の関係詞節が文中で用いられる場合は、節の終わりにもカンマ(,)をつける。Tokyo Skytree, which ... 2012 had been ~ は不可。

▶ 「建設中でさえ人気の観光スポットだった」は、重要 3, 4 より、had been a popular sightseeing spot even during its construction となる。tourist spot 「観光スポット」と副詞節 when it was being constructed 「それが建設されていたとき」を用いて、【解答例 2】のように表してもよい。

2. ★★☆

重要 1 現在の事実に反する想定は、仮定法過去で表す。

重要 2 仮定法では、条件表現を伴う場合、主節に推量表現 would [could / might] を用いる。

重要 3 「…より 2倍大きい」は、twice as large [big] as ... で表せる。

地球が今より 2 倍大きいなら、私たちはそこで暮らすことはできない。

【解答例 1】 If the earth were twice as large as it is now, we could not live on it.

【解答例 2】 We would not be able to live here if the earth were twice as big as it is now.

▶文全体は、現在の事実に反する想定なので、
重要 1 より、仮定法過去で表す。「地球が今より 2 倍大きいなら、私たちはそこで暮らすことはできない」は、「地球が今より 2 倍大きいなら、私たちはそこで暮らすことはできないだろう」と読みかえ、重要 2, 3 より、If the earth were twice as large as it is now, we could not live on it. となる。なお、「今」は、「現在の現実の地球のことなので、it is now と直説法現在で表す。be able to do 「…できる」を用いて、
【解答例 2】 のように表してもよい。

3. ★★★

重要 1 「Sは、S'が…する(という)ことである」は、S is that S' V' で表せる。

重要 2 「Aに直面する」は、be faced with A で表せる。

重要 3 「…し始めてすぐ」は、soon after S begin doing [to do] で表せる。

近年中学や高校で外国人教師による授業が行われるようになった。外国人教師が、日本で教え始めてすぐ直面するひとつの問題は、「質問はありますか」と尋ねても、学生が何も言わないことである。

【解答例 1】 One problem that foreign teachers are faced with soon after they begin teaching in Japan is that when they ask, "Do you have any questions?" no student says anything.

【解答例 2】 Foreign instructors are faced with one problem as soon as they begin to teach in Japan. It is that whenever they ask students if [whether] they have any questions, the students say nothing.

▶「外国人教師が、日本で教え始めてすぐ直面するひとつの問題」は、重要 2, 3 より、One problem that foreign teachers are faced with soon after they begin teaching in Japan となる。

▶「…ひとつの問題は、『質問はありますか』と尋ねても、学生が何も言わないことである」は、「…ひとつの問題は、彼らが『質問はありますか』と尋ねるとき、どの学生も何も言わないことである」と読みかえ、重要 1 より、One problem ... is that when they ask, "Do you have any questions?" no student says anything. となる。

▶問題文を「外国人講師は、日本で教え始めてすぐひとつの問題に直面する。それは、彼らが質問があるかどうか学生たちに尋ねるときはいつでも、その学生たちが何も言わないことである」と読みかえ、instructor「指導者 / 講師」と as soon as 「…とすぐ」, if [whether] 「…かどうか」を用いて、
【解答例 2】 のように表してもよい。

5 長文総合

【解答】

問 1 ウ

問 2 エ

問 3

【解答例 1】 犬は、尾を動かすこと以外には表情を示さない犬が尾を、尾を振る犬から見て右向きに動かすのを見たとき、すっかりくつろいだままだった。

【解答例 2】 犬たちは、尾の動き以外の点では無表情の犬が尾を、尾を振る犬から見て右向きに動かすのを見たときには、完全にくつろいだ状態のままだった。

問 4

【解答例 1】 これらの犬は経験から、どのような動きに対して不安に感じるべきで、どのような動きに対して不安に感じるべきでないのかを学んできたのだと彼は信じている。

【解答例 2】 彼は、これらの犬が、どんな動き

に不安を覚えるべきで、どんな動きに不安を覚えるべきでないのかを、経験から学んできたのだと考えている。

問5 エ

問6

【解答例1】 尾を振る犬の映像を犬に見せた実験の結果と、尾を振るロボットの犬を犬に見せた実験の結果の違い。(46字)

【解答例2】 犬が、左に尾を振るロボットの犬には不安にならず、左に尾を振る犬の映像には不安になったという違い。(48字)

問7 エ、オ(順不同)

【配点】(55点)

問1 5点 問2 5点 問3 10点

問4 10点 問5 5点 問6 10点

問7 5点×2

【設問解説】

以下の解説に記されている「第〇文」という通し番号は、p.21以降の【本文解説】を参照。

問1 ★☆☆

空所(1)に入る最も適当なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

1) Scientists have shed more light on how the movements of a dog's tail are linked to its mood. 2) Earlier research had shown that happy dogs wag their tails more to the right, from the dog's point of view, while (1) dogs have a left-dominated move.

ア. clever

イ. healthy

ウ. nervous

エ. relaxed

重要 接続詞 while には、「(だが)一方で」という意味で、対照を表す用法がある。

□ 重要 より、(1) dogs have a left-dominated move 「(1) 犬は左中心の動きをする」は、happy dogs wag their tails more to the right, from the dog's point of view 「楽しい気分の犬は尾を、犬から見て右側に振ることのほうが多い」とは対照的な内容であるとわかる。

□ (1) dogs と happy dogs が対照的で、

(1)が happy と対照的な気分を表しているとわかる。

□ nervous 「不安な」は、happy と対照的な気分を表す。したがって、ウが正解。

研究

▷ ア, イ, エ clever は「利口な」、healthy は「健康的な」、relaxed は「くつろいだ」という意味。

問2 ★☆☆

下線部(2) it が指す最も適当なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

4) Prof. Vallortigara in Italy said, "In humans the left and right sides of the brain are differently involved in stimuli that cause positive or negative emotions. 5) Here we attempted to look at it in other species.

ア. 脳と感情を引き起こす刺激との関わり方

が個人によって異なるということ

イ. 左脳が否定的な感情を引き起こす刺激と
関わっているということ

ウ. 右脳が肯定的な感情を引き起こす刺激と
関わっているということ

エ. 右脳と左脳がそれぞれ異なる感情を引き
起こす刺激と関わっているということ

重要 it は、既出の情報を受けることがある。

手がかり 第5)文の in other species 「別の種で」は、第4)文の In humans 「人間では」を受けて「人間とは別の種で」ということである。

□ 下線部を含む文は、「今回の研究で、私たちは、それを人間とは別の種で確認しようと試みた」という意味であるとわかる。

□ 人間とは別の種で確認しようと試みるのは、重要より、the left ... negative emotions のことだとわかる。

□ the left ... negative emotions は、「脳の左右の部分が、肯定的な感情を引き起こす刺激や否定的な感情を引き起こす刺激と、別々に関わっている」という意味なので、エが正解。

問3 ★★★

下線部(3)を、otherwise の内容を明示して、

和訳せよ。

8) When the animals saw an otherwise
⁽³⁾expressionless dog move its tail to the right,
from the tail-wagging dog's point of view,
they stayed perfectly relaxed.

【解答例1】 犬は、尾を動かすこと以外には表情を示さない犬が尾を、尾を振る犬から見て右向きに動かすのを見たとき、すっかりくつろいだままだった。

【解答例2】 犬たちは、尾の動き以外の点では無表情の犬が尾を、尾を振る犬から見て右向きに動かすのを見たときには、完全にくつろいだままだった。

重要 1 see O do は、「Oが…するのを見る」という意味。

重要 2 otherwise には、「その他の点では」という意味がある。

重要 3 from A's point of view は、「Aの視点から / A から見て」という意味。

重要 4 stay C は、「Cの(状態の)ままでいる」という意味。

手がかり the animals は、文脈より犬のことだとわかる。

☞ **重要 1, 2** より、When the animals ... to the right は、「犬は、それ以外の点では表情を示さない犬が尾を、右向きに動かすのを見たとき」という意味になる。尾を動かすという犬の感情表出が述べられているので、otherwise expressionless は、「尾を動かすこと以外には表情を示さない」ということだとわかる。

☞ **重要 3** より、from the tail-wagging dog's point of view は、「尾を振る犬から見て」という意味になり、直前の to the right を補足説明しているとわかる。

☞ **重要 4** より、they stayed perfectly relaxed は、「(彼らは)すっかりくつろいだままだった」という意味になる。

問4 ★★☆

下線部(4)を和訳せよ。

11) Instead, he believes that these dogs have learned from experience what moves

they should and shouldn't feel worried about.

【解答例1】 これらの犬は経験から、どのような動きに対して不安に感じるべきで、どのような動きに対して不安に感じるべきでないのかを学んできたのだと彼は信じている。

【解答例2】 彼は、これらの犬が、どんな動きに不安を覚えるべきで、どんな動きに不安を覚えるべきでないのかを、経験から学んできたのだと考えている。

重要 1 〈他動詞+目的語+副詞句〉で用いる表現の目的語が名詞節の場合、〈他動詞+副詞句+目的語〉の語順になることがある。

重要 2 what A ... には、「どのような A…か」という意味で、名詞節を導く用法がある。

重要 3 move には、「動き」という意味の名詞で用いる用法がある。

重要 4 feel worried about A は、「Aに対して不安に感じる」という意味。

手がかり 文全体は、he がS, believes がV, 接続詞 that が導く名詞節 that these dogs ... feel worried about がOとなっていて、he believes that ... は「彼は…と信じている」という意味である。

☞ Oにあたる名詞節内では、**重要 1, 2** より、from experience が副詞句、what moves ... worried about が have learned の目的語であるとわかり、these dogs have learned from experience ... は「これらの犬は経験から…を学んできた」という意味になる。

☞ **重要 2, 3, 4** より、what moves は、feel worried about A のAにあたるとわかる。また、should と shouldn't は、and によって結ばれ、共通関係にあり、ともに they と feel worried about につながっている。したがって、what moves ... worried about は、「どのような動きに対して不安に感じるべきで、どのような動きに対して不安に感じるべきでないのか」という意味になる。

研究

► (be) worried about A は、「Aに対して不安である」という意味。

問5 ★☆☆

空所(5)に入る最も適当なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

13) Dog behavior expert John Bradshaw said this was not the first study to examine whether (5) were important to dogs.

- ア. meetings with dogs
- イ. friendly behaviors
- ウ. unfriendly behaviors

エ. left and right

重要1 thisは通例、前述の内容を指す。

重要2 the first A to doは、「…する最初のA」という意味。

☞ **重要2**より、this was ... to dogsは、「これが(5)が犬にとって重要なのかを調べた最初の研究ではなかった」という意味であり、to examine whether (5) were important to dogsは、研究の内容を表しているとわかる。

☞ **重要1**より、thisは前述の第2～4段落で述べられた研究を指しているとわかる。

☞ 第2～4段落で述べられた研究は、犬が他の犬が尾を左右に振るのを見て反応することに関するものなので、エが正解。

問6 ★★★

下線部(6)the differenceを、本文に即して40字以上50字以内の日本語で説明せよ。ただし、句読点も字数に含む。

14) He said, "Dogs were more likely to approach a robot dog when its 'tail' was made to wag left rather than right, rather than becoming anxious — the opposite way around to the Italian study."

15) He said the difference could be because the dogs in the different studies were not fully interpreting the animals in the films or robo-dogs as dogs.

【解答例1】 尾を振る犬の映像を犬に見せた実験の結果と、尾を振るロボットの犬を犬に見せた実験の結果の違い。(46字)

【解答例2】 犬が、左に尾を振るロボットの犬

には不安にならず、左に尾を振る犬の映像には不安になったという違い。(48字)

手がかり 下線部の直前の第14)文で、ロボットの犬を使った研究は、イタリアの研究とは正反対であると述べられている。

☞ 下線部(6)the difference「この違い」とは、ロボットの犬を使った研究の結果と、イタリアでの研究の結果の違いのことだとわかる。

☞ イタリアでの映像を使った研究の内容は第7～9)文で「尾を右に動かす犬を見た場合にはくつろぎ、左の場合には不安になる」と述べられている。

☞ ロボットの犬を使った研究では、「尾が左に振られると不安にならずロボットの犬に近づいた」と述べられている。

☞ イタリアでの研究とロボットの犬を使った研究の内容をふまえて the difference「この違い」を制限字数の範囲でまとめればよい。

研究

► 下線部を含む the difference ... as dogsは、「この違いは、異なる研究で使われた犬が、映像の中の犬やロボットの犬を、完全には犬として理解していなかったからかもしれない」という意味であり、because以下で述べられている理由からも、the difference「この違い」が映像に写っている犬を使った研究と、ロボットの犬を使った実験の結果の違いであることがわかる。

問7 ★★☆

本文の内容と一致するものを、次のア～オの中から2つ選び、記号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

ア. 犬の左脳は、左足の動きをつかさどっていることがわかっている。

イ. 犬は尾を振ることによって、他の犬に対して意図的に意思の疎通をはかっている。

ウ. 犬は気分がよいと右向きに尾を振るので、他の犬の逆の動きを見ると不安になる。

エ. 犬は映像に映った本物の犬のことを犬だとは認識していないかもしれない。

オ. 犬の行動を記録するのは簡単なので、近い将来、尾の動きの理由が解明されるだろう。

【手がかり】

▶エ 第15)文の内容に一致する。

▶オ 第16)文の内容に一致する。

【研究】

▷ア 第6)文の内容に矛盾する。

▷イ 第10)文の内容に矛盾する。

▷ウ 第11)～12)文の内容に矛盾する。

【要旨】

テーマ：犬の気分と尾を振る向きとの関連

第1段落：楽しい気分の犬は尾を右に振り、不安な犬は尾を左に振ることがこれまでの研究からわかつっていた。

第2段落：犬の脳の左右の半球が身体の左右や異なる感情とどのように関わっているかがイタリアで研究された。

第3段落：その研究で、犬が映像に写った他の犬の尾の動きを見て、それが右向きならば安心し、左向きならば不安になるということが新たにわかった。

第4段落：犬が他の犬の尾の動きに反応するは、過去の経験に基づいていると考えられている。

第5段落：別の研究では、ロボットの犬の尾が左に振られたときの犬の反応が、イタリアでの研究とは逆であった。

第6段落：2つの研究結果が異なるのは、犬が、映像に写った犬やロボットの犬を、完全には犬として理解しなかったからかもしれない。

【本文解説】

〔第1段落〕

- 1) Scientists have shed more light on how the movements of a dog's tail are linked to its mood.
- 2) Earlier research had shown that happy dogs wag their tails more to the right, from the dog's point of view, while (1) dogs have a left-dominated move.

- 1) 科学者たちは、犬の尾の動きが犬の気分とどのように結びついているかに、今まで以上の光を当ててきている。2) これまでの研究が、楽しい気分の犬は尾を、犬から見て右側に振ることのほうが多い一方で、不安な犬は左中心の動きをするということを示していた。

- 1) · shed light on A 「A(問題など)に光を当てる」を用いた表現で、how the movements ... its mood が、Aにあたる名詞節。
 - more light の more は、形容詞 much の比較級で、「今までよりも多くの / 今まで以上の」という意味。
- 2) · that happy ... left-dominated move は、had shown の目的語となる名詞節。
 - happy dogs wag their tails more to the right の more to the right は、直後に than to the left を補って考えればよい。
 - from the dog's point of view は、from A's point of view 「Aの視点から / Aから見て」を用いた表現で、直前の to the right を補足説明している。
 - while は、「(だが)一方で」という意味の対照を表す接続詞。

- tail 「尾」
- be linked to A 「Aと関係がある [結びついている]」
- mood 「(一時的な)気分」
- research 「研究」
- left-dominated 「圧倒的に左の / 左中心の」

〔第2～3段落〕

3) But now scientists say that fellow dogs can notice and respond to these subtle tail differences. 4) Prof. Vallortigara in Italy said, "In humans the left and right sides of the brain are differently involved in stimuli that cause positive or negative emotions. 5) Here we attempted to look at it in other species. 6) Just as in humans, in dogs the right side of the brain was responsible for left-handed movement and vice versa, and the two hemispheres played different roles in emotions."

7) To find out more about how dogs react to the lop-sided tail wags of other dogs, the researchers monitored the animals as they watched movies of other dogs. 8) When the animals saw an otherwise expressionless dog move its tail to the right, from the tail-wagging dog's point of view, they stayed perfectly relaxed. 9) But when they spotted a tail swing mainly to the left, again from the tail-wagging dog's point of view, their heart rates picked up and they looked anxious.

3) しかし今では、科学者たちは、仲間の犬がこれらの微妙な尾の違いに気づいて、それに反応することができると言っている。4) イタリアのヴァッロルティガーラ教授は言った。「人間では、脳の左右の部分が、肯定的な感情を引き起こす刺激や否定的な感情を引き起こす刺激と、別々に関わっている。5) 今回の研究で、私たちは、それを別の種で確認しようと試みた。6) 人間におけるのとちょうど同じように、犬において脳の右側が、左側の動きをつかさどっており、逆もまた同様であり、2つの半球が感情に関して異なる働きをしていた」

7) 犬が他の犬が一方に偏って尾を振ることにどのように反応するかについて、それ以上のことを発見するために、研究者たちは、犬が他の犬の映像を見ている最中に、その犬を観察した。8) 犬は、尾を動かすこと以外には表情を示さない犬が尾を、尾を振る犬から見て右向きに動かすのを見たとき、すっかりくつろいだままだった。9)しかし、主に左向きに尾が振られるのを犬が見たときには、この左向きというのもまた尾を振っている犬から見てだが、心拍数が上がり、彼らは不安そうに見えた。

- 3) • that fellow ... tail differences は, say の目的語となる名詞節。these subtle tail differences は、第2)文で述べられた、尾を振る向きの違いのこと。
- notice と respond to は, and によって結ばれ、共通関係にあり、ともに can と these subtle tail differences につながっている。
- 4) • that cause positive or negative emotions は, stimuli を先行詞とする関係代名詞節。
- 5) • 下線部(2)は、【設問解説】参照。
- 6) • Just as in humans は, just as ... 「…とちょうど同じように」を用いた表現。
- vice versa は、「逆もまた同様」という意味で、ここでは the right side of the brain was responsible for left-handed movement を受けて, the left side of the brain was responsible for right-handed movement 「脳の左側が、右側の動きをつかさどっていた」ということ。

- fellow 「仲間(の)」
- respond to A 「Aに反応する」
- subtle 「微妙な」
- be involved in A 「Aに関係している」
- cause O 「Oを引き起こす」
- positive 「肯定的な」
- negative 「否定的な」
- emotion 「感情」
- attempt to do 「…しようと企てる [試みる]」
- species 「(生物学分類上の)種」
- be responsible for A 「Aに責任がある / Aをつかさどっている」
- left-handed 「左手の / 左側の」
- play a ... role in A 「Aで…な役割を果たす」
- react to A 「Aに反応する」
- researcher 「研究者」
- monitor O 「Oを監視[観察]する」

- the two hemispheres 「2つの半球」は、第4)文の the left and right sides of the brain のこと。
- 7) To find ... other dogs は、目的を表す副詞用法の不定詞句。more は、find out 「…を発見する」の目的語となる名詞で、第6)文の内容を受けて「それ以上のこと」という意味。how dogs ... other dogs は、about の目的語となる名詞節。
- the animals は、犬のこと。
- 8) 下線部(3)は、【設問解説】参照。
- 9) they spotted ... the left は、spot O do 「Oが…するのを見る」を用いた表現で、a tail がOにあたり、swing 「揺れる／振られる」が do にあたる。
- again from the tail-wagging dog's point of view は、from A's point of view 「Aの視点から / Aから見て」を用いた表現で、直前の to the left を補足説明している。again は、第8)文の from the tail-wagging dog's point of view を受けて、「(ここでも)また」ということ。

〔第4段落〕

10) Prof. Vallortigara said he didn't think that the dogs were intentionally communicating with each other through these movements. 11) Instead, he believes that these dogs have learned from experience what moves they should and shouldn't feel worried about. 12) He said, "If a dog has several meetings with other dogs, and frequently their tail wagging one way is associated with a more friendly behavior, and the right side is producing a less friendly behavior, it responds on the basis of that experience."

10) ヴァッロルティガーラ教授は、犬はこれらの動作を通して互いと意図的に意思を伝え合っているのではないと思うと言った。11) そうではなく、これらの犬は経験から、どのような動きに対して不安に感じるべきで、どのような動きに対して不安に感じるべきでないのかを学んできたのだと彼は信じている。12) 「もしある犬が他の犬と何回か会い、彼らの一方への尾の振りがより好意的な行動と結びついていて、右側がそれほど好意的ではない行動を示していることが頻繁に起こるならば、その犬はその経験に基づいて反応する」と彼は言った。

- 10) he didn't ... these movements は、said の目的語となる名詞節。直前に接続詞 that が省略されている。
- 11) 下線部(4)は、【設問解説】参照。
- 12) If a dog ... less friendly behavior は、接続詞 if を用いた副詞節。
- frequently は、their tail wagging ... more friendly behavior と、the right side ... less friendly behavior の両方を修飾している。
 - one way は、in one way 「一方へ」のこと。

- intentionally 「故意に / 意図的に」
- communicate with A 「Aと意思を伝え合う」
- instead 「その代わりに / そうではなく」
- experience 「経験」
- meeting 「会うこと」
- frequently 「頻繁に」
- be associated with A 「Aと結びついている」
- friendly 「友好的な / 好意的な」
- behavior 「行動」
- produce O 「Oを示す」
- on the basis of A 「Aに基づいて」

〔第5段落〕

13) Dog behavior expert John Bradshaw said this was not the first study to examine whether (5) were important to dogs. 14) He said, "Dogs were more likely to approach a robot dog when its 'tail' was made to wag left rather than right, rather than becoming anxious — the opposite way around to the Italian study."

13) 犬の行動の専門家であるジョン・ブラッドショーは、これが左と右が犬にとって重要なのかを調べた最初の研究ではないと言った。14) 「ロボットの犬の『尾』が右ではなく左に振らされたときに、犬は不安になるのではなく、ロボットの犬に近づく傾向の方が強く、イタリアの研究の正反対であった」と彼は言った。

13) • this was ... to dogs は、said の目的語となる名詞節。直前に接続詞 that が省略されている。

• the first ... to dogs は、the first A to do 「…する最初のA」を用いた表現。whether (5) ... to dogs は、接続詞 whether 「…かどうか」を用いた表現で、examine の目的語となる名詞節。

• 空所(5)は、【設問解説】参照。

14) Dogs were more likely to approach a robot dog は、be likely to do 「…しそうである / …する傾向がある」を比較級で用いた表現。approach a robot ... than becoming anxious は、X rather than Y 「YよりもむしろX / YではなくX」を用いた表現で、approach a robot dog がXにあたり、becoming anxious がYにあたる。

• was made to wag left rather than right は、make O do 「Oに…させる」の受動態 be made to do を用いた表現。

• the opposite way around to the Italian study は、the opposite way around to A 「Aの正反対」を用いた表現で、Dogs were ... becoming anxious を補足説明している。the Italian study は、第7)~9)文で述べられた研究のことを指している。

• expert 「専門家」

• examine O 「Oを調べる」

• approach O 「Oに近づく」

〔第6段落〕

15) He said ⁽⁶⁾ the difference could be because the dogs in the different studies were not fully interpreting the animals in the films or robo-dogs as dogs. 16) "Given the ease with which their behavior can be recorded, it will probably not be long before we understand why their tails sometimes go one way, sometimes the other."

15) この違いは、異なる研究で使われた犬が、映像の中の犬やロボットの犬を、完全には犬として理解していなかったからかもしれない、彼は言った。16) 「犬の行動を記録することができる容易さを考慮すると、なぜ犬の尾がときにはある方向を向き、時には別の方向を向くのかを、多分私たちはまもなく理解するだろう」

15) • the difference ... as dogs は、S is because S' V' ... 「Sは…からだ」を用いた表現であり、said の目的語となる名詞節。直前に接続詞 that が省略されている。

• 下線部(6)は、【設問解説】参照。

• fully 「完全に(は)」

• interpret O as C 「OをCだと解釈 [理解]する」

• robo-dog 「ロボットの犬」

- 16) Given the ease ... be recorded は, given A 「Aを考慮する」とを用いた表現。with which ... be recorded は, the ease を先行詞とする関係代名詞節。
- it will ... the other は, it will not be long before S V ... 「まもなく…だろう」を用いた表現。
 - why their ... the other は, understand の目的語となる名詞節。
 - the other は, one way を受けて, (in) the other way のことで, 「もう一方の向きに / 別の方向へ」という意味。

【出典】

Rebecca Morelle: *Scientists Decipher Dog-tail Wags*

6 長文総合

【解答】

問1 1. イ 2. イ 3. イ
4. ウ 5. イ

問2 イ, オ, ク(順不同)

【配点】(45点)

問1 6点×5

問2 5点×3

【設問解説】

以下の解説に記されている「第○文」という通し番号は, p.28以降の【本文解説】を参照。

問1

1. ★☆☆

It is customary () .

ア. for David and his father to go for a walk on a warm day

イ. for David and his father to go to the barbershop together

ウ. for David to ask his father to take him to the barbershop

エ. for David to have his hair cut by his father

(訳)

()のは, いつものことである。

ア. デイビッドと父親が暖かい日に散歩に出かける

イ. デイビッドと父親が一緒に床屋へ行く
ウ. デイビッドが父親に床屋へ連れて行ってくれるように頼む
エ. デイビッドが父親に髪を切ってもらう

(手がかり) 第2)文の内容から判断する。

2. ★☆☆

David likes the barbershop, because ().

ア. he can be treated in the same way as an adult

イ. he can enjoy being in an unusual place

ウ. he can smell the smell of chips

エ. he can spend a lot of time with his father

(訳)

デイビッドが床屋を気に入っているのは, ()からである。

ア. 大人と同じように扱ってもらえることができる

イ. 日常的ではない場所にいることを楽しめる

ウ. フィッシュアンドチップスの臭いを嗅ぐことができる

エ. 父親と多くの時間を過ごすことができる

(手がかり) 第5段落の内容から判断する。

3. ★★☆

Mr. Samuels puts a wooden board on the barber's chair, because () .

- ア. it enables David to see his father through the mirror

イ. it helps him to cut David's hair more easily

ウ. it makes it easier for David to sit in the chair

エ. it prevents David from moving around on the chair

(訳)

サミュエルズ氏が床屋の椅子の上に木製の板を置くのは、()からである。

- ア. それによってデイビッドが鏡越しに父親を見ることができる

イ. それによってデイビッドの髪をより楽に切ることができる

ウ. それによってデイビッドが椅子に座りやすくなる

エ. それによってデイビッドが椅子の上で動き回れないようにする

手がかり 第14)文の内容から判断する。

4. ★★☆

When David gets sleepy, () .

- ア. he considers sitting on the special bench by himself

イ. he imagines adults sitting on the special bench

ウ. he visualizes being treated like an adult

エ. he wrongly thinks it is snowing outdoors

(訳)

デイビッドは眠くなると、()。

- ア. 専用の板にひとりで座ることを考える

イ. 大人が専用の板に座るのを想像する

ウ. 大人のように扱われるのを思い描く

エ. 外では雪が降っていると勘違いする

手がかり 第31)文の内容から判断する。

5. ★★☆

On the way home from the barber, () .

- ア. David finds for the first time that his father's fingers are thick-skinned

イ. David is surprised to find that his father has picked up some of his hair

ウ. David realizes that his father's hands are warmer than he imagined

エ. David talks his father into buying some fish and chips for his mother

(訳)

床屋から家に帰る途中、()。

- ア. デイビッドは、父親の指の皮が厚いことに初めて気づく

イ. デイビッドは、自分の髪の毛を父親がいくらか拾っていたことを知って驚く

ウ. デイビッドは、父親の手が想像以上に温かいことに気づく

エ. デイビッドは、父親を説得して母のためにフィッシュアンドチップスを買ってもらう

手がかり 第38)文の内容から判断する。

問2 ★★☆

本文の内容と一致するものを、次のア～クの中から3つ選び、記号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

- ア. David clearly remembers having his ears cut off by his father when he got a haircut.

イ. When David is climbing the stairs to the barbershop, he wants to make the steps creak as his father does.

ウ. David is so glad about Mr. Samuels' words that he forgets that his father is looking at him in the mirror.

エ. Mr. Samuels charges David's father at least twice the usual price for his son's haircut.

オ. David agrees that children grow up more quickly than one thinks, as all the customers do.

カ. David gets a feeling of strangeness because there is no sound at all during his haircut.

キ. David picks up some of his own hair scattered on the floor.

ク. It is likely that David and his father will buy some fish and chips to take home.

(訳)

ア. デイビッドは、髪を切ってもらったときに父親に耳を切り取られたことをはっきりと覚えている。

イ. デイビッドは、床屋へと階段を上っているとき、父親のように階段をきしませて歩きたいと思っている。

ウ. デイビッドは、サミュエルズ氏の言葉がとてもうれしくて、父親が鏡の中に自分を見ていることを忘れる。

エ. サミュエルズ氏は、デイビッドの父親に息子の散髪代として通常の料金の少なくとも2倍を請求する。

オ. デイビッドは、他のすべての客と同じように、子どもは人が思うより早く成長するということに同意する。

カ. デイビッドは、散髪中、何も音がないので、違和感を覚える。

キ. デイビッドは、床の上に散らばっている自分の髪の毛をいくらか拾う。

ク. おそらくデイビッドと彼の父親はフィッシュアンドチップスを買って家に持つて帰るだろう。

手がかり

▶イ 第9)文で、デイビッドが父親のように階段をきしませて歩くことができないことに苛立つ

ていると述べられているので、デイビッドが本当は階段をきしませて歩きたいと思っていると判断できる。

▶オ 第25)~27)文の内容から判断する。

▶ク 第36)~37)文の内容から判断する。第37)文の The youngster is excited は、デイビッドがフィッシュアンドチップスを買って帰ることに喜んでいる様子を表していると考えられる。

研究

▷ア 第4)~7)文の内容に矛盾する。

▷ウ 第16)~19)文の内容に矛盾する。

▷エ 第18)~21)文の内容に矛盾する。

▷カ 第30)文の内容に矛盾する。

▷キ 第34)文の内容に矛盾する。

【要旨】

テーーマ：いつものように父子で床屋へ行き、デイビッドが著しい成長を見せ、父親はその様子を温かく見守っている。

第1~2段落：ある暖かい日、デイビッドと父親はいつものように一緒に床屋へ出かける。

第3段落：髪の毛の伸びたデイビッドを、父親が髪を切ってやろうと、ふざけてよく追いかけ回したりする。

第4~5段落：サミュエルズ氏の床屋がいつも行く他の場所とは違っているので、デイビッドはとても気に入っている。

第6~10段落：サミュエルズ氏に子ども用の板はすぐに必要なくなるだろうと言われ、デイビッドは喜び、父親にそれを伝える。

第11~13段落：デイビッドの父親が息子の成長を喜び、店にいる人は皆、子どもの成長の早さに同意する。

第14段落：散髪中、別世界にいるように感じているデイビッドは、眠気に襲われ、板なしで椅子に座っている自分の姿を想像する。

第15段落：散髪後、デイビッドは床の上に散らばった自分の髪の毛を拾い分けたいと思うが、その時間はない。

第16～18段落：フィッシュアンドチップスを

買って帰るという父親の提案に興奮したデイビッドは、父親の手を握り、父親が自分の髪の毛を拾っていたことを知って驚く。

【本文解説】

〔第1～2段落〕

1) When David steps out of the front door, he is blinded for a moment by the white, dazzling sunlight and reaches instinctively for his dad's hand.

2) On a warm day, father and son are on their way to the barbershop, something they have always done together.

1) 玄関から外に出たとき、デイビッドは、白くまぶしい日光で一瞬目がくらみ、父親の手を取ろうと思わず手を伸ばす。

2) ある暖かい日、父と息子は床屋に向かう途中であり、それは彼らがいつも一緒にしてきたことである。

1) 文章全体は、時制を現在にすることにより、描写に臨場感を与えていている。

・step out of A「Aから外に出る」と for a moment「少しの間／一瞬(の間)」と reach for A「Aを取ろうと手を伸ばす」を用いた表現。

・is blinded ... dazzling sunlight と reaches instinctively for his dad's hand は、and によって結ばれ、共通関係にあり、ともに he につながっている。

2) father and ... the barbershop は、be on *one's* way to A 「Aに行く途中である」を用いた表現。

・something they ... done together は、are on their way to the barbershop を受けている。

・they have always done together は、something を先行詞とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

・front door「玄関」

・blind O「Oの目をくらませる」

・dazzling「まぶしい」

・instinctively「本能的に／思わず」

・barbershop「床屋」

〔第3段落〕

3) Always, the routine is the same. 4) "It's about time we got your mop cut," David's dad will say. 5) "Perhaps I should do it. Where are those scissors, Janet?" 6) Sometimes his dad chases him round the living room, pretending to cut off his ears. 7) When he was younger, David used to get too excited and start crying, scared that maybe he really would lose his ears,

3) いつでも、決まってすることは同じである。

4) 「そろそろおまえのぼさぼさの髪の毛を切ってもらう頃じゃないか」とデイビッドの父親は口にする。5) 「ことによると俺が切ってやってもいいぞ。ジャネット、はさみはどこだい」6) 時折、デイビッドの父親は、耳を切り取るふりをしながら、リビングルーム中デイビッドを追いかける。

7) もっと幼かった頃、デイビッドは、あまりにも

but he has long since grown out of that.

興奮し、ひょっとすると本当に自分の耳がなくなるのではないかと恐がって、泣き始めることもよくあったが、ずっと前にそういうことはしなくなっていた。

- 4) · It's about ... your mop cut は、It is about time S *did* ... 「Sがそろそろ…してもよい頃だ」と get O *done* 「Oを…してもらう」を用いた表現。
· will は、現在の習慣・習性を表す。
- 5) · do it は、デイビッドの髪の毛を切ること。
- 6) · pretending to cut off his ears は、pretend to *do* 「…するふりをする」と cut O off / cut off O 「Oを切り取る」を用いた分詞構文。
- 7) · David used to get too excited and start crying は、used to *do* 「よく…したものだ」と get C 「C(の状態)になる」と start *doing* 「…し始める」を用いた表現。
· scared that ... his ears は、(be) scared that S V ... 「…とびくびくして(いる) / …を恐がって(いる)」を用いた分詞構文。
· he has long since grown out of that は、long since 「ずっと前に」と grow out of A 「(成長して)Aから脱する」を用いた表現。that は、get too excited ... lose his ears のこと。
- routine 「日課 / 決まってすること」
· scissors 「はさみ」
· chase O 「Oを追いかける」
· round A 「Aのあちこちで / A中(を)」
· lose O 「Oを失う」

[第4～5段落]

8) Mr. Samuels' barbershop is in a long room above the chip shop, reached by a steep flight of stairs. 9) David follows his father, annoyed that he cannot make each step creak as his old man can.

10) David loves the barbershop — it's like nowhere else he goes. 11) It smells of cigarettes, men, hair oil and the smell of chips that will climb the stairs along with a customer. 12) At the end of the room, two barber's chairs are bolted to the floor. 13) They are heavy, old-fashioned chairs.

8) サミュエルズ氏の床屋は、フィッシュアンドチップスの店の上の細長い部屋にあり、急な階段を上がらなければいけない。9) 父親と同じように一歩ずつキーキー音を立てながら階段を歩けないことに苛立ちながら、デイビッドは父親の後についていく。

10) デイビッドはこの床屋が大好きである。そこは彼が行く他のどんな所とも違っている。11) そこはタバコ、男性、ヘアオイル、客と一緒に階段を上がってくるフィッシュアンドチップスの臭いがする。12) 部屋の端には、2脚の理髪用の椅子がボルトで床に留められている。13) それらは、どっしりとした旧式の椅子である。

- 8) · reached by a steep flight of stairs は、過去分詞句で、a long room を補足説明している。
- 9) · annoyed that ... man can は、(be) annoyed that S V ... 「…に苛立って(いる)」と make O *do* 「Oに…させる」を用いた分詞構文。

- steep 「急勾配の / 急な」
· flight of stairs 「(一続きの)階段」
· follow O 「Oの後についていく」
· step 「歩み / 一歩」
· cigarette 「タバコ」
· climb O 「Oを登る[上がる]」

- as his old man can は、「…ように」という意味の様態を表す接続詞 as を用いた表現で、his old man は、デイビッドの父親のこと。can の直後に make each step creak を補って考えればよい。
- 10) it は, the barbershop のこと。第11)文の It も同様。
- it's like nowhere else he goes は, be like A 「Aのようである / A に似ている」と nowhere else S V ... 「Sが…する他のどんな所も～ない」を用いた表現で, it's not like anywhere else he goes と同意であると考えればよい。
- 11) smell of A 「Aの臭いがする」を用いた表現で, cigarettes と men と hair oil と the smell ... a customer は, and によって結ばれ, 共通関係にあり, いずれも smells of とつながっている。
- that will ... a customer は, along with A 「Aと一緒に」を用いた表現で, the smell of chips を先行詞とする関係代名詞節。
- 12) two barber's chairs are bolted to the floor は, bolt A to B 「AをBにボルトで留める」を受動態で用いた表現。

〔第6～10段落〕

14) When it is David's turn for a cut, Mr. Samuels places a wooden board across the arms of the chair, so that he doesn't have to stoop to cut the boy's hair. 15) David scrambles up onto the bench.

16) "The rate you're shooting up, you won't need this soon. You'll be seated in the chair," the barber says.

17) "Wow," says David, squirming round to look at his dad, forgetting that he can see him through the mirror. 18) "Dad, Mr. Samuels said I could be sitting in the chair soon, not on the board!"

19) "So I hear," his father replies, not looking up from the paper. 20) "I expect Mr. Samuels will start charging me more for your hair then."

21) "At least double the price," says Mr. Samuels, winking at David.

14) デイビッドの散髪の順番がくると, サミュエルズ氏は, 彼の髪の毛を切るのに前かがみになる必要がないように, 椅子の両側の肘掛けに渡して木製の板を置く。15) デイビッドはその板の上によじ登る。

16) 「坊やが今の調子でぐんぐん成長すれば, すぐにこれはいらなくなるな。椅子に座れるだろう」と床屋は言う。

17) 「わあい」とデイビッドは言って, 自分が父親を鏡越しに見ることができるので忘れ, 父親を見るためにくるりと身をよじる。18) 「父さん, サミュエルズさんが言うには, 僕は板の上でなく, すぐに椅子に座れるようになるんだって」

19) 「父さんにもそう聞こえたよ」と新聞から顔を上げることなく, 父親が返事する。20) 「そうなったらサミュエルズさんはお前の髪の毛を切るのに今より高い料金を父さんに請求しだすと思うよ」

21) 「少なくとも倍の料金だね」とサミュエルズ氏は言って, デイビッドにウインクする。

- 14) so that ... boy's hair は, so that S V ... 「…ために / …よう」を用いた表現。

- customer 「(店の)客」
- end 「端」
- barber 「理髪師 / 床屋」
- old-fashioned 「旧式の」

- turn 「順番」
- place O 「Oを置く」

- to cut the boy's hair は、目的を表す副詞用法の不定詞句。
- 15) • the bench は、第14)文の a wooden board のこと。
- 16) • The rate you're shooting up は、(at) the rate (that) S V
... 「…する割合[速さ]で」と shoot up 「急成長する」を用いた表現。
- 17) • squirming round to look at his dad と forgetting that ... the mirror は、分詞構文。that he can see him through the mirror は、forgetting の目的語となる名詞節。
- 18) • I could ... the board は、said の目的語となる名詞節。直前に接続詞 that が省略されている。
• in the ... the board は、X, not Y 「YではなくX」を用いた表現。
- 19) • So は、「そのように」という意味の副詞で、デイビッドの発言である第18)文の I could be sitting in the chair soon, not on the board という内容を受けている。
• not looking up from the paper は、look up from A 「Aから顔を上げる」を用いた分詞構文。
- 20) • Mr. Samuels will ... hair then は、charge O₁ O₂ 「O₁(人)に O₂(金額)を請求する」を用いた表現で、expect の目的語となる名詞節。直前に接続詞 that が省略されている。
- 21) • At least double the price は、at least 「少なくとも」と double the [one's] A 「2倍のA」を用いた表現。
• winking at David は、wink at A 「Aにウインクする」を用いた分詞構文。
- wooden 「木製の」
• board 「板」
• across A 「Aと交差して」
• arm 「(椅子などの)肘掛け」
• onto A 「Aの上に」
• be seated 「座る」
• round 「くるりと(回って)」
• through A 「Aを通して / A 越しに」
• reply 「返事する」
• look up from A 「Aから顔を上げる」
• paper 「新聞」
• expect (that) S V ... 「…だろうと思う」

〔第11～13段落〕

22) Finally David's dad looks up from his newspaper and glances into the mirror, seeing his son looking back at him. 23) He smiles.
24) "It wasn't so long ago when I had to lift you onto that board because you couldn't climb up there yourself," he says.
25) "Kids don't stay young for long, do they?" Mr. Samuels declares. 26) All the men in the shop nod in agreement. 27) David nods too.

22) ようやくデイビッドの父親は新聞から顔を上げ、鏡の中をちらりと見て、息子が自分の方に振り返っているのを見る。23) 父親はにっこりと笑う。

24) 「ほんの少し前までは、自分で登ることができなかったから、父さんがその板の上におまえを抱き上げなければいけなかったのになあ」と父親が言う。

25) 「子どもっていうのは、ずっと幼いままではいないよね」とサミュエルズ氏が力説する。
26) 店にいたすべての男たちが同意してうなずく。27) デイビッドもまたうなずく。

- 22) • seeing his son looking back at him は、see O doing 「Oが…しているのを見る」と look back at A 「振り返ってAを見る」を用いた分詞構文。
- 23) • He は、デイビッドの父親のこと。

- finally 「ようやく」
• glance into A 「Aの中をちらりと見る」
• declare ... 「…と宣言[力説]する」

- 24) • It wasn't ... there yourself は, It wasn't so long ago when S V ... 「…はそれほど昔のことではない / ほんの少し前までは…」と lift A onto B「AをBの上に持ち上げる」を用いた表現。
- there は, onto that board のこと。
- 25) • Kids don't stay young for long, do they? は, stay C「Cのままでいる」と for long「長い間 / ずっと」を用いた表現。

- nod 「うなずく」
- in agreement 「同意して」

〔第14段落〕

28) In the mirror he sees a little head sticking out of a long nylon cape. 29) Occasionally he steals glances at the barber as he works. 30) David feels like he is in another world, noiseless except for the scuffing of the barber's shoes and the snap of his scissors. 31) Sleepily, his eyes are dropping to the front of the cape where his hair falls with the same softness as snow, and he imagines sitting in the chair just like the men and older boys, the special bench left leaning against the wall in the corner.

28) 彼には、鏡の中に長いナイロン製の肩マントから小さな頭が突き出ている姿が見える。29) 時折、彼はその床屋が仕事をする様子を盗み見る。30) デイビッドは、床屋の靴の足音とはさみの出す音以外には何も聞こえない別世界に自分がいるように感じる。31) 眠たくて、肩マントの前の方に視線が落ちてくると、そこには自分の髪の毛が雪と同じようにふんわりと落ちていく。そして、彼は、大人の男性や年上の男の子とまったく同じように椅子に座り、子ども専用の板が店の片隅の壁に立てかけたままになっているのを想像する。

- 28) • see O *doing*「Oが…しているのを見る」と stick out of A「Aから突き出る」を用いた表現。
- 29) • as は、「…とき」という意味の、時を表す接続詞。
- 30) • feel like S V ...「…ような気がする」と except for A「Aを除いて / A 以外に」を用いた表現。
- noiseless except ... his scissors は、another world を補足説明している。
- 31) • where his ... as snow は、the front of the cape を先行詞とする関係副詞節。
- with the same softness as snow は、with softness「穏やかに / ふんわりと」と the same A as ...「…と同じA」を用いた表現。
- he imagines ... the corner は、imagine *doing*「…するのを想像する」と just like A「Aとちょうど[まったく]同じよう」を用いた表現。
- the special ... the corner は、leave O *doing*「Oを…しているままにしておく」の受動態と lean against A「Aに寄りかかる[立てかけてある]」を用いた分詞構文。the special bench が過去分詞 left の意味上の主語。
- the special bench は、第14)文の a wooden board のこと。

- nylon 「ナイロン製の」
- occasionally 「時折」
- steal a glance at A 「Aを盗み見る」
- noiseless 「音がしない」
- snap 「パチンという音」
- sleepily 「眠たくて」
- drop to A 「Aに落ちる」
- special 「特別な / 専用の」

—[第15段落]—

32) When Mr. Samuels has finished, David hops down from the seat, rubbing the itchy hair from his face. 33) Looking down he sees his own blonde hair scattered among the browns, greys and blacks of the men who have sat in the chair before him. 34) For a moment he wants to reach down and gather up the broken blonde locks, to separate them from the others, but he does not have time.

32) サミュエルズ氏が散髪を終えると、デイビッドは座席から飛び降り、顔をこすってむずむずする髪の毛を取り払う。33) 下の方を見ると、自分よりも以前にその椅子に座っていた人の茶色や灰色、黒色の髪の毛の中に、自分のブロンドの髪の毛が散らばっているのが見える。34) 一瞬、手を下に伸ばし、バラバラになったブロンドの髪の毛をかき集め、他の髪の毛と分けたいと思うが、彼には時間がない。

32) • rubbing the itchy hair from his face は、分詞構文。

33) • Looking down は、分詞構文。

- he sees ... before him は、see O *done* 「Oが…されるのを見る」を用いた表現。his own blonde hair がOにあたる。
- who have ... before him は、the men を先行詞とする関係代名詞節。

34) • to separate them from the others は、separate A from B 「AをBと(区別して)分ける」を用いた表現で、副詞用法の不定詞句。them は the broken blonde locks のことで、the others は、the other broken locks 「(床に散らばっている)他の髪の毛」のこと。

- hop down from A 「Aから飛び降りる」
- rub O 「Oをこすり落とす[取る]」
- itchy 「かゆい / むずむずする」
- blonde 「金髪の / ブロンドの」
- scatter O 「Oをまき散らす」
- gather O up / gather up O 「Oをかき集める」
- lock 「(髪の)ふさ / 髪の毛」

—[第16～18段落]—

35) The sun is still strong when they reach the pavement outside the shop, but it is already beginning to drop from its zenith.

36) "I tell you what, let's get some fish and chips to take home and save your mum from cooking tea," says David's dad.

37) The youngster is excited and grabs his dad's hand. 38) The thick-skinned fingers close gently around his, and David is surprised to find, warming in his father's palm, a lock of his own hair.

35) 二人が店の外の歩道に出てきたとき、日差しはまだきついが、太陽はすでに一番高いところからは傾きかけている。

36) 「そうだ。家に持つて帰つてママがおやつを用意しなくて済むように、フィッシュアンドチップスを買っていこう」と、デイビッドの父親は言う。

37) 少年はわくわくして、父親の手を握る。
38) その皮の厚い指が彼の指を優しく包み込み、デイビッドは、ひとつふさの自分の髪の毛が父親の手のひらの中で温かく握られているのを知って驚く。

35) • they は、デイビッドと彼の父親のこと。

- it は、the sun のこと。

36) • I tell you what は、「こうしよう / そうだ」という意味で、提案をするときや話を切り出すときに用いる定型表現。

- take home と save your mum from cooking tea は、and によって結ばれ、共通関係にあり、いずれも to とつながっている。

- sun 「日光 / 日差し」
- outside A 「Aの外で[に]」
- get O 「Oを買う」
- youngster 「若者 / 少年」
- grab O 「Oをつかむ[握る]」
- thick-skinned 「皮の厚い」
- gently 「優しく」
- palm 「手のひら」

- save your mum from cooking tea は, save O from *doing* 「Oが…するのを不要にする[しなくてもいいようにする]」を用いた表現。ここでの tea は、午後のお茶の時間に出される軽食のこと。
- 37) • The youngster は, デイビッドのこと。
- 38) • The thick-skinned fingers close gently around his は, close around A 「Aを握る[包み込む]」を用いた表現。his は, David's fingers のこと。
- David is ... own hair は, find O *doing* 「Oが…しているとわかる[知る]」を, find, *doing* ..., O の形で用いた表現。

【出典】

Ken Elkes: *David's Haircut*

模試を受験された後の学習のために、自宅で「リスニング問題」の音声を聴くことができます。以下の Kei-Net ホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※お聴きいただくには、Kei-Net 会員の登録(無料)が必要です。

【数学】

解答の理解に役立つように、

右欄に

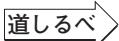
枠囲み

… 解答で用いた公式、



… 解答を読む上で参考になる式、考え方、式の変形、図

解答の途中に



… 解法の糸口

を載せています。

さらに、

【ポイントチェック】… 復習して、理解したことを定着させるための練習問題

があります。

1 【数学 I・A・II 小問集合】

次の にあてはまる数または式を求めよ。

(1) 2 次不等式

$$-x^2 + 4x - 1 < 0$$

の解は、

である。

(2) 三角形 ABC において、AB = 2, BC = 3, CA = $\sqrt{15}$ のとき、

$$\cos B = \boxed{}$$

である。

(3) 白球 3 個、赤球 3 個、青球 4 個の計 10 個の球を一列に並べる順列は、全部で

通り

ある。

(4) i を虚数単位とする。

$$(2-i)^4 = a + bi$$

が成り立つ実数 a, b の値は、

$$a = \boxed{\text{ア}}, \quad b = \boxed{\text{イ}}$$

である。

(5) 2 次方程式 $2x^2 + x - 4 = 0$ の 2 解を α, β とすると、

$$\frac{\alpha^2}{\beta} + \frac{\beta^2}{\alpha} = \boxed{}$$

である。

- (6) $(x-2)^7$ を展開したとき、 x^4 の係数は、

である。

● ● ● 配点 (30点) ● ● ● ●

- (1) 5点 (2) 5点 (3) 5点 (4) 5点 (5) 5点 (6) 5点

● ● ● 問題のレベル ● ● ●

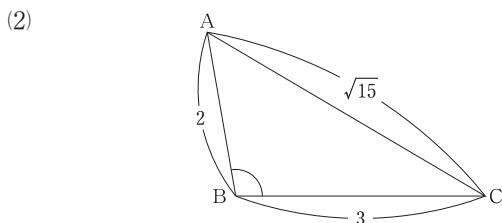
(1) から (6) まで、すべて基本。

解 答

(1)	$x < 2 - \sqrt{3}$, $2 + \sqrt{3} < x$	(2)	$-\frac{1}{6}$	(3)	4200
(4)	ア -7 イ -24	(5)	$\frac{25}{16}$	(6)	-280

(1) $-x^2 + 4x - 1 < 0.$
 $x^2 - 4x + 1 > 0.$

$x < 2 - \sqrt{3}$, $2 + \sqrt{3} < x.$ …(答)

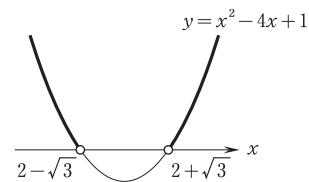


三角形 ABC に余弦定理を用いると、

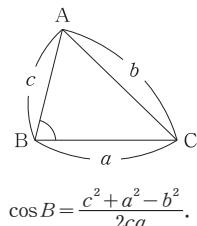
$$\begin{aligned}\cos B &= \frac{AB^2 + BC^2 - CA^2}{2AB \cdot BC} \\ &= \frac{2^2 + 3^2 - (\sqrt{15})^2}{2 \cdot 2 \cdot 3} \\ &= -\frac{1}{6}.\end{aligned}\quad \dots(\text{答})$$

◆ $x^2 - 4x + 1 = 0$ の解は、
 $x = 2 \pm \sqrt{3}$

である。



余弦定理



同じものを含む順列

n 個のもののうち、 p 個は同じもの、 q 個は別の同じもの、 r 個はまた別の同じものであるとき、これら n 個のものを一列に並べてできる順列の総数は、

$$\frac{n!}{p!q!r!} \quad (p+q+r=n).$$

- (3) 10 個の球のうち、白球 3 個、赤球 3 個、青球 4 個はそれぞれ同じものであるから、これら 10 個の球を一列に並べる順列は、全部で

$$\frac{10!}{3!3!4!} = 4200 \quad (\text{通り}) \quad \dots(\text{答})$$

ある。

$$\begin{aligned}
 (4) \quad (2-i)^4 &= \{(2-i)^2\}^2 \\
 &= (3-4i)^2 \\
 &= -7-24i
 \end{aligned}$$

であるから、求める実数 a, b の値は、

$$a = -7, \quad b = -24. \quad \dots(\text{答})$$

(5) $2x^2+x-4=0$ の 2 解が α, β であるから、解と係数の関係より、

$$\begin{cases} \alpha+\beta = -\frac{1}{2}, \\ \alpha\beta = -2. \end{cases}$$

これを用いると、

$$\begin{aligned}
 \frac{\alpha^2}{\beta} + \frac{\beta^2}{\alpha} &= \frac{\alpha^3 + \beta^3}{\alpha\beta} \\
 &= \frac{(\alpha+\beta)^3 - 3\alpha\beta(\alpha+\beta)}{\alpha\beta} \\
 &= \frac{\left(-\frac{1}{2}\right)^3 - 3(-2)\left(-\frac{1}{2}\right)}{-2} \\
 &= \frac{25}{16}. \quad \dots(\text{答})
 \end{aligned}$$

(6) $(x-2)^7 = \{x+(-2)\}^7$ を展開したときの一般項は、

$${}_7C_r x^{7-r} (-2)^r. \quad (r=0, 1, 2, \dots, 7)$$

x^4 の項は、 $7-r=4$ より $r=3$ として、

$${}_7C_3 x^4 (-2)^3 = \frac{7 \cdot 6 \cdot 5}{3 \cdot 2 \cdot 1} x^4 (-8) = -280x^4.$$

よって、 x^4 の係数は、

$$-280. \quad \dots(\text{答})$$

$$\begin{aligned}
 \blacklozenge \quad i^2 &= -1. \\
 (2-i)^2 &= 4-4i+i^2 \\
 &= 3-4i. \\
 (3-4i)^2 &= 9-24i+16i^2 \\
 &= -7-24i.
 \end{aligned}$$

解と係数の関係

$$\begin{aligned}
 &x \text{ の } 2 \text{ 次方程式} \\
 &ax^2+bx+c=0 \\
 &\text{の } 2 \text{ 解を } \alpha, \beta \text{ とする} \\
 &\alpha+\beta = -\frac{b}{a}, \quad \alpha\beta = \frac{c}{a}.
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \blacklozenge \quad (\alpha+\beta)^3 &= \alpha^3 + 3\alpha^2\beta + 3\alpha\beta^2 + \beta^3 \\
 &\text{より,} \\
 &\alpha^3 + \beta^3 = (\alpha+\beta)^3 - 3\alpha^2\beta - 3\alpha\beta^2 \\
 &= (\alpha+\beta)^3 - 3\alpha\beta(\alpha+\beta).
 \end{aligned}$$

二項定理

$$\begin{aligned}
 &n \text{ を自然数とするとき,} \\
 &(a+b)^n \\
 &= {}_nC_0 a^n + {}_nC_1 a^{n-1}b + \dots \\
 &\dots + {}_nC_{n-1} a^{n-r}b^r + \dots \\
 &+ {}_nC_n ab^{n-1} + {}_nC_n b^n. \\
 &\text{また, } {}_nC_r a^{n-r}b^r \text{ を一般項という.}
 \end{aligned}$$

ポイントチェック

- (1) 2 次不等式 $x^2+2x-1>0$ を解け。
- (2) 三角形 ABCにおいて、AB=3, BC=2, CA=√10 のとき、 $\cos B$ の値を求めよ。
- (3) 白球 2 個、赤球 2 個、青球 3 個の計 7 個の球を一列に並べる順列は、全部で何通りあるか。
- (4) i を虚数単位とする。 $(1-i)^4=a+bi$ が成り立つ実数 a, b の値を求めよ。
- (5) 2 次方程式 $x^2+x-1=0$ の 2 解を α, β とするとき、 $\frac{\alpha}{\beta} + \frac{\beta}{\alpha}$ の値を求めよ。
- (6) $(x+2)^6$ を展開したときの x^3 の係数を求めよ。

(答)

- (1) $x < -1 - \sqrt{2}, \quad -1 + \sqrt{2} < x.$
- (2) $\frac{1}{4}.$
- (3) 210 (通り).
- (4) $a = -4, \quad b = 0.$
- (5) $-3.$
- (6) 160.

2 【数学Ⅱ いろいろな式 / 数学A 確率】

[1] a, b は実数の定数であり、3次方程式

$$x^3 + ax^2 + bx - 12 = 0 \quad \dots (*)$$

は $x=3$ を解にもつ。

- (1) b を a を用いて表せ。
- (2) $a = -2$ のとき、(*)を解け。
- (3) (*)が2重解をもつような a の値と、そのときの(*)の解を求めよ。

[2] 袋の中に、1と書かれた球、2と書かれた球、3と書かれた球、4と書かれた球が1個ずつ、計4個の球が入っている。この袋の中から1個の球を無作為に取り出し、球に書かれた数を記録して袋に戻すことを繰り返し4回行う。

- (1) 4回とも1が記録される確率を求めよ。
- (2) 4回とも異なる数が記録される確率を求めよ。
- (3) 記録された4個の数の最大値が3である確率を求めよ。

● ● ○ 配点 (70点) [1] 35点 [2] 35点 ○ ○ ●

[1] (1) 5点 (2) 10点 (3) 20点 [2] (1) 10点 (2) 10点 (3) 15点

● ● ○ 問題のレベル ○ ○ ●

[1] (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用 [2] (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用

解 答

[1]

$$x^3 + ax^2 + bx - 12 = 0. \quad \dots (*)$$

(1) $x=3$ は(*)の解であるから、

$$3^3 + a \cdot 3^2 + b \cdot 3 - 12 = 0.$$

$$15 + 9a + 3b = 0.$$

$$b = -3a - 5.$$

…(答)

(2) (1)の結果より、 $a = -2$ のとき、

$$b = -3(-2) - 5 = 1$$

であり、(*)は、

$$x^3 - 2x^2 + x - 12 = 0.$$

左辺は $x-3$ で割り切れるので、因数分解して

$$(x-3)(x^2 + x + 4) = 0.$$

これより、 $a = -2$ のときの(*)の解は、

$$x = 3, \frac{-1 \pm \sqrt{15}i}{2}. \quad \dots (答)$$

因数定理
整式 $P(x)$ について、
 $P(\alpha) = 0$
 $\Leftrightarrow P(x)$ は $x - \alpha$ で割り切れる。

2次方程式の解の公式

2次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$

(a, b, c は実数の定数)

の解は、

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}.$$

(3) (1) の結果より, (*) は,

$$x^3 + ax^2 + (-3a - 5)x - 12 = 0$$

であり, 左辺は $x - 3$ で割り切れるので, 因数分解して

$$(x - 3)(x^2 + (a + 3)x + 4) = 0.$$

これより, (*) の解は,

$$x = 3, \text{ および}$$

$$x^2 + (a + 3)x + 4 = 0 \quad \cdots \textcircled{1}$$

の解であるから, (*) が 2 重解をもつのは, 次の 2 つの場合である.

(ア) 2 次方程式 ① が, 3 以外の重解をもつ.

(イ) 2 次方程式 ① が, 3 と 3 以外を解にもつ.

(ア) ① が, 3 以外の重解をもつとき

① の判別式を D とすると, $D = 0$ より

$$(a + 3)^2 - 4 \cdot 1 \cdot 4 = 0.$$

$$a^2 + 6a - 7 = 0.$$

$$(a + 7)(a - 1) = 0.$$

$$a = -7, 1.$$

$a = -7$ のとき, ① は

$$x^2 - 4x + 4 = 0.$$

$$(x - 2)^2 = 0.$$

$$x = 2. \text{ (3 でないので, 適)}$$

$a = 1$ のとき, ① は

$$x^2 + 4x + 4 = 0.$$

$$(x + 2)^2 = 0.$$

$$x = -2. \text{ (3 でないので, 適)}$$

(イ) ① が, 3 と 3 以外を解にもつとき

① が 3 を解にもつので,

$$3^2 + (a + 3) \cdot 3 + 4 = 0$$

より,

$$3a + 22 = 0.$$

$$a = -\frac{22}{3}.$$

このとき, ① は

$$x^2 - \frac{13}{3}x + 4 = 0.$$

$$(x - 3)\left(x - \frac{4}{3}\right) = 0.$$

$$x = 3, \frac{4}{3}. \text{ (3 と 3 以外なので, 適)}$$

(ア), (イ) より,

解の判別

2 次方程式

$$ax^2 + bx + c = 0$$

(a, b, c は実数の定数)

について, $D = b^2 - 4ac$ とおくと,
この方程式は,

$\begin{cases} D > 0 \text{ のとき, 異なる 2 個の実数解}, \\ D = 0 \text{ のとき, (実数の)重解}, \\ D < 0 \text{ のとき, 異なる 2 個の虚数解} \end{cases}$
をもつ. また, D を判別式とよぶ.

$$\begin{cases} a = -7, & (*) \text{の解は } x = 3, 2. \\ a = 1, & (*) \text{の解は } x = 3, -2. \\ a = -\frac{22}{3}, & (*) \text{の解は } x = 3, \frac{4}{3}. \end{cases} \dots (\text{答})$$

[2]

- (1) 1, 2, 3, 4回目に記録された数を, それぞれ a, b, c, d とする. a, b, c, d は, それぞれ1から4のいずれかの数であるから, a, b, c, d の組 (a, b, c, d) は, 全部で

$$4^4 = 256 \text{ (通り)}$$

あり, これらは同様に確からしい.

4回とも1が記録されるのは, $(a, b, c, d) = (1, 1, 1, 1)$ の1通りであるから, その確率は,

$$\frac{1}{256}. \dots (\text{答})$$

- (2) 4回とも異なる数が記録されるような (a, b, c, d) は, 1, 2, 3, 4を一列に並べる順列の総数, すなわち

$$4! = 24 \text{ (通り)}$$

ある. よって, 求める確率は,

$$\frac{24}{256} = \frac{3}{32}. \dots (\text{答})$$

- (3) a, b, c, d の最大値が3であるのは, a, b, c, d がすべて3以下であり, かつ a, b, c, d のうち少なくとも1つが3の場合である.

a, b, c, d がすべて3以下であるような (a, b, c, d) は,

$$3^4 = 81 \text{ (通り)}$$

あり, そのうち, a, b, c, d がすべて2以下であるような (a, b, c, d) は,

$$2^4 = 16 \text{ (通り)}$$

ある. よって, a, b, c, d の最大値が3である (a, b, c, d) は,

$$81 - 16 = 65 \text{ (通り)}$$

ある.

したがって, 求める確率は,

$$\frac{65}{256}. \dots (\text{答})$$

【(3) の別解】

a, b, c, d の最大値が3である (a, b, c, d) を, 3が何個あるかで分類すると次のようになる.

- (ア) a, b, c, d のすべてが3であるもの

1通り.

重複順列

異なる n 個のものから, 重複を許して r 個取り出して並べたものを n 個から r 個取る重複順列という.

n 個から r 個取る重複順列の総数は

$$n^r.$$

◆ 各回で1が記録される確率が $\frac{1}{4}$ で

あるから, $\left(\frac{1}{4}\right)^4 = \frac{1}{256}$ としてもよい.

◆ 異なる n 個のものを一列に並べる順列の総数は,

$$n! = n(n-1)(n-2)\cdots 2 \cdot 1.$$

◆ a, b, c, d に4が含まれると最大値は4となる.

a, b, c, d に3, 4が含まれないと最大値は2以下となる.

◆ a, b, c, d がすべて3以下である確率から, a, b, c, d がすべて2以下である確率を引いて,

$$\left(\frac{3}{4}\right)^4 - \left(\frac{2}{4}\right)^4 = \frac{65}{256}$$

としてもよい.

(イ) a, b, c, d のうちの 3 個が 3 で、1 個が 2 以下であるもの
 a, b, c, d のうちのどの 3 個が 3 であるかが ${}_4C_3$ 通りあり、残り 1 個は 1, 2 の 2 通りあるので、

$${}_4C_3 \cdot 2 = \frac{4 \cdot 3 \cdot 2}{3 \cdot 2 \cdot 1} \cdot 2 = 8 \text{ (通り)}.$$

(ウ) a, b, c, d のうちの 2 個が 3 で、2 個が 2 以下であるもの
(イ) と同様に考えて、

$${}_4C_2 \cdot 2^2 = \frac{4 \cdot 3}{2 \cdot 1} \cdot 4 = 24 \text{ (通り)}.$$

(エ) a, b, c, d のうちの 1 個が 3 で、3 個が 2 以下であるもの
(イ) と同様に考えて、

$${}_4C_1 \cdot 2^3 = 4 \cdot 8 = 32 \text{ (通り)}.$$

(ア), (イ), (ウ), (エ) より、 a, b, c, d の最大値が 3 である
 (a, b, c, d) は

$$1 + 8 + 24 + 32 = 65 \text{ (通り)}$$

なので、求める確率は、

$$\frac{65}{256}.$$

((3) の別解終り)

ポイントチェック

[1] a, b は実数の定数であり、3 次方程式

$$x^3 + ax^2 + bx + 4 = 0 \quad \dots (*)$$

は $x = -1$ を解にもつ。

- (1) b を a を用いて表せ。
- (2) $a = 3$ のとき、(*)を解け。

[2] 袋の中に、1 と書かれた球、2 と書かれた球、3 と書かれた球が 1 個ずつ、計 3 個の球が入っている。この袋の中から 1 個の球を無作為に取り出し、球に書かれた数を記録して袋に戻すことを繰り返し 3 回行う。

- (1) 3 回とも 1 が記録される確率を求めよ。
- (2) 3 回とも異なる数が記録される確率を求めよ。

(答)

[1]

$$(1) b = a + 3.$$

$$(2) x = -1, -1 \pm \sqrt{3}i.$$

[2]

$$(1) \frac{1}{27}.$$

$$(2) \frac{2}{9}.$$

3 【数学Ⅱ 三角関数】

半径が 1, 中心角 $\angle AOB$ が $\frac{\pi}{2}$ である扇形 OAB がある。弧 AB 上(両端を除く)に点 P があり, $\angle AOP = \theta$ $\left(0 < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$ とする。P から線分 OA に下ろした垂線と線分 OA の交点を H とし, 三角形 OPH の面積を S_1 とする。

(1) S_1 を θ を用いて表せ。

次に, $\angle POB$ の二等分線と弧 AB の交点を Q とし, Q から線分 OB に下ろした垂線と線分 OB の交点を I とする。また,

$OI = OJ$ かつ $\angle IOJ = \frac{\pi}{2}$ となる点 J を扇形 OAB の外部にとる。

三角形 OQI の面積を S_2 , 三角形 OIJ の面積を S_3 とする。

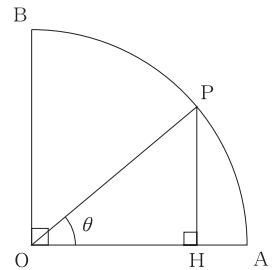
(2) $\angle QOB = \alpha$ とするとき, S_2 , S_3 を α を用いて表せ。

(3) $T = S_1 + S_2 - S_3$ とする。

(i) T を $\sin \theta$, $\cos \theta$ を用いて表せ。

(ii) $x = \sin \theta - \cos \theta$ とおく。 $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ における x のとり得る値の範囲を求め, T を x を用いて表せ。

(iii) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ における T の最大値を求めよ。



● ● ○ 配点 (50 点) ○ ○ ●

(1) 8 点 (2) 10 点 (3)(i) 10 点 (ii) 12 点 (iii) 10 点

● ● ○ 問題のレベル ○ ○ ●

(1) 基本 (2) 基本 (3) 標準から発展

解

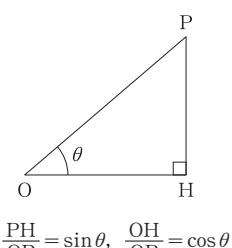
答

(1) 直角三角形 OPH において, $OP = 1$ より,

$$PH = \sin \theta, OH = \cos \theta$$

であるから,

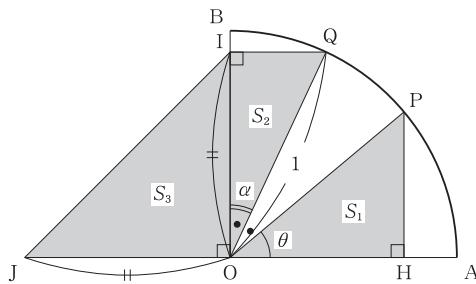
$$\begin{aligned} S_1 &= \frac{1}{2} PH \cdot OH \\ &= \frac{1}{2} \sin \theta \cos \theta. \end{aligned} \quad \dots (\text{答})$$



$$\frac{PH}{OP} = \sin \theta, \frac{OH}{OP} = \cos \theta$$

より,
 $PH = OP \sin \theta, OH = OP \cos \theta.$

(2)

直角三角形 OQI において, $OQ = 1$ より,

$$QI = \sin \alpha, \quad OI = \cos \alpha$$

であるから,

$$S_2 = \frac{1}{2} QI \cdot OI = \frac{1}{2} \sin \alpha \cos \alpha. \quad \cdots (\text{答})$$

三角形 OIJ は, $OI = OJ$ の直角二等辺三角形であるから,

$$S_3 = \frac{1}{2} OI^2 = \frac{1}{2} \cos^2 \alpha. \quad \cdots (\text{答})$$

(3)(i) OQ は, $\angle POB$ の二等分線であるから,

$$2\angle QOB = \angle POB.$$

$$2\alpha = \frac{\pi}{2} - \theta. \quad \cdots ①$$

(2) の結果より,

$$S_2 = \frac{1}{2} \sin \alpha \cos \alpha = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \sin 2\alpha = \frac{1}{4} \sin 2\alpha,$$

$$S_3 = \frac{1}{2} \cos^2 \alpha = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} (1 + \cos 2\alpha) = \frac{1}{4} (1 + \cos 2\alpha)$$

であるから, ① より

$$S_2 = \frac{1}{4} \sin\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \frac{1}{4} \cos \theta,$$

$$S_3 = \frac{1}{4} \left\{ 1 + \cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) \right\} = \frac{1}{4} (1 + \sin \theta).$$

これらと(1)の結果より,

$$\begin{aligned} T &= S_1 + S_2 - S_3 \\ &= \frac{1}{2} \sin \theta \cos \theta + \frac{1}{4} \cos \theta - \frac{1}{4} (1 + \sin \theta). \quad \cdots (\text{答}) \end{aligned}$$

◆ 2倍角の公式

$$\begin{cases} \sin 2\alpha = 2 \sin \alpha \cos \alpha, \\ \cos 2\alpha = 2 \cos^2 \alpha - 1 \end{cases}$$

より,

$$\begin{cases} \sin \alpha \cos \alpha = \frac{1}{2} \sin 2\alpha, \\ \cos^2 \alpha = \frac{1}{2} (1 + \cos 2\alpha). \end{cases}$$

$$\begin{cases} \sin\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \cos \theta, \\ \cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \sin \theta. \end{cases}$$

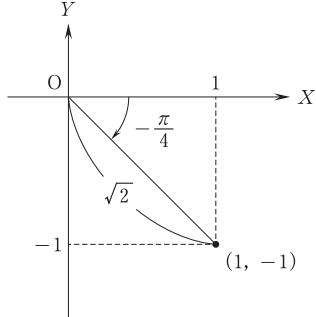
◆ (3)(i) の部分的別解が後にあります。

(ii)

道しるべ

$x = \sin \theta - \cos \theta$ のとり得る値の範囲は、合成することにより求められる。また、 $\sin \theta \cos \theta$ を x を用いて表すために、 $x^2 = (\sin \theta - \cos \theta)^2 = 1 - 2 \sin \theta \cos \theta$ となることを利用する。

$$\begin{aligned}
x &= \sin \theta - \cos \theta \\
&= \sqrt{1^2 + (-1)^2} \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right) \\
&= \sqrt{2} \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right).
\end{aligned}$$



$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ より $-\frac{\pi}{4} < \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{\pi}{4}$ であるから,

$$-\frac{1}{\sqrt{2}} < \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right) < \frac{1}{\sqrt{2}}.$$

よって,

$$-1 < \sqrt{2} \sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right) < 1$$

であり, x のとり得る値の範囲は,

$$-1 < x < 1. \quad \dots(\text{答})$$

また,

$$\begin{aligned}
x^2 &= (\sin \theta - \cos \theta)^2 \\
&= \sin^2 \theta - 2 \sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta \\
&= 1 - 2 \sin \theta \cos \theta
\end{aligned}$$

より,

$$\sin \theta \cos \theta = \frac{1-x^2}{2}.$$

これと, (i) の結果より,

$$\begin{aligned}
T &= \frac{1}{2} \sin \theta \cos \theta - \frac{1}{4} (\sin \theta - \cos \theta) - \frac{1}{4} \\
&= \frac{1}{2} \cdot \frac{1-x^2}{2} - \frac{1}{4} x - \frac{1}{4} \\
&= -\frac{1}{4} x^2 - \frac{1}{4} x. \quad \dots(\text{答})
\end{aligned}$$

(iii) (ii) の結果より,

$$\begin{aligned}
T &= -\frac{1}{4} x^2 - \frac{1}{4} x \\
&= -\frac{1}{4} \left(x + \frac{1}{2} \right)^2 + \frac{1}{16} \quad (-1 < x < 1)
\end{aligned}$$

であるから,

三角関数の合成

$(a, b) \neq (0, 0)$ のとき,

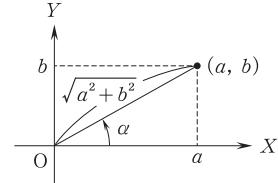
$$a \sin \theta + b \cos \theta$$

$$= \sqrt{a^2 + b^2} \sin(\theta + \alpha).$$

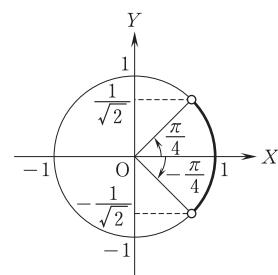
ただし, α は,

$$\cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \quad \sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

を満たす角である。



◆ $\sin \left(\theta - \frac{\pi}{4} \right)$ の範囲は, 次の図の太線部の Y 座標の範囲である。



◆ (3)(ii) の部分的別解が後にあります。

◆ $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$.

T は $x = -\frac{1}{2}$ において、最大値

$$\frac{1}{16}$$

…(答)

をとる。

【(3)(i) の部分的別解】 (① のあと)

$$\alpha = \frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}.$$

(2) の結果より、

$$S_2 = \frac{1}{2} \sin \alpha \cos \alpha$$

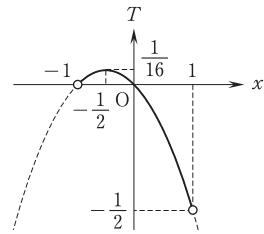
$$\begin{aligned} &= \frac{1}{2} \sin\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}\right) \cos\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}\right) \\ &= \frac{1}{2} \left(\sin \frac{\pi}{4} \cos \frac{\theta}{2} - \cos \frac{\pi}{4} \sin \frac{\theta}{2} \right) \left(\cos \frac{\pi}{4} \cos \frac{\theta}{2} + \sin \frac{\pi}{4} \sin \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \cos \frac{\theta}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \sin \frac{\theta}{2} \right) \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \cos \frac{\theta}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \sin \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \left(\cos \frac{\theta}{2} - \sin \frac{\theta}{2} \right) \left(\cos \frac{\theta}{2} + \sin \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{4} \left(\cos^2 \frac{\theta}{2} - \sin^2 \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{4} \cos\left(2 \cdot \frac{\theta}{2}\right) \\ &= \frac{1}{4} \cos \theta. \end{aligned}$$

$$S_3 = \frac{1}{2} \cos^2 \alpha$$

$$\begin{aligned} &= \frac{1}{2} \cos^2\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}\right) \\ &= \frac{1}{2} \left(\cos \frac{\pi}{4} \cos \frac{\theta}{2} + \sin \frac{\pi}{4} \sin \frac{\theta}{2} \right)^2 \\ &= \frac{1}{2} \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \cos \frac{\theta}{2} + \frac{1}{\sqrt{2}} \sin \frac{\theta}{2} \right)^2 \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \left(\cos \frac{\theta}{2} + \sin \frac{\theta}{2} \right)^2 \\ &= \frac{1}{4} \left(\cos^2 \frac{\theta}{2} + 2 \cos \frac{\theta}{2} \sin \frac{\theta}{2} + \sin^2 \frac{\theta}{2} \right) \\ &= \frac{1}{4} \left(1 + \sin\left(2 \cdot \frac{\theta}{2}\right) \right) \\ &= \frac{1}{4} (1 + \sin \theta). \end{aligned}$$

◆ $T = -\frac{1}{4}x^2 - \frac{1}{4}x$ ($-1 < x < 1$)

のグラフは、次の図の太線部である。



◆ $\sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta,$
 $\cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta.$

◆ $\cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha = \cos 2\alpha.$

◆ $\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1.$
 $2 \sin \alpha \cos \alpha = \sin 2\alpha.$

((3)(i) の部分的別解終り)

【(3)(ii) の部分的別解】 (x のとり得る値の範囲を求める部分)

$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ において,

$$\begin{cases} \theta \text{ が大きいほど } \sin \theta \text{ は大きく,} \\ \theta \text{ が大きいほど } \cos \theta \text{ は小さい.} \end{cases}$$

よって, θ が大きいほど

$$x = \sin \theta - \cos \theta \text{ は大きい.}$$

これより, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ における x のとり得る値の範囲は,

$$\sin 0 - \cos 0 < x < \sin \frac{\pi}{2} - \cos \frac{\pi}{2}.$$

$$-1 < x < 1.$$

((3)(ii) の部分的別解終り)

(答)

(1) $S_1 = \sin \theta \cos \theta, S_2 = \cos^2 \theta.$

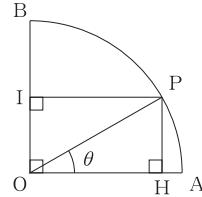
(2) $\frac{1}{2}(\sin 2\theta + \cos 2\theta + 1).$

半径が 1, 中心角 $\angle AOB$ が $\frac{\pi}{2}$ である扇形 OAB がある. 弧 AB 上(両端を除く)に点 P があり, $\angle AOP = \theta \left(0 < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$ とする. P から線分 OA に下ろした垂線と線分 OA の交点を H, P から線分 OB に下ろした垂線と線分 OB の交点を I とし, 長方形 OHPI の面積を S_1 とする.

また, OH を一辺とする正方形の面積を S_2 とする.

(1) S_1, S_2 を θ を用いて表せ.

(2) $S_1 + S_2$ を $\sin 2\theta, \cos 2\theta$ を用いて表せ.



4 【数学Ⅱ 図形と方程式】

xy 平面上に、

$$\text{円 } C : x^2 + y^2 + 4x - 6y - 7 = 0,$$

$$\text{直線 } l : y = x + 3$$

がある。

- (1) C の中心の座標と半径を求めよ。
- (2) C と l の共有点の座標を求めよ。
- (3) xy 平面上において、連立不等式

$$\begin{cases} x^2 + y^2 + 4x - 6y - 7 \leq 0, \\ y \geq x + 3 \end{cases}$$

で表される領域を E とする。

- (i) 点 (x, y) が E を動くとき、 $-3x + y$ の最大値と最小値を求めよ。
- (ii) a を正の定数とする。点 (x, y) が E を動くとき、 $ax + y$ の最大値を a を用いて表せ。

● ● ○ 配点 (50 点)

- (1) 8 点 (2) 8 点 (3)(i) 20 点 (ii) 14 点

● ● ○ 問題のレベル

- (1) 基本 (2) 標準 (3)(i) 応用 (ii) 発展

解 答

- (1) $x^2 + y^2 + 4x - 6y - 7 = 0$ は、

$$(x+2)^2 + (y-3)^2 = 20$$

と変形できるから、 C の

中心の座標は $(-2, 3)$ 、半径は $2\sqrt{5}$. …(答)

円の方程式

中心の座標が (a, b) 、半径が r の
円の方程式は、

$$(x-a)^2 + (y-b)^2 = r^2.$$

- (2) C と l の方程式を連立して、 y を消去すると、

$$x^2 + (x+3)^2 + 4x - 6(x+3) - 7 = 0.$$

$$x^2 + 2x - 8 = 0.$$

$$(x+4)(x-2) = 0.$$

$$x = -4, 2.$$

$y = x + 3$ より、

$$(x, y) = (-4, -1), (2, 5).$$

よって、 C と l の共有点の座標は、

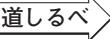
$$(-4, -1), (2, 5). \quad \dots(\text{答})$$

◆ 連立方程式

$$\begin{cases} x^2 + y^2 + 4x - 6y - 7 = 0, \\ y = x + 3 \end{cases}$$

の実数解 (x, y) が、 C と l の共有点の
座標である。

(3)

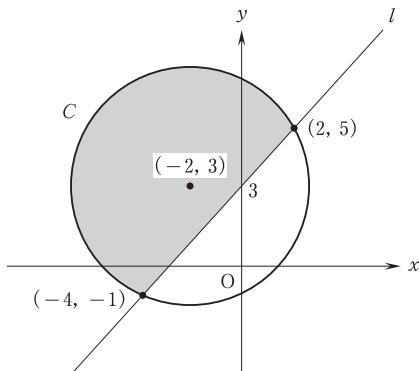
(i)  道しるべ

$-3x+y=k$ において、直線 $y=3x+k$ と領域 E が共有点をもつ k の条件を考える。

与えられた連立不等式は、

$$\begin{cases} (x+2)^2 + (y-3)^2 \leq 20, \\ y \geq x+3 \end{cases}$$

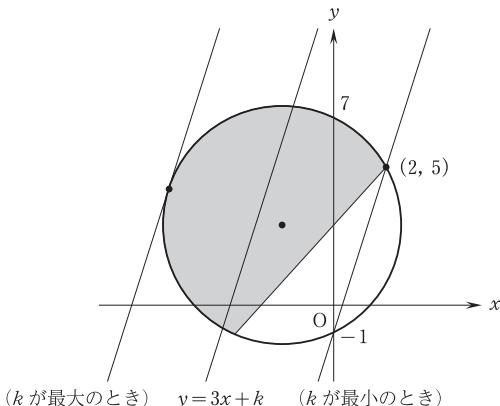
とでき、領域 E は、(1), (2) の結果をふまえて、次図の網掛け部分(境界線を含む)である。



$-3x+y=k$ とおくと、

$$y = 3x + k. \quad \cdots \textcircled{1}$$

これは、傾きが 3, y 切片が k の直線であり、直線 $\textcircled{1}$ が E と共有点をもつような k の最大値、最小値を求めればよい。



k が最大となるのは、 C と直線 $\textcircled{1}$ が、 C の中心より左側において接するときである。

C の中心 $(-2, 3)$ と直線 $\textcircled{1}$ ($3x-y+k=0$) の距離を d_1 とすると、

◆ 不等式

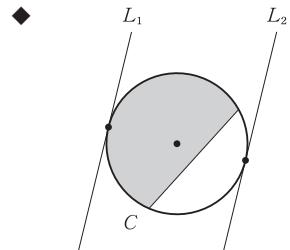
$$(x+2)^2 + (y-3)^2 \leq 20$$

の表す領域は、円 C の周および内部である。

◆ 不等式 $y \geq x+3$ の表す領域は、直線 l および l の上側である。

◆ $-3x+y=k$

となるのは直線 $\textcircled{1}$ 上の点であるから、 $-3x+y=k$ となる点 (x, y) が領域 E にあるのは、直線 $\textcircled{1}$ と E が共有点をもつときである。



傾きが 3 である C の接線は 2 本あり、 k が最大となる直線 $\textcircled{1}$ は、 C の中心より左側で接する L_1 である。

$$d_1 = \frac{|3(-2) - 3 + k|}{\sqrt{3^2 + (-1)^2}} \\ = \frac{|k - 9|}{\sqrt{10}}.$$

C と直線 ① が接する条件は,

$$d_1 = (C \text{ の半径})$$

であるから,

$$\frac{|k - 9|}{\sqrt{10}} = 2\sqrt{5}.$$

$$|k - 9| = 10\sqrt{2}.$$

$$k - 9 = \pm 10\sqrt{2}.$$

$$k = 9 \pm 10\sqrt{2}.$$

C と直線 ① が C の中心より左側で接する k は, このうちの大きい方であるから,

$$k = 9 + 10\sqrt{2}.$$

また, 図より k が最小となるのは, 直線 ① が点 $(2, 5)$ を通るときであり, このとき,

$$k = -3 \cdot 2 + 5 = -1.$$

よって, $-3x + y$ の,

最大値は $9 + 10\sqrt{2}$, 最小値は -1 . \cdots (答)

(ii) $ax + y = m$ とおくと,

$$y = -ax + m. \quad \cdots ②$$

これは, 傾きが $-a$ (< 0), y 切片が m の直線であり, 直線 ② が E と共有点をもつような m の最大値を求める.

C の中心 $(-2, 3)$ と点 $(2, 5)$ を結ぶ直線の傾きは

$$\frac{5-3}{2-(-2)} = \frac{1}{2}$$

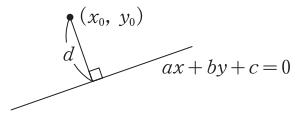
であるから, 点 $(2, 5)$ における C の接線の傾きは -2 である.

直線 ② の傾き $-a$ と -2 の大小で場合分けして考える.

点と直線の距離

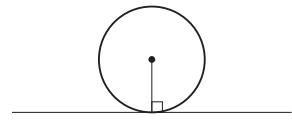
点 (x_0, y_0) と直線 $ax + by + c = 0$ の距離 d は,

$$d = \frac{|ax_0 + by_0 + c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}.$$



◆ 円の中心と直線の距離を d , 円の半径を r とすると, 円と直線が接する条件は,

$$d = r.$$



◆ (i) と同様に,

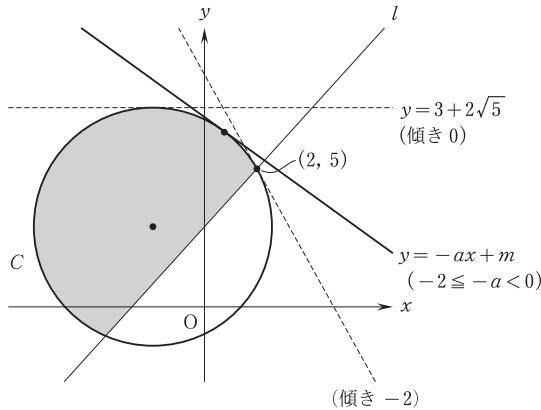
$$ax + y = m$$

となる点 (x, y) が領域 E にあるのは, 直線 ② と E が共有点をもつときであり, このような m の最大値を求めることになる.

◆ 傾きが p, p' である 2 直線が垂直である条件は,

$$pp' = -1.$$

(ア) $-2 \leq -a < 0$, すなわち $0 < a \leq 2$ のとき,



m が最大となるのは、 C と直線②が、 C の中心より上側において接するときである。

C の中心 $(-2, 3)$ と直線②($-ax - y + m = 0$)の距離を d_2 とするとき、

$$\begin{aligned} d_2 &= \frac{|-a(-2) - 3 + m|}{\sqrt{(-a)^2 + (-1)^2}} \\ &= \frac{|m + 2a - 3|}{\sqrt{a^2 + 1}}. \end{aligned}$$

C と直線②が接する条件は、

$$d_2 = (C \text{ の半径})$$

であるから、

$$\frac{|m + 2a - 3|}{\sqrt{a^2 + 1}} = 2\sqrt{5}.$$

$$|m + 2a - 3| = 2\sqrt{5(a^2 + 1)}.$$

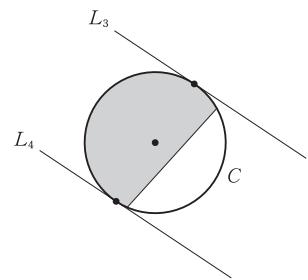
$$m + 2a - 3 = \pm 2\sqrt{5(a^2 + 1)}.$$

$$m = -2a + 3 \pm 2\sqrt{5(a^2 + 1)}.$$

C と直線②が C の中心より上側で接する m は、このうちの大きい方であるから、

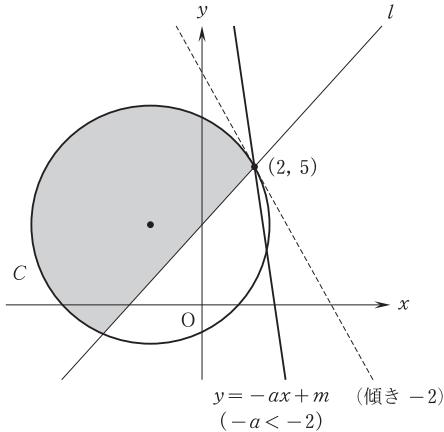
$$m = -2a + 3 + 2\sqrt{5(a^2 + 1)}.$$

◆



傾きが $-a$ である C の接線は 2 本あり、 m が最大となる直線②は、 C の中心より上側で接する L_3 である。

(イ) $-a < -2$, すなわち $2 < a$ のとき,



m が最大となるのは、直線②が点(2, 5)を通るときであり、このとき、

$$\begin{aligned} m &= a \cdot 2 + 5 \\ &= 2a + 5. \end{aligned}$$

(ア), (イ) より、 $ax+y$ の最大値は、

$$\begin{cases} -2a+3+2\sqrt{5(a^2+1)} & (0 < a \leq 2 \text{ のとき}), \\ 2a+5 & (2 < a \text{ のとき}). \end{cases} \quad \dots(\text{答})$$

(答)

最大値 $\sqrt{2}$,

最小値 -1 .

xy 平面上において、連立不等式

$$\begin{cases} x^2+y^2 \leq 1, \\ y \geq 0 \end{cases}$$

で表される領域を E とする。

点 (x, y) が E を動くとき、 $x+y$ の最大値と最小値を求めよ。

5 【数学Ⅱ 微分法】

2つの関数 $f(x) = x^3 - x^2 - 14x + 19$, $g(x) = -x^2 - 2x + 15$ があり,

$$h(x) = f(x) - g(x)$$

とする。

- (1) $h(x)$ の増減を調べ、極大値と極小値を求めよ。
- (2) $g(x) \geq 0$ を満たす x の範囲において、 $h(x)$ の最大値と最小値を求めよ。
- (3) k を実数の定数とする。 $y = f(x) - k$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフの共有点のうち、 y 座標が 0 以上であるものの個数を、 k の値の範囲で分類して答えよ。

● ● ○ 配点 (50 点) ○ ○ ●

- (1) 15 点 (2) 10 点 (3) 25 点

● ○ ○ 問題のレベル ○ ○ ●

- (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用から発展

解 答

$$\begin{aligned} (1) \quad h(x) &= (x^3 - x^2 - 14x + 19) - (-x^2 - 2x + 15) \\ &= x^3 - 12x + 4. \\ h'(x) &= 3x^2 - 12 \\ &= 3(x+2)(x-2). \end{aligned}$$

$h(x)$ の増減は次のようにになる。

x	…	-2	…	2	…
$h'(x)$	+	0	-	0	+
$h(x)$	↗	20	↘	-12	↗

したがって、 $h(x)$ の

極大値は 20, 極小値は -12. …(答)

導関数 —

$$(x^n)' = nx^{n-1}. \quad (n=1, 2, 3, \dots)$$

$$(c)' = 0. \quad (c \text{ は定数})$$

◆ $h(-2) = (-2)^3 - 12 \cdot (-2) + 4 = 20,$
 $h(2) = 2^3 - 12 \cdot 2 + 4 = -12.$

- (2) $g(x) \geq 0$ を満たす x の範囲を求める

$$-x^2 - 2x + 15 \geq 0.$$

$$x^2 + 2x - 15 \leq 0.$$

$$(x+5)(x-3) \leq 0.$$

$$-5 \leq x \leq 3. \quad \cdots \textcircled{1}$$

$-5 \leq x \leq 3$ における $h(x)$ の増減は次のようになる。

x	-5	...	-2	...	2	...	3
$h'(x)$		+	0	-	0	+	
$h(x)$	-61	↗	20	↘	-12	↗	-5

したがって, $g(x) \geq 0$ を満たす x の範囲における $h(x)$ の最大値は 20, 最小値は -61. …(答)

(3) 道しるべ

方程式 $f(x)-k=g(x)$ が, $g(x) \geq 0$ となる x の範囲において実数解を何個もつかを求める.

$y=f(x)-k$ のグラフと $y=g(x)$ のグラフの共有点の座標は, 連立方程式

$$\begin{cases} y=f(x)-k, \\ y=g(x) \end{cases}$$

の実数解 (x, y) であり, x は,

$$f(x)-k=g(x)$$

すなわち

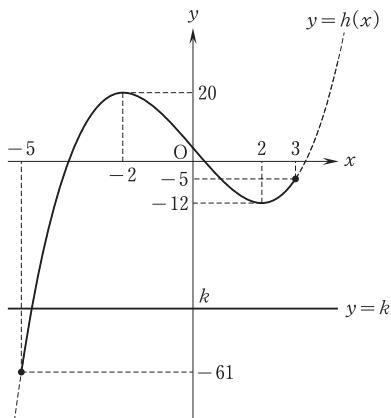
$$h(x)=k \quad \cdots \textcircled{2}$$

の実数解である.

また, 実数解 (x, y) のうち $y \geq 0$ を満たすものは, $y=g(x) \geq 0$ より ① $(-5 \leq x \leq 3)$ を満たすものである.

これより, $y=f(x)-k$ のグラフと $y=g(x)$ のグラフの共有点のうち, y 座標が 0 以上であるものの個数は, x の方程式 ② の実数解のうち, $-5 \leq x \leq 3$ を満たすものの個数と等しい.

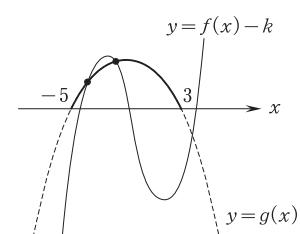
よって, 求める個数は, $y=h(x)$ のグラフの $-5 \leq x \leq 3$ の部分と直線 $y=k$ の共有点の個数である.



図から,

$$\begin{aligned} \blacklozenge \quad h(-5) &= (-5)^3 - 12 \cdot (-5) + 4 \\ &= -61. \\ h(3) &= 3^3 - 12 \cdot 3 + 4 \\ &= -5. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \blacklozenge \quad f(x)-k &= g(x) \\ \iff f(x)-g(x) &= k \\ \iff h(x) &= k. \end{aligned} \quad \cdots \textcircled{2}$$



太線部にある共有点の個数を求める.

$$\begin{cases} k < -61, \quad 20 < k \text{ のとき} & 0 \text{ 個}, \\ -61 \leq k < -12, \quad k = 20 \text{ のとき} & 1 \text{ 個}, \\ k = -12, \quad -5 < k < 20 \text{ のとき} & 2 \text{ 個}, \\ -12 < k \leq -5 \text{ のとき} & 3 \text{ 個}. \end{cases} \quad \cdots(\text{答})$$

———— ポイントチェック ————

3 次関数 $f(x) = -x^3 + 6x^2 + 3$ がある.

- (1) $f(x)$ の極大値と極小値を求めよ.
- (2) $-1 \leq x \leq 7$ における $f(x)$ の最大値と最小値を求めよ.

(答)

- (1) 極大値 35, 極小値 3.
- (2) 最大値 35, 最小値 -46.

6 【数学B ベクトル】

三角形OABがあり、

$$|\overrightarrow{OA}|=3, |\overrightarrow{OB}|=2, |\overrightarrow{OA} - 2\overrightarrow{OB}|=\sqrt{13}$$

である。辺OAを4:1に内分する点をC、辺ABを2:3に内分する点をDとする。さらに、直線CD上に点Eを、 $OE \perp AB$ となるようにとる。

- (1) $\overrightarrow{OC}, \overrightarrow{OD}$ を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ を用いて表せ。
- (2) 内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$ の値を求めよ。
- (3) \overrightarrow{OE} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ を用いて表せ。
- (4) 直線OEと直線ABの交点をFとするとき、三角形DEFの面積を求めよ。

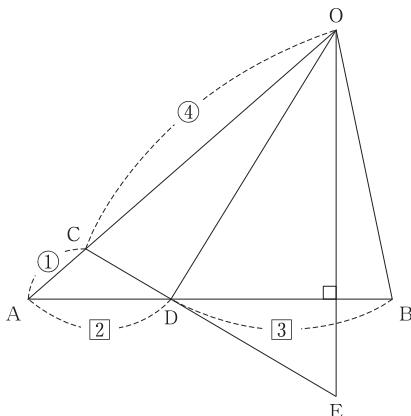
● ● ● 配点(50点) ● ● ●

- (1) 8点 (2) 12点 (3) 16点 (4) 14点

● ● ● 問題のレベル ● ● ●

- (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用 (4) 発展

解 答



(1) $\overrightarrow{OC} = \frac{4}{5}\overrightarrow{OA}. \quad \dots(\text{答})$

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OD} &= \frac{3\overrightarrow{OA} + 2\overrightarrow{OB}}{2+3} \\ &= \frac{3}{5}\overrightarrow{OA} + \frac{2}{5}\overrightarrow{OB}. \quad \dots(\text{答}) \end{aligned}$$

—— 内分点の位置ベクトル ——
線分ABをm:nに内分する点をPとするとき、
$$\overrightarrow{OP} = \frac{n\overrightarrow{OA} + m\overrightarrow{OB}}{m+n}.$$

(2) $|\overrightarrow{OA} - 2\overrightarrow{OB}| = \sqrt{13}$ より,

$$|\overrightarrow{OA} - 2\overrightarrow{OB}|^2 = 13.$$

$$(\overrightarrow{OA} - 2\overrightarrow{OB}) \cdot (\overrightarrow{OA} - 2\overrightarrow{OB}) = 13.$$

$$|\overrightarrow{OA}|^2 - 4\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} + 4|\overrightarrow{OB}|^2 = 13.$$

$$|\overrightarrow{OA}| = 3, |\overrightarrow{OB}| = 2 \text{ であるから},$$

$$3^2 - 4\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} + 4 \times 2^2 = 13.$$

$$\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = 3.$$

…(答)

(3)

道しるべ

Eは、直線CD上にあり、かつ $OE \perp AB$ であることから定まる点であるから、この2つの条件をベクトルで考えよ。

点Eは直線CD上にあるから、

$$\overrightarrow{CE} = t\overrightarrow{CD} \quad (t \text{ は実数})$$

と表される。これより、

$$\overrightarrow{OE} - \overrightarrow{OC} = t(\overrightarrow{OD} - \overrightarrow{OC}).$$

$$\overrightarrow{OE} = (1-t)\overrightarrow{OC} + t\overrightarrow{OD}$$

$$= (1-t)\left(\frac{4}{5}\overrightarrow{OA}\right) + t\left(\frac{3}{5}\overrightarrow{OA} + \frac{2}{5}\overrightarrow{OB}\right)$$

$$= \left(\frac{4}{5} - \frac{t}{5}\right)\overrightarrow{OA} + \frac{2t}{5}\overrightarrow{OB}. \quad \cdots \textcircled{1}$$

$OE \perp AB$ より $\overrightarrow{OE} \cdot \overrightarrow{AB} = 0$ であるから、

$$\left\{ \left(\frac{4}{5} - \frac{t}{5}\right)\overrightarrow{OA} + \frac{2t}{5}\overrightarrow{OB} \right\} \cdot (\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}) = 0.$$

$$\frac{1}{5}\{(4-t)\overrightarrow{OA} + 2t\overrightarrow{OB}\} \cdot (\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}) = 0.$$

$$-(4-t)|\overrightarrow{OA}|^2 + (4-3t)\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} + 2t|\overrightarrow{OB}|^2 = 0.$$

$$|\overrightarrow{OA}| = 3, |\overrightarrow{OB}| = 2, \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = 3 \text{ であるから},$$

$$-(4-t) \times 3^2 + (4-3t) \times 3 + 2t \times 2^2 = 0.$$

$$8t - 24 = 0.$$

$$t = 3.$$

よって、①より、

$$\overrightarrow{OE} = \frac{1}{5}\overrightarrow{OA} + \frac{6}{5}\overrightarrow{OB}.$$

…(答)

(4) (3)の結果より、

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OE} &= \frac{\overrightarrow{OA} + 6\overrightarrow{OB}}{5} \\ &= \frac{7}{5} \left(\frac{\overrightarrow{OA} + 6\overrightarrow{OB}}{7} \right). \end{aligned}$$

内積の性質

(i) $\overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{a} = |\overrightarrow{a}|^2$.

(ii) $\overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b} = \overrightarrow{b} \cdot \overrightarrow{a}$.

(iii) $\overrightarrow{a} \cdot (\overrightarrow{b} + \overrightarrow{c}) = \overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b} + \overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{c}$.

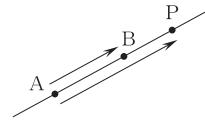
(iv) $(k\overrightarrow{a}) \cdot \overrightarrow{b} = \overrightarrow{a} \cdot (k\overrightarrow{b}) = k(\overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b})$.

(kは実数)

◆ 点Pが直線AB上にあるとき、

$$\overrightarrow{AP} = t\overrightarrow{AB} \quad (t \text{ は実数})$$

と表される。

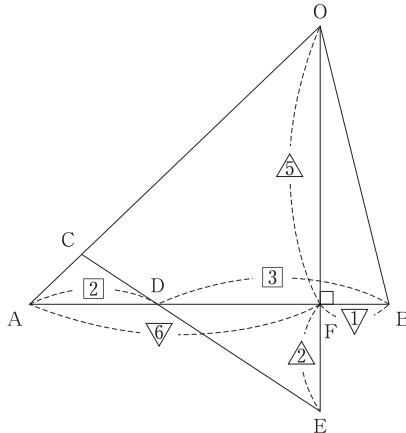


◆ $\overrightarrow{a} \neq \overrightarrow{0}, \overrightarrow{b} \neq \overrightarrow{0}$ のとき、

$$\overrightarrow{a} \perp \overrightarrow{b} \Leftrightarrow \overrightarrow{a} \cdot \overrightarrow{b} = 0.$$

ここで、 $\overrightarrow{ON} = \frac{\overrightarrow{OA} + 6\overrightarrow{OB}}{7}$ となる点Nは、辺ABを6:1に内分する点であり、さらに $\overrightarrow{OE} = \frac{7}{5}\overrightarrow{ON}$ より、Nは線分OEを5:2に内分する点である。

これより、Nは2直線OE、ABの交点であり、Fと一致する。



したがって、

$$\begin{aligned} DF &= DB - FB \\ &= \frac{3}{5}AB - \frac{1}{7}AB \\ &= \frac{16}{35}AB, \quad \cdots(2) \\ EF &= \frac{2}{5}OF. \quad \cdots(3) \end{aligned}$$

$$\triangle DEF = \frac{1}{2}DF \times EF, \quad \triangle OAB = \frac{1}{2}AB \times OF$$

であり、

$$\frac{\triangle DEF}{\triangle OAB} = \frac{DF}{AB} \times \frac{EF}{OF}.$$

よって、②、③から

$$\begin{aligned} \frac{\triangle DEF}{\triangle OAB} &= \frac{16}{35} \times \frac{2}{5} = \frac{32}{175}, \\ \triangle DEF &= \frac{32}{175} \triangle OAB. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \triangle OAB &= \frac{1}{2} \sqrt{|\overrightarrow{OA}|^2 |\overrightarrow{OB}|^2 - (\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{3^2 \times 2^2 - 3^2} \\ &= \frac{3\sqrt{3}}{2} \end{aligned}$$

であるから、

◆ 内分点の位置ベクトルの公式を利用した。

◆ NとFが一致するので、Fは辺ABを6:1に内分し、線分OEを5:2に内分する。

◆ 点Fについて考察する部分の別解が後にあります。

◆ 線分の長さを考えている。

◆ 三角形DEF、OABの面積を△DEF、△OABと表している。

三角形の面積

三角形OABの面積は、

$$\frac{1}{2} \sqrt{|\overrightarrow{OA}|^2 |\overrightarrow{OB}|^2 - (\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB})^2}.$$

$$\begin{aligned}\triangle DEF &= \frac{32}{175} \times \frac{3\sqrt{3}}{2} \\ &= \frac{48\sqrt{3}}{175}.\end{aligned}$$

…(答)

【(4) の点 F について考察する部分の別解】

点 F は直線 OE 上にあるから、

$$\begin{aligned}\overrightarrow{OF} &= k\overrightarrow{OE} \quad (k \text{ は実数}) \\ &= \frac{k}{5}\overrightarrow{OA} + \frac{6k}{5}\overrightarrow{OB} \quad \cdots(4)\end{aligned}$$

と表される。

また、点 F は直線 AB 上にあるから、

$$\overrightarrow{AF} = l\overrightarrow{AB} \quad (l \text{ は実数})$$

と表される。これより、

$$\begin{aligned}\overrightarrow{OF} - \overrightarrow{OA} &= l(\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}). \\ \overrightarrow{OF} &= (1-l)\overrightarrow{OA} + l\overrightarrow{OB}. \quad \cdots(5)\end{aligned}$$

\overrightarrow{OA} と \overrightarrow{OB} はいずれも $\overrightarrow{0}$ でなく平行でないから、④、⑤より、

$$\begin{cases} \frac{k}{5} = 1-l, \\ \frac{6k}{5} = l. \end{cases}$$

これより、

$$k = \frac{5}{7}, \quad l = \frac{6}{7}$$

であり、

$$\overrightarrow{OF} = \frac{5}{7}\overrightarrow{OE}, \quad \overrightarrow{AF} = \frac{6}{7}\overrightarrow{AB}$$

であるから、F は、線分 OE を 5:2 に内分し、辺 AB を 6:1 に内分する。

(4) の点 F について考察する部分の別解終り)

◆ x, x', y, y' は実数とする。

\vec{a}, \vec{b} がいずれも $\vec{0}$ でなく平行でないとき、

$$\begin{aligned}x\vec{a} + y\vec{b} &= x'\vec{a} + y'\vec{b} \\ \Leftrightarrow x &= x' \text{かつ } y = y'.\end{aligned}$$

———— ポイントチェック ————

三角形 OAB があり、

$$|\overrightarrow{OA}| = 2, \quad |\overrightarrow{OB}| = 1, \quad |\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB}| = \sqrt{6}$$

である。

辺 OA を 3:1 に内分する点を C、辺 AB の中点を D とする。さらに、直線 CD 上に点 E を、 $OE \perp AB$ となるようにとる。

- (1) $\overrightarrow{OC}, \overrightarrow{OD}$ を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ を用いて表せ。
- (2) 内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$ の値を求めよ。
- (3) \overrightarrow{OE} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ を用いて表せ。

(答)

$$(1) \quad \overrightarrow{OC} = \frac{3}{4}\overrightarrow{OA}.$$

$$\overrightarrow{OD} = \frac{1}{2}\overrightarrow{OA} + \frac{1}{2}\overrightarrow{OB}.$$

$$(2) \quad \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = \frac{1}{2}.$$

$$(3) \quad \overrightarrow{OE} = \frac{1}{6}\overrightarrow{OA} + \frac{7}{6}\overrightarrow{OB}.$$

工 邪「ja」 ↓ 「a」
オ 惡「aku」 ↓ 「aku」

「a」という韻をもつ、工「邪」が正解である。「平生不_レ信_セ邪_ヲ」となり、「日頃から邪惡なものなど信じてはいない」の意味。オ「惡」でも意味は通じるが、韻が「aku」となるので不適切。漢詩の押韻箇所の空欄補充の問題は、意味ではなく韻で判断しなければならない。

問五 解釈の問題

ポイント

句形や語の意味に着目して直訳するとともに、文脈を踏まえて適切な語を補い、傍線部に含まれた具体的な意味内容を決定する。

「如_{モシ}バ」は「もし——ならば」という順接の仮定形である。「佳_{ヨシ}」は「優れている・立派だ」という意味。「喜_{シテ}」は「喜んで・進んで」という意味。「神語」は「神の言葉」という意味。傍線部を直訳すると、「もし優れたものでなかつたら、喜んで神様のお言葉に従いましょう」となる。ここは直前の「もし続きの二句が優れたものでなかつたら、おまえの手を折ることもできるのだぞ」（若後一句不_レ佳_バ能_{カラ}折_ク爾_ラ手_ヲ）という何者かの言葉である。羅隱の手を引っ張り上げたのは、張大帝である。しかもこれは、日頃から詩の中で神を悪く言っていた羅隱が「私は」この世の果ての道まですべて旅をしたが、日頃から邪惡なものなど信じてはいない（踏_{ムシト}遍_{オホシシ}天涯路_{ハヤシル}平生不_レ信_セ邪_ヲ）と神の存在を疑い張大帝のことを悪く言う詩を書き始めたため、これに腹を立てた張大帝が、続きを詩句で自分を悪く言うのを羅隱にやめさせようとして発した言葉なのである。したがって、傍線部は張大帝が自分の靈力を羅隱に思い知らせる、すなわち張大帝が不思議な力を示して脅し、詩の後半で自分を悪く言おうとしている羅隱に警告を発するための行為であることがわかる。

解答は以上の内容を踏まえて

〔誰が〕 張大帝が
〔目的〕 不思議な力を示して脅し、詩の後半で自分のことを悪く言うのをやめるように羅隱に警告するため
ということをやめることをやめることになる。全体を解釈すると「続きの二句が張大帝様（＝あなた）のお気に召すものでなかつたら、私は手を折られてもかまいません」となり、これと同じ内容のウが正解である。アの「あなたは本当に私の手を折るつもりなのか」、イの「私はもう詩を作ることをやめるつもりだ」、エの「あなたが私の手を折ることはできない」、オの「私は詩を作ることをやめるつもりはない」は、いずれも「甘_{シジテ}照_{ヒタツ}神語」の内容を取り違えており、誤り。エ・

オは、「如_{モシ}バ」を「…としても」と逆接の仮定形に訳している点も誤りである。

問六 目的説明の問題

ポイント

傍線部の前後の文脈を考えて解答の根拠となる箇所を求め、その内容を制限字数内で過不足なくまとめる。

傍線部は、羅隱が続きを二句を書きつけようとした時、「手が人に引っ張り上げられる状態のようになり」という意味である。では、誰がどのような目的で羅隱の手を引っ張り上げたのか。手がかりとなるのは「もし続きの二句が優れたものでなかつたら、おまえの手を折ることもできるのだぞ」（若後一句不_レ佳_バ能_{カラ}折_ク爾_ラ手_ヲ）という何者かの言葉である。羅隱の手を引っ張り上げたのは、張大帝である。しかもこれは、日頃から詩の中で神を悪く言っていた羅隱が「私は」この世の果ての道まですべて旅をしたが、日頃から邪惡なものなど信じてはいない（踏_{ムシト}遍_{オホシシ}天涯路_{ハヤシル}平生不_レ信_セ邪_ヲ）と神の存在を疑い張大帝のことを悪く言う詩を書き始めたため、これに腹を立てた張大帝が、続きを詩句で自分を悪く言うのを羅隱にやめさせようとして発した言葉なのである。したがって、傍線部は張大帝が自分の靈力を羅隱に思い知らせる、すなわち張大帝が不思議な力を示して脅し、詩の後半で自分を悪く言おうとしている羅隱に警告を発するための行為であることがわかる。

解答は以上の内容を踏まえて

〔誰が〕 張大帝が
〔目的〕 不思議な力を示して脅し、詩の後半で自分のことを悪く言うのをやめるように羅隱に警告するため
ということをやめることをやめることになる。全体を解釈すると「続きの二句が張大帝様（＝あなた）のお気に召すものでなかつたら、私は手を折られてもかまいません」となり、これと同じ内容のウが正解である。アの「あなたは本当に私の手を折るつもりなのか」、イの「私はもう詩を作ることをやめるつもりだ」、エの「あなたが私の手を折ることはできない」、オの「私は詩を作ることをやめるつもりはない」は、いずれも「甘_{シジテ}照_{ヒタツ}神語」の内容を取り違えており、誤り。エ・

「欲す」と読み、「——しようとする」の意味。「題」は（注）にあるように「書きつける」という意味の動詞で、「題詩於壁」と同様に「題す」と読む。「後二句」は「続きの二句」という意味で「後の二句」と読む。
 「題二句」は述語+目的語の語順で、「続きの二句を書きつける」という意味で「後の二句を題す」と読む。

全体では、

- (1) 書き下し文では漢字と平仮名を交えて書く。
- (2) 「——んと欲す」の「ん」は推量・意志の助動詞「む」で、未然形に接続するので、「題す（サ行変格活用の動詞）」を未然形に活用させて「題せ」と読む。
- (3) ここでは後の「俄手如一人拽起状」（突然羅隱の）手が人に引っ張り上げられる状態のようになりとのつながりから「続きの二句を書きつけようとすると」という意味になるので、結びの「欲す」を連体形にして接続助詞「に」をつけ、「欲するに」と読む。

以上の点を踏まえて「方に後の二句を題せんと欲するに」と書き下す。

問三 詩の形式を問う問題

ポイント

詩の形式は、漢詩の基本となる頻出事項である。句数と字数による分類を確実に覚えておこう。

漢詩の形式は古体詩と近体詩の二つに大別される。その違いは次の通りである。

古体詩—唐以前からあつた形式。古詩と樂府の二つの形式がある。

近体詩—唐代に確立した形式。厳密なきまりがあり、絶句・律詩・排律の三つの形式がある。

問四 押韻の問題

ポイント

押韻の問題は、漢詩では問われる頻度が高い。漢詩の形式の問題と同じく貴重な得点源なので、押韻のきまりは確実に覚えておこう。

韻とは、漢字を音読みした末尾のひびき（冒頭の子音を取り除いた母音以下の部分）である。【設問解説】問三の表にあるように、漢詩は偶数句末に韻を踏むので、第四句末の「爺」が手がかりとなる。「爺」は音読みすると「ヤ」、ローマ字を用いて表記すると「ya」なので、詩の韻は「a」である。選択肢を見てみよう。

音読み	韻
ア 鬼「ki」 ↓	「i」
イ 神「shin」 ↓	「in」
ウ 靈「rei sh」 ↓	「ei」

古詩	句数	一句の字数
きまりがない	四言（四字） 五言（五字） 七言（七字）	偶数句末に同じ韻の字を置く。 段落ごとに韻をかえるもの（換韻）もある。
絶句	四句	五言（五字） 七言（七字）
律詩	八句	偶数句末に同じ韻の字を置く（二韻到底）。七言詩では、初句末にも同じ韻の字を置くことが多い。

※律詩では第三句と第四句、第五句と第六句が対句となる。
 ※樂府と排律は形式が問われることはない。

本問の詩を見ると、A・Bを合わせると四句があるので絶句だとわかれり、一句の字数が五字であることから、五言絶句だと判断すればよい。

押韻の問題

押韻

押韻の問題は、漢詩では問われる頻度が高い。漢詩の形式の問題と同じく貴重な得点源なので、押韻のきまりは確実に覚えておこう。

韻とは、漢字を音読みした末尾のひびき（冒頭の子音を取り除いた母音以下の部分）である。【設問解説】問三の表にあるように、漢詩は偶数句末に韻を踏むので、第四句末の「爺」が手がかりとなる。「爺」は音読みすると「ヤ」、ローマ字を用いて表記すると「ya」なので、詩の韻は「a」である。選択肢を見てみよう。

【重要語・基本句形】

【設問解説】

の読みの問題

重要語の知識は、漢文読解の基礎となるものなので、必ず学習すること。多様な読みを持つ語については、文脈にふさわしい読みを選ぶ練習を日ごろから心がけよう。

（7）「[故]には、(1)「ゆゑ」と読んで「理由」の意味、(2)「ゆゑに」と読んで「だから」の意味、(3)「もと（より）」と読んで「以前（から）」の意味、(4)「ふるし」と読んで「古い」の意味、(5)「ことさらに」と読んで「わざと」の意味、(6)「こと」と読んで「事件・災い」などの意味がある。ここは、「(張大帝が)最初に不思議な力を發揮した時、豚に変化して河川の氾濫を鎮めたことがあった」(初發^{メスル}靈^リ時^テ、^{シナリ}為^ム猪^{ノド}以^テ治^ム水^ヲ)を受けて、「だから広徳軍の住民の多くは豚を食べず、自分たちの方からはばかり避けるべきものとした」(故郡人多不^ハ食^ハ猪^ヲ、自為^{ラス}諱^ト物^ニ)という意味で、原因・理由を示す接続語として、「ゆゑに」と読む。

(2) 「のう」と読んで「力量・才能」の意味、(3) 「たぶ」と読んで「耐える」などの意味がある。「ここは、張大帝が羅隱を「おまえの手を折ることもできるのだぞ」(能折二爾ランナンラヲ手)と脅した言葉で、「よく」と読む。

問一 書き下し文の問題

書き下し文の問題

— ポイント

各語の読み方を決定

「方」は直後の「欲」を修飾する副詞なので「まさに」と読んで「ちょうど・まさしく」の意味。「欲」は「欲——」の形で「——んと

(1) 重要語	
○如 もシ バ	○若 もシ バ
○為 ル バ	○為 ル バ
○無 レ バ	○無 レ バ
○無 レ バ	○無 レ バ
(2) 基本句形	
以前・ある時	↓ [設問解説] 問一 参照
だから	
自分から・自分で・自分で自分を	
仕える	
非常に・たいそう	
すること・もの	
立ち寄る	
日頃・普段	
ちょうど・まさしく	↓ [設問解説] 問二 参照
しようとする・しそうだ	
まもなく・急に	
のようだ	↓ [設問解説] 問六 参照
できる	↓ [設問解説] 問一 参照
おまえ	
こうして・その結果・そのまま・結局	
もとのとおり	
——しないもの(こと)はない・皆(必ず)——す (否定形)	
もし——ならば(仮定形)	↓ [設問解説] 問五 参照
もし——ならば(仮定形)	

【書き下し文】

広徳軍の祠山の張大帝、初め靈を發する時、嘗て化して猪と為り、以て水を治む。故に郡人多く猪を食はず、自ら諱物と為す。郡人之に事へて甚だ謹み、戒めて猪の肉を食はず。唐人羅隱名天下に彰る。至る所の處、鬼神之に譏諷せられざるは無し。嘗て其の廟に過り、詩を壁に題して曰く、

踏ふること遍し天涯の路

と。平生邪を信ぜず
と。まさに後の二句を題せんと欲するに、俄に手人の拽起する状のごくしきて、人語を聞く。曰く、「若し後の二句佳からずんば、能く爾の手を折らん」と。羅悚懼して曰く、「如し佳からずんば、甘んじて神語に照はん」と。手遂に故のことし。続いで題して曰く、

祠山の張大帝

天下の鬼神爺なり

【全文解釈】

広徳軍の祠山に祭られている張大帝は、最初に不思議な力を發揮した時、豚に変化して河川の氾濫を鎮めたことがあった。だから広徳軍の住民の多くは豚を食べず、自分たちの方からはばかり避けるべきものとした。住民は張大帝に大変慎み深く仕えて、豚肉を食べないようにと戒めていた。唐代の詩人羅隱は、（詩人として）名声が世の中に知れ渡っていた。（羅隱が）訪れた所では、（その土地に祭られている）鬼神たちはみな羅隱の詩によつて悪く言われた。ある時（羅隱は）張大帝の廟に立ち寄り、壁に次のような詩を書きつけた。

（私は）この世の果ての道まですべて旅をしたが
日頃から邪惡なものなど信じてはいない

と。続きの二句を書きつけようというその時、突然（羅隱の）手が人に引つ張り上げられる状態のようになり、人の言葉が聞こえた。（その声が）言った、「もし続きの二句が優れたものでなかつたら、おまえの手を折ることもできるのだぞ」と。羅隱は恐れてすぐみながら言った、「もし（続きの二句が）優れたものでなかつたら、喜んで神様のお言葉に従いましょう」と。こうして手はもとのとおりになつた。（羅隱は）続けて書きつけた、

祠山の張大帝は

この世にくらべるものがない最も優れた神様です

と。

四 漢文
【解答】

- 問一 ⑦ ゆゑに ① よく
問二 方に後の二句を題せんと欲するに
問三 五言絶句
問四 エ
問五 ウ
問六 張大帝が、不思議な力を示して脅し、詩の後半で自分のことを悪く
言うのをやめるよう羅隱に警告するため。（49字）

【配点】（四十点）

- 問一 3点×2 問一 6点 問二 5点 問四 6点
問五 7点 問六 10点

【出典】

『湖海新聞夷堅續志』四巻。編者不明。本書は、宋・洪邁の『夷堅志』、
金・元好問の『続夷堅志』を継承する形で、元の時代に編纂された説話集である。前集二巻・後集二巻からなり、「人倫門」「怪異門」「佛教門」など十七の部門に分けられ、五百余りの話を収録する。その大部分が宋代のものである。宋人の著作をもとに編纂しなおしたものと考えられ、宋代の社会や文化を理解する上で参考になる。なお、本文は本書の後集卷二「神明門」の「祠山神顯」（祠山の神が不思議な力を示す）という標題の文章によった。

【本文解説】

本文は、行く先々でその地に祭られていた神を風刺していた著名な詩人を、とある地方に祭られていた神が懲らしめた話である。広徳軍という町の祠山には、張大帝という神が祭られていた。その昔、この神は豚の姿をして現れ、不思議な力を發揮して河川の氾濫を鎮めたことがあった。そのため住民たちは張大帝を厚く信仰し、豚肉を食べないようにと戒めていた。唐の時代、詩人として有名な羅隱がこの地を訪れた。彼は以前から、行く先々でいつもその土地に祭られている神を風刺する詩を詠んでいた。そして張大帝のことも、「私はどの土地に旅しても邪惡な神など信じない」と風刺する詩を書き始めた。すると突然、羅隱の腕が何者かに引っ張り上げられる状態のようになつて、続きを句が書けなくなり、「続きをの句が良くなかったら、おまえの腕をへし折つてやるぞ」という声が聞こえたのである。この声の主は張大帝であつた。恐れをなした羅隱が「もし続きをの句が良くなかったら、神様のお言葉に従います」と素直に応じると、羅隱の腕はもとのとおり自由になつた。彼は、腕を折られるのを恐れるあまり、詩の続きを「祠山の張大帝は、この世にくらべるものがない最も優れた神様です」と書きつけ、張大帝を称えたのである。

問八 文学史

世の中に 経るかひもなき **たけのこ**は わが経む年を **荀くじ**を
生き長らえるかいもない字シズである私の寿命を、 奉るなり
さしあげる

ポイント

古典を読む際には、その作品の文学史的性質をよく理解すること。
代表的な作品のジャンルと成立時代、作者を整理して覚えておく。有名出典については、その内容や特徴なども知つておくとよい。

【出典】にも記したように、『**大鏡**』は平安時代後期に成立した歴史物語である。同時代同時期、同じジャンルの作品についても、【出典】で説明した。選択肢がなくともわかつていなくてはならない有名な作品である。

ア 『**宇治拾遺物語**』：鎌倉時代初期成立の説話集。編者は未詳。仏教説話、民間説話などを和文体で描き、広く読まれた。

イ 『**増鏡**』：南北朝時代成立の歴史物語。作者は二条良基説があり。鎌倉時代から南北朝時代までの百五十年余りの歴史を和文體で記す。「大鏡」「今鏡」「水鏡」とともに、四鏡と呼ばれる。

ウ 『**吾妻鏡**』：鎌倉時代成立の史書。編者は未詳。平安時代末期から鎌倉時代にかけての鎌倉幕府の記録。漢文体で記している。

エ 『**雨月物語**』：江戸時代中期の読本。作者は上田秋成。和漢の作品を典拠とした怪異小説。

オ 『**栄花物語**』：平安時代後期成立の歴史物語。作者は未詳。平安時代ほぼ前半、約二百年の歴史を仮名文の編年体で叙述している。『**大鏡**』と同様に、藤原氏（特に藤原道長）の栄華を中心に描いている。よつて、これが正解。

花山院の従者たち

そこら候ひつる者ども、蜘蛛の子を風の吹き払ふ」とくに逃げぬれば、

大勢お仕えしていた者どもは、蜘蛛の子を風が吹き散らすように（散り散りに）逃げてしまったので、

花山院 ただ御車副のかぎりにてやらせて、物見車のうしろの方よりおはしましこそ、

ただ車副（＝牛車の左右につく供人）だけで（牛車を）進めさせて（行列を）見物していた（一般の貴人たちの並んでいる）車の後ろの方を通つて（こそこそと）お帰りになったのは、

よつて、この花山院と従者たちの様子をふまえて、解答には、次の二点を書くこと。

★（花山院は）車副の者だけで牛車を進めて、並んでいる物見車の後ろを通つてこそこそと帰つた。

★（花山院がこそこそと帰つたのは）大勢の従者が檢非違使に捕まるまないと逃げてしまつたからである。

問六 慣用句（選択式）

●ポイント（）など体の一部を表す語を用いた慣用句は数多い。日頃から、こういった語句に注意しておくとよい。もし慣用句としては知らなくても、文脈から類推できることもある。前後をしっかりと読み取ることである。

口にのる（慣用句）

① 人々の評判になる。話の種になる。

※ 「相手の言葉にだまされる。□車に乗る」という意味は近代以降のもので、古文はない。

ここは、花山院の詠んだ和歌が「人（＝世人）の」何かにのらないことはなかつたという文脈である。和歌が「のる」としたら、「□」か「目」と考えられるが、「目にのる」という慣用句はない。また、和歌は紙に書かれたものを見て広まる以前から、世人に□づざまれることで、評判になるものであつた。よつて、正解はア。

問七 和歌の語句の意味

和歌の現代語訳は、基本的に通常の散文の場合とかわらないが、注意する点は二つ。一つは句切れがどこかということ。もう一つは、逐語訳で意味の通らない部分には、掛詞が用いられている可能性があるということ。また、和歌の直前には、その和歌の詠まれた状況が書かれていることが多いので、それも参考にするとよい。

この和歌については、第四句までに終止法（＝文末）となる箇所は考えられないでの、句切れはない。

和歌の直前によると、花山院が父冷泉院に「筈」をさしあげる折に詠まれたものである。「筈」は「たけのこ」を表す漢字であるが、「たけのこはわが経む年を奉る」で、「たけのこ」が「私のこれから先の寿命をさしあげる」というのでは意味が通らない。そこで、「たけのこ」の「こ」が「子」との掛詞になつてゐるところと氣づくことで、冷泉院の「子」である花山院が、自らの寿命を父に贈ると詠んでも理解される。よつて、「たけのこ」は、冷泉院の「子」である花山院のことと言つたものである。

と、ア～オの正誤は次のとおりである。

さすがに　　いとほしく

かたじけなく

ア威儀があつて、とても恐ろしいほど
イやはり、氣の毒で恐れ多いことだとと思われていらっしゃった
ウ高貴ではあるが、いじらしくて
エなるほど、かわいそうで
オなんといつても、美しくて

すばらしく……。
恐れ多いことだと……。
恐縮して……。
もつたいないことだと……。
尊いことだと……。

したがつて、「さすがに」「いとほしく」「かたじけなく」すべての古語を正しく訳出しているのはイである。念のため、「おぼえおはしまししか」の訳も確認しておく。「おぼえおはしまししか」は、「おぼゆ」に尊敬語の補助動詞「おはします」（問三解説参照）の連用形と過去の助動詞「き」の已然形がついたものである。ア～オを見ると、すべて尊敬表現として訳され、また、文末は過去「うた」となっている。したがつて、「おぼゆ」のみに着目すると、ア～オの正誤は次のとおりである。

ア……
イ……思われていらっしゃった。
ウ……（恐縮して）いらっしゃった。
エ……お思いになつた。
オ……お思いになつた。

……おはしまししこそ、さすがに……おはしましげ

ii 内容説明（記述式）

ポイント

傍線部の正確な現代語訳をもとに、問われている内容が本文中のどこに書かれているかを探し、わかりやすくまとめる。

設問によると、傍線部は花山院の様子について言つたものである。花山院は、「やはり、氣の毒で恐れ多いことだと」周囲の人々に「思われていらっしゃった」。周囲の人々は、花山院のどのような様子を見て、「氣の毒で恐れ多い」と思ったのかを考える。

傍線部末尾は、過去の助動詞「き」の已然形であるが、これは係助詞「こそ」の結びである。係り結びは、意味がかかつてゆくところで結ぶ。つまり、次のような構文となつている。

ア・イは、「おぼゆ」の訳語「思われる」を正しく訳しているので可。エ・オは、「おぼゆ」でなく、「思ふ」として訳されているので不可。ウは、「おぼゆ」に該当する訳語がないものの、「（恐縮して）いらっしゃった」を、恐縮に「感じ」ていらっしゃったという意味だと理解することもできるので、他の部分が正しく訳されいれば正解となる可能性があるから、検討する余地はある。いずれにしても、さきほど確認したイが、「おぼえおはしまししか」

でも、正しく訳されているので、これが正解でまちがいないとわかる。

なお、「やはり、氣の毒で恐れ多いことだとと思われていらっしゃった」と訳した場合の「思われ」は、文脈から、「おぼゆ」の④「（人から）と思われる」と解して、「花山院が人から……と思われ」たと考える必要がある。このことが、設問iiのヒントになる。

てしがな（終助詞）

① ～たい。～したいものだなあ。

※ 連用形に接続して、自己の願望を表す。

「見たい」「見たいものだなあ」などと訳す。

問四 内容説明（記述式）

ポイント

まず傍線部を正確に現代語訳する。指示語が含まれている場合には、本文中からその指示している箇所を具体的にし、その内容をふまえて、言葉を補うなどしてわかりやすく説明する。

かうかう／の／～と

かうかう（副詞）

① これこれ。このようし。

※ 指示の副詞「かく」を重ねた「かくかく」のウ音便。

「かうかうこと候ふ」の「候ふ」については、問一で丁寧語であると確認しているので、これを現代語訳すると、「これこれがことがさいます」となる。問一で検討したように、權大納言殿が「これこれがこと」を察知し、花山院のもとに使者を走らせて、早く帰るよう促しているのである。その「これこれがこと」が指すのは、傍線部一行前「檢非違使參りて、昨日、こと出だしたりし童べ捕ふべし」である。前書きの「前日には、花山院の従者（童べ）が往来で乱暴をはたらくという事件があつた」をふまえると、「これこれがこと」は、檢非違使が花山院の従者を捕えに来ることだと考えられる。よつて、解答には、次の二点を書くこと。

★檢非違使が花山院のところに来る。

★檢非違使は、前日往来で乱暴をはたらいた花山院の従者を捕らえようとしている。

問五 現代語訳（選択式）と内容説明（記述式）

1 現代語訳（選択式）

ポイント

傍線部を品詞分解し、重要古語の意味と、助動詞や助詞などの文法・語法を見逃さないように、一つ一つ選択肢と対照させる。

さすがに、／いとほしく／かたじけなく／おぼえ／おはしまし／しか

さすがに（副詞）

① そろはいってもやはり。なんといってもやはり。

いとほし（シク活用形容詞）

① 気の毒だ。かわいそうだ。

② かわいい。いとしい。いじらしい。

③ 困る。嫌だ。つらい。

かたじけなし（ク活用形容詞）

① 恐れ多い。もったいない。

② みっともない。面白ない。

おぼゆ（ヤ行下二段活用動詞）

① 思われる。感じる。

② 思い出される。

③ 似ている。

④ （人から）～と思われる。

「さすがに」「いとほしく」「かたじけなく」の古語の意味に着目する

めとして、御車のしりに多くうちむれ参りし氣色けしきども」と記されてい
る。

氣色（名詞）

- ① 様子。
② 顔色。機嫌。意向。
③ 光し。

「言へばおろかなり」なのは、花山院一行の様子であり、それは（注
1）を参考すると、異様なものであったとわかる。すると、ア・イ・エ
について、補いも含めた正誤は次のとおりである。

ア 花山院の姿など口に出すのもばかりでいる。
イ 花山院一行の無礼なふるまいは言うまでもない。
エ 花山院一行の奇抜な様子は言葉では言い尽くせない。

よつて、正解はエ。

問三 短語句の現代語訳（記述式）

ポイント

現代語訳の手順としては、まず傍線部を品詞分解し、次に、そこに
含まれる重要古語の意味と、助動詞や助詞などの文法・語法に注意し
て逐語訳する。敬語も重要な古語であるから、その用法と訳語を理解し
たうえで、訳し忘れのないようにしなければならない。

若く／おはしまし／し／ほど／ぞ／かし

傍線部2

おはします（サ行四段活用動詞）

- ① いらっしゃる。「あり」「をり」「行く」「来」尊敬語
② 「で・て」いらっしゃる。（尊敬語の補助動詞）

ほど（名詞）

- ① 程度。

② 時間。うち。ころ。（時間の程度）
③ 道のり。広さ。辺り。（空間の程度）
④ 身分。年齢。（人間の程度）

かし（終助詞）

- ① ょよ。よね。

※ 終止形・命令形や係助詞「ぞ」に接続して、念を押す意を表す。

「若くおはしまし」の「おはしまし」は尊敬語の補助動詞「おはし
ます」の連用形で「～（で・て）いらっしゃる」と訳す。その連用形に
接続する「し」は過去の助動詞「き」の連体形。名詞「ほど」は、「若
くていらっしゃった」に続くのだから、年齢としての時間の程度で、こ
こは「ころ」などと訳すとよい。また、文末にある「ぞ」は断定とす
る。したがって、「ほどぞかし」で「ころだよ」と訳す。

傍線部5

あそばし／たる

あそばす（サ行四段活用動詞）

- ① （し）なさる。（す）尊敬語

※ 尊敬語の代動詞として、文脈にあう動作を考えて訳す。

「あそばしたる和歌」とあるから、「あそばす」は「お詠みになる」と
訳すとよい。その連用形に接続している「たる」は、完了・存続の助動
詞「たり」の連体形。「お詠みになった」などと訳す。

傍線部6

見／てしがな

丁寧語……………
会話文＝聞き手へ
地の文＝読者へ

a 「かうかうのこと候ふ」は会話文中である。

誰からは会話の話し手、**誰へ**は丁寧語なので会話の聞き手となる。

ここは、花山院の従兄弟で後見人でもあつた権大納言殿（注5参照）が、「かうかうのこと（＝これこれのこと）」を察知し、「とく帰らせ給ひね（＝早くお帰りください」と花山院に知らせているところである。したがつて、会話の話し手は権大納言殿、聞き手は花山院。よつて、正解は次のとおり。

誰から＝権大納言殿（ウ）。

誰へ＝花山院（ア）。

b 「申させ給へりしか」は地の文である。**誰から**は語り手、**誰へ**は尊敬語なので動作の主体となる。

ここは、aで確認した会話文のあとにくる「申させ給へりしか」なので、「申しあげなさった」のは権大納言殿となる。したがつて、動作の主体は権大納言殿。よつて、正解は次のとおり。

誰から＝語り手（力）。

誰へ＝権大納言殿（ウ）。

c 「冷泉院に筈奉らせ給へる」は地の文である。**誰から**は語り手、**誰へ**は謙譲語なので動作の受け手となる。

ここは、「冷泉院に筈をさしあげなさった」という意味だから、「さしあげ」の相手は冷泉院となる。したがつて、動作の受け手は冷泉院。よつて、正解は次のとおり。

誰から＝語り手（力）。

誰へ＝冷泉院（イ）。

問二 解釈（選択式）

ポイント

傍線部を正確に現代語訳する。重要古語や語法、慣用句などに注意すること。選択肢に、傍線部の逐語訳を補う説明が加えられている場合は、傍線部前後の内容と矛盾しないかどうか吟味する。

言へ／ば／おろかなり

おろかなり（ナリ活用形容動詞）

① 並一通りだ。
② いいかげんだ。

③ 思慮が浅い。ばかげている。未熟だ。

※ ①・②は「疎か」、③は「愚か」である。

言へば（言ふも）おろかなり（慣用句）

① 言い尽くせない。言うまでもない。

※ 「(言葉にして) 言うといいかげんだ」「言うだけ、ばかげている感じがする」の意から生じた慣用句である。

まず、慣用句「言へばおろかなり」に着目すると、ア～オの正誤は次のとおりである。

ア ……○□に出すのもばかげている。
イ ……○言うまでもない。
ウ ……○評判どおりだ。
エ ……○言葉では言い尽くせない。
オ ……×□にするのも恐ろしい。

次に、ア・イ・エに補われている内容を吟味する。補いはいずれも、何が「言へばおろかなり」なのかという点についてである。何がということについては、傍線部直前に「いみじき」の者ども、高帽頬勢をはじ

【設問解説】

問一 敬語の種類と敬意の方向

① ポイント

敬語については、まず、尊敬語・謙譲語・丁寧語の区別と、本動詞か補助動詞かの判別に習熟すること。次に、敬意の方向についての考え方を理解しよう。敬語は、動作の主体や受け手を認識することで、本文中の人物関係などを読みとるのに役だつものである。

i 敬語の種類

候ふ（八行四段活用動詞）

- ① お仕え申しあげる。
② お控えする。伺候する。
③ あります。います。
④ ～です。～ます。～ざいます。（丁寧語の補助動詞）
- 〔仕ふ〕謙譲語
〔あり〕「をり」謙譲語
〔あり〕「をり」丁寧語

「かうかうのこと候ふ」 \downarrow 「～と」が「候ふ」という、主語・述語の関係だから、この「候ふ」は本動詞の用法（①～③）。また、「～と」の主語に対して、述語「候ふ」を①「お仕え申しあげる」②「お控えする」の意味にとることはできない。したがって、この「候ふ」は③丁寧語「あります」の意味である。よって、正解はウ。

b

給ふ（八行四段活用動詞・八行下二段活用動詞）

- ① お与ふになる。くださる。〔四段〕
② ～なさる。お～になる。〔四段〕
③ ～ます。～ております。〔下二段〕
〔謙譲語の補助動詞〕
- ※ 謙譲語の補助動詞の「給ふ」は、会話・手紙の中ではしか用いられない。また、知覚を表す「思ふ・見る・聞く・知る」などの動詞にしか付かない。

ii 敬意の方向

誰から	地の文の場合……作者・語り手から
会話文の場合……話し手から	
誰へ	
尊敬語………動作の主体へ	
謙譲語………動作の受け手へ	

c

奉る（八行四段活用動詞）

- ① お乗りになる。
② おめしになる。
③ めしあがる。
④ さしあげる。
⑤ ～（し）申しあげる。お～する。（謙譲語の補助動詞）
- 〔乗る〕尊敬語
〔着る〕尊敬語
〔食ふ〕「飲む」尊敬語
〔与ふ〕謙譲語

「冷泉院に筈奉らせ給へる」 \downarrow 「筈」を「奉る」で、「筈」は「奉る」の目的語と考えられるから、この「奉ら」は本動詞の用法（①～④）。「筈」を「奉る」という表現から、①・②は考えられない。ここは、冷泉院に筈を「奉る」という文脈。したがって、この「奉ら」は④謙譲語「さしあげる」の意味である。よって、正解はイ。

「申させ給へりしか」 \downarrow 使役・尊敬の助動詞「す」の連用形「せ」に下接しているので、この「給へ」は補助動詞の用法（②・③）。補助動詞の「給ふ」は、四段活用なら②尊敬語、下二段活用なら③謙譲語である。ここは、「給ふ」の直下が完了・存続の助動詞「り」なので、助動詞「り」の接続から、「給へ」は四段活用の已然形（命令形）となる。したがって、この「給へ」は②尊敬語の補助動詞「～なさる。お～になる」の意味である。よって、正解はア。

【全文解釈】

花山院が、ある年、「祭の還さ」（＝賀茂祭翌日^{かのものまつり}に賀茂上社^{かみのみや}から意院御所^{おきいんごしょ}のある紫野^{むらの}へ帰る意院一行の行列）をご覧になつた様子は、誰も拝見なさつただろうよ。前日、（花山院の従者が往来で乱暴をはたらくという）事件を起しなさつた折のことだよ。そんなことがあつたら（その）翌日は、いくらなんでもお出ましなどないほうがよいのに、優れた武勇の者どもが、異様に高い鳥帽子をかぶった荒法師をはじめとして、（花山院の）牛車の後ろに大勢群がつて參上していた（奇抜な）様子どもは、言葉では言い尽せない。何よりも（花山院の）数珠がとてもおもしろかったのである。小さいみかんをふつうの（数珠の）玉のようにして（紐に）通しなさつて、留めとなる大玉には大きなみかんを用いた数珠を、とても長く指貫^{わきぬき}とともに（牛車の御簾から外に）お出しになつていたのは、そんな見ものが（他に）あつたでしょうか、いや、なかつたでしようよ。

紫野で、人々が、（花山院の）お車に注目し申しあげていていたといふに、検非違使^{けいひし}が参上して、昨日、（乱暴をはたらいたといふ）事件を起した（花山院の）従者を逮捕しようという事態が起つてしまつたではないか。現在の権大納言殿が、まだその折は若くていらっしゃつたころだよ。（使いの）人を走らせて、「これこれが」と申します。早くお帰りください」と申しあげさせなさつたところ、大勢お仕えしていた者どもは、蜘蛛の子を風が吹き散らすように（散り散りに）逃げてしまつたので、（花山院は）ただ車副（＝牛車の左右につく供人）だけで（牛車を）進めさせて、（行列を）見物していた（一般の貴人たちの並んでいる）車の後ろの方を通つて（こそそと）お帰りになつたのは、やはり、（人々から）気の毒で恐れ多いことだと思われていらつしやつた。それから、検非違使が（花山院邸を）監視したりして、実にたいそうひどく責められなさつて、太上天皇の御名を汚しながらしまつた。

そうはいってもやはり、（花山院が）お詠みになつた和歌は、どれも人々に愛誦^{あいじゅ}されないものはなく、優美だとお聞きすることだよ。「（試しに）他

所（かり）の田をも見たいものだなあ。（自分の邸のせいでしみじみともの悲しく見えるのかどうかと）」（という和歌）などは、「」のような（尊い）お立場で思いつきなさつた和歌とも思われず、氣の毒でござります。さてまた、（花山院が、父である）冷泉院に筈^{くわ}をさしあげなさつた折ば、この「たけのこ」をさしあげるのは、（竹は千歳^{ちゆうぜ}を経るというので）この世の中に生き残^{のこ}る覚^覚らないかじもない「子」である私の、これから先の寿命を、父上にさしあげるのです。

【本文解説】

① ものの〈前提として知つておくとよい知識〉

賀茂祭

古くは単に「祭」と言えれば賀茂祭のことであった。京の上賀茂・下鴨両神社の祭で、四月（旧暦）の中の酉の日に行われた。斎院（＝未婚の皇女から選ばれた賀茂神社に奉仕する者）と勅使（＝天皇の使者）一行が両神社に参拝する華麗な行列が見もので、それを見ようと、多くの人々が集まつた。勅使以下参列者の衣冠や牛車に葵の葉を飾るので、葵祭とも呼ばれた。現在では五月十五日に行われている。

本祭に先だって斎院が賀茂川で禊ぎを行ふ「御禊」の行列や、本祭の翌日に斎院が紫野の斎院御所へ帰る「祭の還さ」も華やかで、多くの古典文学に、それらの様子が描かれている。『源氏物語』葵巻の、有名な車争いの場面は「御禊」の日のできごとである。

花山院

第六十五代花山天皇。冷泉天皇の第一皇子。十七歳で即位したが、在位期間はわずか一年十箇月。女御の死を悲しむあまり、藤原兼家とその子息の道兼による謀略で退位させられて花山寺で出家し、花山法皇となる。ちなみに、天皇退位後の尊称が太上天皇であり、略して上皇と称される。また、出家した上皇は法皇と称される。上皇も法皇も院と呼ばれる。また、

花山院は、書写山・比叡山・熊野などをめぐつて仏道修行をする一方、色好みとしても評判であった。また、絵画や和歌に巧みで、第三勅撰和歌集『拾遺和歌集』の撰集にもかかわった。

② 〈本文の要点〉

第一段落：「祭の還さ」見物をする花山院一行

- ◆ある年、院は供人を従えて「祭の還さ」見物に現れた。
- ◆「祭の還さ」前日、院の従者は、往来で事件を起していた。
- ◆見物をする院の牛車を、勇猛な供人たちが大勢とり囲んでいた。

◆院の数珠はみかんを利用した特異なものだった。

◆院一行や院自身の奇抜さは、祭見物の人々から注目を集めた。

第二段落：「檢非違使による花山院の従者捕縛」

◆事件を起こした院の従者を、檢非違使が捕縛することになった。

◆院の後見人である權大納言殿が捕縛の報を、院一行のもとへ知らせた。

◆従者たちは逃げて、車副（＝牛車の左右につく供人）だけが残つた。

◆院は、他の見物人たちの牛車の後ろをこそそと通つて帰つた。

第三段落：「花山院の和歌」

◆院の詠んだ和歌は人々に愛誦されて、優美な作風であった。

◆院は、父である冷泉院を思いやる和歌を詠んでいた。

〔解答〕
〔古文〕

問一 i a ウ b ア c イ
ii a ウ (から) ア (へ) b 力 (から) ウ (へ)
c 力 (から) イ (へ)

問二 工 ii a ウ (から) ア (へ) b 力 (から) ウ (へ)
c 力 (から) イ (へ)

問三 2 若くていらっしゃつたころだよ。
5 お詠みになつた。

問四 6 見たいものだなあ。

問五 前日往来で乱暴をはたらいた花山院の従者を、検非違使が捕らえに
来るということ。(38字)

問六 i イ ii 大勢の従者が検非違使に捕まるまいと逃げてしまつたので、車
副の者だけで牛車を進めて、並んでいる物見車の後ろを通つてこ
そこと帰つた様子。

問七 ア 花山院
問八 オ

〔配点〕(五十点)

問一	i 1点	1点×3	ii 1点×6	問二 4点
問三	2 4点	3点	6 2点	問四 7点
問五	4点	5 10点	問六 2点	問七 3点
				問八 2点

〔出典〕
〔大鏡〕

〔成立年代〕平安時代後期。

〔作者〕未詳。

〔ジャンル〕歴史物語。

〔内容〕平安時代のほぼ前半、百七十六年間の歴史を描く。

・藤原氏(特に藤原道長)の榮華を中心に、天皇家や藤原氏の人々をめぐる政治的事件や人物像を描く。

・大宅世継(百九十五歳)と夏山繁樹(百八十歳)という二人

の古老が自身の体験を語り、それを、そばで聞いていた人物が聞き書きしたという形式になつていて、

同様に、古老の語り物または聞き書き形式で書かれた歴史物語は、『大鏡』以後、『今鏡』『水鏡』『増鏡』と続いた。

これらを四鏡(鏡物)と言う。

・『大鏡』と同時代の内容を書き、かつ同時代同時期に成立した歴史物語に『栄花物語』がある。

・『栄花物語』が年月の順を追つて叙述する編年体であるのに對し、『大鏡』は人物を主眼として叙述する紀伝体である。

本文は、新編日本古典文学全集『大鏡』(小学館刊)に拠つたが、読解の便を図り、表記等変更した箇所がある。

問五

本文の内容に合致するものを選択肢の中から選ぶ問題

「ポイント」 内容合致の問題は、一つ一つの選択肢の意味を正確に理解し、本文

と照らし合わせて吟味しよう。

アは、「美術」において、「『美』とは何かという問題」と「『術』のあり方」を比較した上で、「より重要なのは『術』のあり方である」と述べている点が不適当。本文の最初の部分に、「創作の『術』をおろそかにしていては、「美術」は成立してこない」と述べられているが、「美」の問題よりも「術」の方が重要だとは述べられていない。

イは、【本文要旨】Iに述べられていた内容に合致する。筆者は、「美」は「ひとそれぞれ」であり（【本文要旨】Iの冒頭）、「美は世界にあまねく存在する」という「拡散し遍在する『美』のありよう」に興味を引かれていた（【本文要旨】Iの末尾）。したがって、イが一つ目の正解である。

ウは、Cの前の段落に述べられていることと合致する。筆者が「美」の英語訳を当初考えていた通り“Beauty”としたことにした理由として、映画女優に扮するセルフポートレイトという展覧会の内容の「大衆性を組み込」もうと考えたことが挙げられている。したがって、ウが二つ目の正解である。

エは、「美」の基準を統一するべく、そのあり方を見直すことが急務である」が不適当。【本文要旨】IIの中程や最後に述べられているように、筆者は西洋流と日本流のどちらかが優秀だと考えていたわけではない、どちらかを是正すべきだと主張しているのでもない。

オは、「西洋美術」が「常に進歩を続けてきた」が不適当。【本文要旨】IIIの冒頭にあるように、「美術は多種多様である」が、それを、過去から現在への「進歩」と捉えているわけではない。

カは、「現代美術」が筆者の考える「『美』の基準から外れて」おり、

「伝統的な日本画」が筆者の「『美』の基準に適う」ものであるとしている点が不適当。そのようなことは本文のどこにも述べられていない。

する内容は、傍線部の前後に述べられている。筆者は、「『美』とはなにかを論じるまえに、日本語でいうところの『美』自体が検証の対象となる」事態に直面し、「この『美』への不信とこれからどのようににつきあって行くべきなのでしょう」と、述べている。確かに、「美」に対して不信を抱いていては、「『美』に至ること、すなわち「美」に向かって創作することはできないだろう。では、なぜ「『美』への不信」が生じたのか。

【本文要旨】II

を振り返ろう。筆者は、「美に至る病」をテーマに展覧会を開いた。その際、日本語の「美」と英語の「美」とにズレがあることに気づく。日本語では日常も芸術も学問も、すべてに「美」という言葉が共通に用いられるが、英語では、日常的な美には“Beauty”、藝術的な美には“Art”、學術的な美には“Aesthetics”、という使い分けがあるるのである。そのため、花鳥風月を描いたいわゆる日本画に対しても「美しい」という言葉が使えるが、西洋美術については単純にはいかない。たとえば、キリスト教世界の「美」は日本の「美」の概念とは異なるだろう。また、西洋美術では、正しさや厳密さが問われるケースもあったし、哲学的なテーマを感じさせる作品もあった。二十世紀初頭には、「美しいかどうか」を問うこと 자체が否定されるような過激な藝術的活動もなされている。そして、【本文要旨】IIIにあるように、現代美術においては「美」以外のテーマが頻出するようになる。「美」の概念は日本語と英語で異なるだけでなく、時代や社会によっても変化するのである。また、創作としての「美術」のありようも時代や社会によつて「多種多様」である。こうしたことに気づき、「美」に不信を抱いた筆者は、「美に至りえない病」を見出す。つまり、どのような創作をしたらよいのかわからなくなってしまったのである。整理しよう。

c2 「美」への不信が生じた

← (そのため)

b どのような創作をしたらよいのかわからなくなってしまった

以上のa～cの内容をまとめればよいが、cが理由だと明確に分かるように、cを書いた後に「ため」「ので」等の言葉を用いてbにつなげるといった工夫をし、制限字数内でわかりやすく記述しよう。

c1 「美」の概念は時代や社会や言語によって異なり、「美」の創作のありようも、時代や社会によつて多種多様であることに気づく

述べていない。また「聖を退け俗や醜を描く」が不適当。カラヴァッジヨは「美と醜」「聖と俗」を「同居」させたのであり「聖を退け」たのではない。

オは、「神や聖を美なるものとして崇めることの誤りがわかる」^{あが}が本文に述べられていない内容であり、**b**。ポイントから外れている。

問四 傍線部の意味内容と、その理由を説明する記述問題

ポイント

この設問では、傍線部自体の意味内容の説明と、その理由の説明が求められている。

まず、傍線部の説明から考えよう。傍線部には、筆者が「『美に至る病』に向かっていた」とこと(a)と、それなのに「『美に至りえない病』を見出してしまった」とこと(b)の二点が述べられている。したがって本問では、それぞれの「病」の意味を明らかにしながら、わかりやすく説明することを心がけよう。

まず、「『美に至る病』に向かっていた」ことについては、傍線部の段落に記述がある。筆者は「美術とは美を作り出す術である」という自分の定義を捨てきれずおり、今も「『美に至る病』に罹ることこそが芸術家の使命だ」と考えたいと思っている。この定義については本文冒頭を思い出そう。筆者は、「美術」とは「美+術」であり、「作ること」すなわち「創作」をおろそかにしては「美術」は成立しないと考えていた。また、「美」は「ひとそれぞれ」であり、「百人集まれば百通りの『美』があるにちがいない」と述べていた。つまり、芸術家の使命は、自分の「美」に向かって創作すること、端的に言えば、「美」の創造だ、ということになる。

a 芸術家の使命は「美」の創造だと考えていた

次に、「『美に至りえない病』を見出してしまった」ということの意味(b)と、そうなった理由(c)を考えよう。「美に至りえない病」に関

問三 傍線部の内容について選択肢の中から選ぶ問題

（ポイント）

傍線部に関する選択肢問題は、傍線部の内容や、その前後の文脈と設問の要求を正しく理解し、選択肢を丁寧に吟味しよう。

この設問では、「価値の転換」すなわち「価値」の変化が問われている。この点に留意し、かつてはどのような価値として捉えられていたものが、どのような価値として捉え直されるようになつたのかを考えよう。

傍線部はカラヴァッジヨの宗教画「ロレートの聖母」について説明した箇所にある。まずは、この宗教画の例が、「唯一無二」の神がすべてを価値づける世界では、正義も善も、そして美さえも、最終的には神の意志へと収斂していかざるをえない」という記述を受けて書かれていることを確認しておこう。

次に、傍線部の直前に「汚れやひび割れにも」とあることに注目しよう。「ロレートの聖母」には「聖母に祈りを捧げる信徒」が描かれていたのだが、カラヴァッジヨは、「その信徒のひび割れた足」を鑑賞者に最も近い位置に描いた。そして筆者は、この絵を「『美と醜』『聖と俗』が見事に同居した問題作」であり、最高であるはずの「聖なる美」に対して、「汚れたひび割れの足を宗教画の画中で強調するなんて、通常は神への冒瀆です」と述べる。先ほど記したように、「唯一無二の神がすべてを価値づける世界」では、「美」も「神の意志へと収斂して」いくはずである。宗教画は、「神の意志」に通じる「聖なる美」が描かれるはずのものなのである。しかし、カラヴァッジヨは「汚れたひび割れの足」という「俗」世間の「醜」いものを強調して描いた。そのため、「神への冒瀆」に当たると否定的に評価されていたのである。

では、このような価値がどのように変化したのか。傍線部を含む一文に、「しかし、その俗人の足に苦難の道という宗教的過程を重ねあわせ

るなら、汚れやひび割れにも価値の転換が生まれてきます」とある。祭壇にひざまずく多くの信者は「俗人（＝世間一般の人）」であり、「日々泥まみれになつて働き、様々な軋轢^{あつれき}を抱えて」いる。「そういう生活苦にあえぐ多くの人々にとって、カラヴァッジヨの絵の世俗性は、信仰を身近に感じとるための有効な手がかりとなりえた」と言うのである。「泥やひび割れや俗悪や野卑といった生活感覚を伴つたリアルな信仰」、「当事者意識が感じられる信仰のありかた」を示しているという点で、カラヴァッジヨの宗教画には肯定的な価値がある。整理しよう。

a 唯一無二の神がすべてを価値づける世界において、聖なる美を描くはずの宗教画で世俗性を強調することは、神への冒瀆である

←（価値の転換）

b 日々生活苦にあえぎながら神に祈りを捧げる俗人にとって、世俗性の強調された宗教画は、生活感覚を伴つた現実的なものとして、信仰を身近に感じとるための有効な手がかりとなりえる

以上の、a・bの内容を的確に踏まえている、アが正解である。

イは、「美は本来多種多様であり人それぞれであることに鑑みれば、どのような描き方から芸術性を感じるかは個人の自由であることがわかる」の部分が、bポイントから大きく外れている。ウは、「聖母」と「信徒」が比較されている点がaポイントから外れている。ここでは「美と醜」「聖と俗」が比べられているのであり、信徒を強調して描くことがそのまま神への冒瀆になるのではない。聖なる信徒を描くことも可能なはずである。また、「宗教画にとつて重要なのは聖母よりもむしろ世俗的な信徒である」とは、本文に述べられていない。

エは、まず「いつの世も人間は生活苦にあえぎながら生きている」が言いすぎである。本文では「いつの世も、祭壇にひざまずく多くの信者は……」と述べており、すべての人間が生活苦にあえいでいるとまでは

B

について。まず、Bの直前に「それは」という指示語があることに注目しよう。「それ」は、「聖と俗」の共存によってカラヴァンジヨが人々にもたらしたもの」を指している。また、Bの後ろに、「それ」の内容として「泥やひび割れや俗悪や野卑といった生活感覚を伴つたリアルな信仰」、「当事者意識が感じられる信仰のありかた」があげられている。筆者はこうしたカラヴァンジヨの世俗性を評価していたのである。Bの文脈では、「それ」は「きれいなBとしての信仰ではなく」と否定されているので、「きれいなBとしての信仰」とは、俗人の生活感覚や当事者意識を伴わず、リアル（＝現実的であること）な信仰とは思えない、「きれいな」だけの信仰ということになる。したがって、現実にはありそうもないことを意味する、工「絵空事」が正解である。ウ「聖化」を選んだ人もいるだろうが、右に述べたように、筆者は、カラヴァンジヨの宗教画を高く評価しているのだから、Bには、現実から離れて単に「きれいな」だけにすぎないという、否定的なニュアンスを伴う言葉を入れるのが適当である。

C

Cについて。Cの文脈を確認すると、筆者自身の展覧会について、「こうして英訳タイトルも決まり、表向きはCとなつた」と述べている。「英訳タイトル」については、この前の部分に、「美」という言葉をBeautyと訳すべきか、ArtあるいはAestheticsとすべきか、関係者の間でずいぶんもめたが、結局Beautyと訳すことにした、といいきさつが述べられていた。したがって、いろいろともめたものの、とりあえずは事態が決着したということを示す、カ「一件落着」が正解である。

D

Dについて。Dは、「二十世紀初頭」の「ロシア・アバンギャルドの抽象画」について述べられている部分にある。筆者は、これは「美しいかどうか」などとDすること自体がブルジョア階級の

特權的意識であるとして否定するという、過激な芸術的態度の表明」だつたと言う。Dの前の段落にあるように、こうした芸術活動が生まれる以前にも、ある芸術作品に対しても「美しい」かどうかではなく、「正しい」かどうか、「厳密」かどうかが問われるケース」があり、レンブラントの自画像についても、「美しい」という言葉を用いるべきか否か疑問を感じるものであったと述べられている。そして、「二十世紀初頭」の「ロシア・アバンギャルドの抽象画」に至ると、これはそもそも「美しいかどうか」を問題にすること 자체が否定されるような芸術活動だったというのである。したがって、Dには、「あることをめぐつてさまざまな意見が交わされている」という事態に即した言葉を入れるのがよい。これに最も近い語義をもつものとして、「あれこれとうわさすること」という意味の、イ「取り沙汰」が正解である。

【設問解説】

問一 語句の読みと意味の問題

ポイント

言葉の知識は、本文を読解する上で基本である。しっかりと身につけよう。なお、語句の意味の問題では、辞書的な意味を踏まえた上で、文脈と照らし合わせることが大切である。

aの「収斂」は「しゅうれん」と読む。意味は、「収縮すること／収縮させること。集まって一つにまとまるること」であり、アが正解。他の選択肢は「収斂」の意味から外れている。

bの「軋轢」は「あつれき」と読む。意味は、「人の仲が悪くなること。争いあって不和になること」であり、エが正解。ちなみにエの「反目」は「仲の悪いこと」という意味である。アは「葛藤」はよいが、「苦悩」が「軋轢」の意味から外れている。イ・ウ・オはどちらの熟語も「軋轢」の意味から外れている。

cの「躊躇」は「ちゅうちょ」と読む。意味は、「決心がつかず、べづぐずすること。ためらうこと」であり、エが正解。他の選択肢は「躊躇」の意味から外れている。

問二 空欄に適切な言葉を補う問題

ポイント

選択肢の語句の意味を踏まえた上で、空欄の前後の文脈を正確におさえよう。

まず、選択肢の言葉の意味を確認しておく。

ア 「自画自賛」 || 自分で自分のことをほめること。

イ 「取り沙汰」 || あれこれとうわさすること。取り扱って処理すること。

ウ 「聖化」 || 神にささげるために、ある人や物、場所などを世俗的の使用から区別すること。

エ 「絵空事」 || 現実にはありそうもない作り事。

オ 「異端視」 || 正統から外れたものとして扱うこと。

カ 「一件落着」 || 一つの案件・事件に決着がつくこと。

では A について考えよう。A は、カラヴァッジヨという宗教画家の例が挙げられている部分にあり、A にはカラヴァッジヨが「十六世紀後半から十七世紀初頭のヨーロッパ」でのように評価されてきたかを踏まえた言葉が入る。そこで A の前の内容を確認すると、「西洋のキリスト教世界では」「正義も善も、そして美しさも、最終的には神の意志へと収斂していかざるをえない」と書かれている。一方、A の後ろの文脈では、「カラヴァッジヨの作品は『美と醜』『聖と俗』が見事に同居した問題作」であり、「汚れたひび割れの足を宗教画の中で強調するなんて、通常は神への冒瀆（＝神聖なものや清純なものを、おかしけがすこと）です」と述べられている。したがって、通常の宗教画家からは外れたあり方をしていると見なされていたことを表す、オ「異端視」が正解である。

この展覧会には哲学的な美の追究が含まれているので、「美学」を意味する「Aesthetics」を用いるべきだと述べた。結局、今回の展覧会の大衆性を考慮して、「Beauty」というシンプルな訳に落ち着いたが、筆者はこの時以来、日常も芸術も学問も、すべてに「美」という言葉が共通に用いられる日本語と同じ、日常的な美には、「Beauty」、芸術的な美には、「Art」、学術的な美には、「Aesthetics」と使い分ける英語とのズレに混乱させられたことになった。

たゞえば我々は、花鳥風月を描いた伝統的な日本画に対しては、「美」という言葉を用いて評することができる。しかし、西洋美術においては、美よりも正しさや厳密さが問われるケースがあつたし、二十世紀に入ると、「美しいかどうか」を問うこと 자체が否定されるような芸術活動も登場した。これは、西洋流と日本流どちらが良いかという問題ではなく、言語の違いによって世界の分類法が異なつており、そのことが「美とはなにか」という問いに大きく関わっていることを示している。

III 「美」への不信（「冒頭で、私は……」～文末）

筆者は、本文の冒頭で「美は多種多様である」と述べた。しかし、IIの考察を通して、「美術は多種多様である」と言い換えるべきかもしれないと考えるようになつた。というのは、特に現代美術において「美」以外のテーマが頻出していることを考えると、「美」は多様な美術の内容の一部として位置づけられるにすぎないと感じるようになったからだ。

I で、筆者は、「美術とは美を作り出す術である」と定義していた。そして、今でもその定義を捨てきれずにより、「美に至る病」に罹ることこそが芸術家の使命だ」と言いたい気持ちでいる。しかし、実際の創作において、「美」という概念が必ずしも当てはまらないような様々な芸術活動を見、また、日本語の「美」が他の言語圏の人々にそのまま流通するわけではないということを考えたとき、筆者の「美」への信頼が大きく揺らぎ出すのを感じもあるのである。こうして筆者は、「美に至りえない病」、すなわち、「美」への不信」というつきあつて行くべきかを自問するに至る。一人の美術家として、これからも美術とつきあつていこうとする筆者は、「美」を信じたいと思う一方、美への不信の思いも抱え、「根源的な「美」の迷い子」になつたような戸惑いを隠せないのである。

II

日本語の「美」

・ 日常にも芸術にも学問にも共通に用いられる
⇒

英語の「美」

・ 日常的な美には、「Beauty」、芸術的な美には、「Art」、学術的な美には、「Aesthetics」という使い分けがある
⇒

伝統的な日本画

・ 「美」という言葉で評価できない
⇒

西洋美術

・ 「美」という基準では必ずしも評価できない
・ 時代や社会によつて「美」の概念や美術制作のありようが変化していく
る
⇒

III

現在の筆者にとっての「美」や「美術」

・ 「美」は多種多様である
・ 「美術」も多種多様である
・ 「美」への信と不信のはじまで迷う
⇒

【本文要旨】

本文は、「美」や「美術」のあり方について、自分の体験も交えながら、さまざまな角度から考察した文章である。以下、本文を三つの部分に分けて、その内容を確認しておこう。

I 筆者の「美」や「美術」の概念（冒頭～「……『美』のありようにはかなりません。」）

「美術」とは、文字通り「美」を作り出す「術」である。絵筆の走らせ方、彫刻刀の使い方など、創作の「術」をわざわざにしては「美術」は成立してこない。一方、「美」の感受は「ひとしそれぞれ」である。何を「美」と感じるかは人によって多種多様なのが「美」の魅力なのである。

しかし、西洋のキリスト教世界では、唯一無二の神がすべてを価値づけており、「美」も神の意志へと収斂していくと考えられていた。美を「ひとそぞれ」とは捉えていないのである。ところが、宗教画家のカラヴァッジオは、「聖なる美」を描くはずの宗教画の中に、信者の汚れたひび割れた足を強調して描いた。キリスト教世界の美の概念からすれば、このような世俗的なものを強調することは神への冒瀆である。だが、見方を変えれば、日々生活苦にあえぎながら神に救いを求めている多くの信者にとって、「聖と俗」が共存するカラヴァッジオの絵は、信仰を自分の問題として身近に感じとれるための有効な手がかりとなりえるのではないか。本来は唯一無二の真理を求めるキリスト教世界においても、ひとりひとりがそれぞれに感じとれる多様な美的価値が存在するのである。「美のアーミズム」とでも言えるような、こうした拡散し遍在する「美」のありようが、筆者の美術への興味の拠り所となっている。

II 日本語の「美」と英語の「美」の違い（「『美』という言葉のことを考えるととき、……」「……大きく関わってくるという点に注目したいのです。」）

筆者が自分の個展を開催したとき、その展覧会の日本語タイトルである「美に至る病」をどのように英訳すべきか、もめたことがある。英語で「美」は『Beauty』と訳されるが、この言葉は、顔立ちやスタイルといった表面的な見目麗しさを指す語であり、芸術作品における「美」を表現するなら、『Art』とすべきではないか、という提案がなされた。さらに別の知人は、

読解のポイント・チェック

- A 筆者の「美」や「美術」に対する考え方が読み取れたか。
B 筆者が自分の展覧会を通して考えた内容が読み取れたか。
C 「美に至りえない病」とは、どのようなことを指して言われたものかが読み取れたか。

I 【本文の見取図】

筆者の考え方

- ・ 美術 ≡ 「美」を作り出す「術」
- ・ 「美」……ひとしそれぞれ好みの異なるもの
 世界に拡散し遍在するもの
- 「術」……創作の技術

西洋のキリスト教世界

- ・ 唯一無二の神がすべてを価値づける世界
- ・ 「美」も神の意志へと収斂する

カラヴァッジオの宗教画

- ・ 「聖と俗」の共存
- ・ 生活感覚を伴つたリアルな信仰のありかたを描写

美的価値の多様性



二 現代文

【解答】

- 問一 a (読み) しゅうれん (意味) ア
b (読み) あつれき (意味) エ
c (読み) ちゅうちよ (意味) エ
- 問二 A オ B エ C カ D イ
- 問三 ア

問四 芸術家の使命は「美」の創造だと信じていたが、「美」の概念やその創作の営みは時代や社会や言語によって異なる多様性を持つことに気づき、「美」への不信が生じたため、制作できないという思いにとらわれたこと。(99字)

問五 イ・ウ (順不同)

- 問一 3点×3 問二 2点×4 問三 7点 問四 14点
問五 6点×2

【配点】(五十点)

森村泰昌（もりむら・やすまさ）「美術、応答せよ！」（筑摩書房の月刊「ちくま 第五一三号」一二〇一三年十二月発行）より出題。なお、問題作成の都合上、途中に一部省略した箇所がある。

【出典】

【本文要約】

「美術」とは「美」を作り出す「術」であり、「美」は個々人によって異なる多種多様なものとして、世界に拡散し遍在している。「美」の創作が芸術家の使命だとしても、「美」の概念は言語によっても時代や社会によっても異なっている以上、現代美術がそうであるように、創作の営みも多種多様なものとなる。一人の美術家として、今後も美術とつきあつていこうとする「私」は、「美」への信と不信のはざまで迷いにとらわれてもいる。(200字)

【重要語句】

- ・披瀝（ひれき）……心中の考えを包み隠さずにうちあけること。
- ・冒瀆（ぼうとく）……神聖なもの、清純なものを、おかしけがすこと。
- ・世俗（よき）……世の中。俗世間。世間一般に行われているさま。
- ・野卑（やび）……下品で、いやしいこと。
- ・汎神論（はんしんろん）……あらゆるものに神が宿り、神と世界は本質的に一体であるとする宗教観。
- ・アニミズム……自然界のあらゆる事物に靈魂が宿るとする考え方。
- ・花鳥風月……自然界の美しい風物。
- ・自我……認識・意志・行動の主体として、外界や他人から区別される自分。
- ・観念……ある物事について人が抱く考え方や意識など。

活が与えられている、……／だが、こうした現代的な監視に批判的な人も少なからずいる。……』とあることからしても、監視を手放しで喜んで受容する人ばかりでないとわかるはずである。

工について。〔8〕では、アマゾン（＝通販サイト）では、ユーザーの購買履歴や、それに類似した他のユーザーの消費傾向を解析した上で、そのユーザーが買うに違いないと予期される商品のリストを画面に表示することがあると説明されている。これについて、さらに筆者は〔10〕において「そうしたサービスによって教えられる前には、主体は実際には、『それ』を欲望したことなかった」と述べた上で、「人は、それまで一度も『それ』を欲望したことはない」のに、「ほんとうは『それ』を求めていた人」になると指摘している。つまり、アマゾンなどの企業が提供するサービスを介して消費者の「欲望」が作り出されているのである。こうした内容を踏まえている工が一つ目の正解である。

オについて。われわれが持つ多様な人格やアイデンティティが解離しないのは、われわれが本来「他でありうる」という（偶有性）を持つているからであった。ところが、現代の「遍在化」した監視社会においては、われわれの行動や属性がくまなく観察される状況にある。こうした状況がさらに進行すれば、われわれは「他でもありえた」と主張する余地を失うことになり、われわれの多様な人格やアイデンティティが解離してしまいかねない。以上が本文において筆者が現代の監視社会に見出した問題点であった（**本文要旨 III**）。このような問題点は、監視社会がもたらす効用を過信し、監視によって奪われるものは何もないと考えたり（〔11〕）、表面的にプライバシーや自由が奪われていると考えたり（〔12〕・〔13〕）するだけでは浮かび上がることのないものであろう。こうした内容を踏まえたオが二つ目の正解。

力について。アマゾンは、ユーザーの過去の購買履歴や他のユーザーの消費傾向を分析した上で、「そのユーザーが買うに違ないと予期される商品のリスト」を表示する。あるいはグーグルで何か検索する際に

こうした内容を傍線部と対応させて整理すると、

↑ I 監視のありよう

- a 1 監視が遍在化して
- a 2 個々人の行動や属性が恒常的な観察にさらされる

↑ II I によって奪われているもの

- b 1 社会の中で多様な役割や人格を担う人間にとつて人格の解離を防ぐ拠り所となる
- b 2 他でもありますという可能性
- c (b 1・b 2) が奪われている

というポイントが得られる。あとはこれらを制限字数に留意してまとめよう。

問六 本文の内容に合致するものを選択肢の中から選ぶ問題

ポイント

内容合致の問題は、一つ一つの選択肢の意味を正確に理解し、本文と照らし合わせて吟味しよう。

順を追って、選択肢を検討していこう。

アについて。確かに筆者は、フーコーがパノプティコンから析出した近代社会の監視（＝古典的監視）と遍在化した現代社会の監視とを対照させているが、それは近代から現代にかけての監視のありようの変質について説明しているのであって、フーコーが析出した近代社会のありようについての妥当性に疑義をはさむものではない。したがって、「監視が遍在化した社会の出現」によって「フーコーがパノプティコンの監視から析出した近代社会の姿は虚像に過ぎないことが明らかになった」というのは誤りである。

イについて。「人は本来それぞれの帰属先に応じて多様なアイデンティティを持つ存在」であるとする点は^[16]の内容に照らして正しいと言えるが、「メディアが画一化した現代では、そうした多様性が失われつづる」という点は本文の内容と適合しない。第一に、「メディア」が現代において「画一化」しているなどという内容がそもそも本文にない説明であるし、第二に、アイデンティティの多様性が「失われ」ているとも一切述べられていない。「失われ」ている（＝奪われている）とすれば、【本文要旨】Ⅲで見たように、遍在化する監視によって多様な人格やアイデンティティが解離することを防いでいる「他でもあります」という〈偶有性〉であろう。

ウについて。確かに、防犯カメラの犯罪抑止力について人々はその意義を認めつつあることは^[6]で説明されているが、「いまや誰もが積極的に監視を受容しようとしている」とする点は明らかに誤りである。^[11]・^[12]の記述を確認すると「……防犯カメラによって、安全な街と安心な生

問五

傍線部の内容を説明する記述問題

「ポイント」傍線部に関する記述問題は、傍線部に関わる文脈と設問の要求を正しく理解し、それに対応する内容を過不足なく書く必要がある。自分の解答は必ず読み直して論理的でわかりやすい文章になるよう推敲しよう。

現代の監視社会において人間から奪い去られているものについて説明させる問題である。傍線部に「監視されることで、われわれは何かを奪われているのだ」とあることから、「奪われている」ものについての説明はもちろんのこと、それを生み出している「監視」のありようも踏まえた解答作成が求められる。

まずは、われわれが監視されることによって「奪われている」ものは何だろうか。これについては、傍線部直後の〔15〕に「その点を説明するために、補助線を引こう」とあることから、〔16〕以降の論旨を丁寧に追っていくことにしよう。

われわれは、「さまざま社会的なコンテクストにおいて、異なる役割を担い、異なるアイデンティティを引き受け」ながら生きる存在である。ところが、こうした多様な役割を貫通する積極的な同一性はない。

それならば、われわれは「多重人格」になつてもおかしくないはずなのに、実際には人格が解離して「多重人格」になることはない。それはなぜか。

筆者はここでさらに考えを進める。いま、われわれの多様な役割を貫通する積極的な同一性はないと言つたが、もし仮にそれらを貫通するものがあるとすれば、それはたとえば「私は、父、会社員、同窓生等のいずれにも戻れない、という否定性」、「すなわち「いざれでもない」「他でありうる」という自己のありようである。そして、これによつて、「人格の多重化」が避けられると筆者は言う。たとえば、われわれは

家で子どもを相手に「父親」という役割を演じているときであつても、会社から電話がかかってきたら「会社員」の役割へと切り替えることができる。つまり、ある役割を演じているときであつても、必要に応じて役割を演じ替えることができる。われわれは「他でありうる」ことが保証されていればこそ、そのつの役割に埋没してしまうのではなく、役割を演じる「私」というアイデンティティを確保でき、人格の多重化や解離を避けることができるのである。もし仮に、本当に「多重人格」であるならば、ある人格（役割）から別の人格（役割）へ切り替えることができる「私」というものが存在せず、多様な人格を一つの「私」にまとめてあげることができない。つまり本当の多重人格とは「他でありうる」ということが保証されていないことを言うのである（〔16〕～〔18〕）。

以上を整理すると、

社会の中で多様な役割や人格を担う人間にとつて、人格の解離を防ぐ拠り所となるのは他でもありますという可能性である

ということになる。この認識が、本問にアプローチする際の前提（補助線）となるものである。
さて、本問は監視によつてわれわれが奪われているものは何かを説明する問題であった。それでは、われわれは監視によつて一体何を奪われているというのだろうか。それは、いま見てきたような、われわれの「人格の多重化」を防ぐ拠り所となつてゐる「他でありうる」という性質である。なぜなら、現代社会においては、「監視する眼がいたるところに分散」してゐるために、「私のすべての行動、私についてのあらゆる属性は、常に誰かに観察され記述されている」という方向に向かつてゐるからだ。そのような社会においては、「記述されたことはすべてではない、私は他でもありました」と主張することはできなくなつてしまふであろう（〔19〕・〔20〕）。

問四 傍線部の内容を説明する記述問題

「これに批判的な勢力」という傍線部について、その「批判」の要点を指摘させる問題である。まずは、傍線部中の「これ」という指示語の内容を確認し、「批判」が何について向けられたものなのかを明らかにすることから始めよう。傍線部直前に「まずは防犯カメラ。防犯カメラが各地で増加していく過程では、これに批判的な勢力も少なからずあった……」とあるように、「これ」とは「防犯カメラが増加していくことを指している。つまり、前の段落までの文脈を踏まえると、この設問では〈防犯カメラが増加していくこと〉で監視が徹底されていくことへの批判」の内容が問われていることがわかる。では、その「批判」とはどういうものか。傍線部直後には「防犯カメラは必要だ、としてこれを支持する者が多い。防犯カメラは、犯罪者の逮捕に役立ってきた。また、多くの人は、カメラが犯罪の抑止に役立っていると考え、安心感を高めている」というように、防犯カメラを肯定的に受け止める立場の考えが説明されているだけで、それに対する「批判」の中身は見当たらぬ。そこで、本文をさらに読み進めていくと次のようない内容に行き当たる〔11〕～〔13〕。関連する箇所だけ引用してみよう。

「このような監視によって、われわれは何かを失うのか。……むしろ、よいものを与えられている、と言う人の方が多い。防犯カメラによって、安全な街と安心な生活が与えられている……」〔11〕

「だが、こうした現代的な監視に批判的な人も少なからずいる。……たとえば、監視によってあなたのプライバシーが侵される、と言われる。……」〔12〕

「監視が何かの自由を奪うと主張する人もいるが、……」〔13〕
このような内容から、防犯カメラが増加していくことについての「批判」の内容は、〈プライバシーが侵されること〉や〈自由が奪われるること〉だとわかる。
以上を整理すると、

Ⅰ 「批判」されているもの

a 防犯カメラの増加による監視の徹底 〔6〕

Ⅱ Ⅰに対する「批判」の内容

b プライバシーが侵されること 〔12〕

c 自由が奪われること 〔13〕

ということになる。制限字数が短いので、ポイントを簡潔にまとめるようになりたい。

以上をまとめると、

〈現代の監視〉

- a₁ 監視のために囲われた空間を必要としない（＝移動の先々で人は監視される）
- a₂ 国家・警察などの権力や暴力を独占している機関だけではなく、誰もが監視する主体になりうる
- a₃ 監視は積極的に受け入れられている

⇒

〈古典的な監視〉

- b₁ 監視の対象となる人物の移動を制限する囲われた空間を必要とする
- b₂ 国家・警察などの権力や暴力を独占している機関が監視の主体になる
- b₃ 監視は不安を生み出すものとして拒絶されている

ということになる。本問は、「古典的な監視」について説明させる問題であるから、b₁～b₃を的確に踏まえているイが正解である。

アは、「監視装置を至る所に設置し」という内容が誤りである。監視装置が至る所に設置されるのは、「古典的な監視」についての特徴ではなく、a₁・a₂で示されているような〈現代の監視〉の特徴である。

ウは、「人々の行動を公的な場面から日常生活に至るまでくまなく監視する」という内容が誤りである。これはa₁で示されているような〈現代の監視〉の特徴であり、「古典的な監視」の特徴ではない。また、監視が「不安を醸成」するのは、監視される者においてであつて、そうした「不安」を「社会的」なものだと言い切ることには問題がある。

エは、「公的機関が……現代的な監視がその後広く人々に受け入れられる素地を作った」とする説明が誤りである。そのようなことは本文で

は全く述べられていない。

オは、「近代の権力主体が、社会の中に分散していた監視のまなざしを、国家という単一の権力装置の中に回収する」という内容が誤りである。そのようなことは本文では説明されていない。また、そもそも「監視のまなざし」が「社会の中に分散」するのは、a₁で示されているよう 「現代」の社会で生じしている事態であるから、「近代」において監視のまなざしが社会の至る所にあるとする説明は間違っている。

り、人は、自分に差し向けられたまなざしが存在していないかも知れない」ということにこそ、不安を覚えるのだ」というように、現代社会の監視は近代社会のように「地獄」であるよりは「天国」であると受け取られていることが説明されている。このことから、**C**には「二つの物事をくらべ合わせ、あれよりもこちらの方を選ぶという意を表す」副詞である「むしる」を補うのが適切である。よって、力が正解。

Dについて。空欄の直前の内容を確認すると、「インターネットの広義の監視」が、「ユーザーには都合がよい」ものであることが端的に述べられている。一方、空欄の直後では、グーグルやアマゾンといった企業の例を挙げて、そのサービスがユーザーにもたらすメリットが具体的に述べられている。こうしたことから、アの「たとえば」が正解である。

Eについて。空欄の直前で、人は様々な役割やアイデンティティを担う存在であることを踏まえ、「人は、本来は多重人格である」と述べられている。**H**において「人格の多重化＝解離」とあることから、「多重人格」である人は、人格が「解離」していると考えるのが順当であるだろう。ところがそうした見込みに反して、空欄の直後では「普通は人格の解離が生じない……」と筆者は言う。こうした文脈を踏まえれば、「前の内容から予想されることに反する内容を続ける」「逆接】の接続語が入るとわかる。よって、イの「にもかかわらず」が正解。

問三 傍線部についての内容説明を選択肢の中から選ぶ問題

ポイント

傍線部に関する選択肢問題は、傍線部の前後の文脈と設問の要求を正しく理解し、選択肢を丁寧に吟味しよう。

「古典的な監視」の特徴について説明したものを見抜き肢の中から選ばせる問題である。本文では「現代の監視」のありようと対比させて説明されているので、両者の違いを正確につかんだ上で選択肢を検討していくことが必要である。したがって、まずは「現代の監視」と「古典的な監視」の違いについて整理していく（【本文要旨】Iも参照）。

まず、「現代の監視」の特徴については②で、「監視のために囲われた空間を必要としない」こと、つまり「移動の先々で監視され、移動の軌跡自体が監視の対象となりうる」こと（a1）、さらに、「監視の主体が、社会的に一般化したこと」つまり国家・警察といった権力や暴力を独占している機関だけでなく、商店街の防犯カメラやインターネットなどに示されるように「誰もが監視する主体になりうる」こと（a2）が指摘されている。さらに、⑤では現代社会において人々はこうした監視を積極的に受け入れていること（a3）も指摘されている。

これに対しても、③・④では、フーコーの監視研究を踏まえた、パノプティコンに象徴される「古典的な監視」について説明されている。そこではまず、「古典的な監視」は「対象となる人物（＝犯罪者、作業員、生徒など）の移動を制限する」（＝刑務所、工場、学校など）を必要」とすること（b1）、そして、監視は国家・警察などの「単一の主体」によって担われるること（b2）が指摘されている。さらに、監視されている人は、「監視に対して拒絶的」であり、「監視されている可能性への不安」を抱く（b3）のだが、そのことが「近代的な主体（＝命令されなくても自分の意思で行動を律することのできる存在）を形成する」といったことが述べられている。

【設問解説】

問一 漢字の書き取りの問題

・ポイント

漢字の知識は、得点源になるだけでなく、現代文を読解する上での基本である。しつかり身につけよう。

aは〈移動した痕跡〉という意味で、「軌跡」と書く。〈常識的には起りえない不思議な出来事〉を意味する「奇跡」と書き間違えないようにしたい。

bは〈きわめて数量の多いさま〉という意味で、「膨大（厖大）」と書く。

cは〈ある状態や目的に行き着くこと〉という意味で、「到達」と書く。「到」の字を「倒」「致」などの似た文字と書き間違えないように注意してほしい。

dは〈ありさま、ありよう〉という意味で、「様相」と書く。

eは〈ある物事に伴つて起こること〉という意味で、「随伴」と書く。「隨」の字を「髓」「隋」などと書き間違えないようにしたい。

問二 空欄に適切な言葉を補う問題

・ポイント

空欄補充の問題は、空欄の前後の文脈を正しく読み取ることが大切である。

ア～カのうち、ア～オは接続詞、カは副詞であるが、ひとまずそれぞれの働きを確認しておこう。

イ 「にもかかわらず」……【逆接】前の内容から予想されることに反す
ウ 「したがって」……【順接】前の内容からして順当な内容を続ける。
エ 「あるいは」……【列挙】同類の事柄をあげて、いろいろな場合があることを示す。

オ 「さて」……【話題転換】前の内容とは別の話題に話を変える。
カ 「むしろ」……【比較選択】二つの物事をくらべ合わせ、あれよりもこちらの方を選ぶという意を表す。

〔A〕について。空欄を含む一文を確認すると、「商店街が設置する防犯カメラが示しているように、〔A〕インターネットの例がよりはつきりと示唆しているように、誰もが監視する主体になりうる」とある。ここでは、「誰もが監視する主体になりうる」例として、空欄前後で同類の事柄が列挙されていると考えられる。したがって、エの「あるいは」が正解である。

〔B〕について。④において、筆者は古典的な近代社会における監視が人々から拒絶されていたことを指摘する。⑤ではそれを受け、現代社会の監視が人々にどのように受け取られているかを述べている。そこでは、「現代社会にあっては、人々は監視を必ずしも拒否してはいない。監視（まなざし）は地獄ではない。〔B〕、監視は天国の必要条件であ

されている。たとえば、グーグルで同じ言葉を検索しても、ユーザーの過去の検索履歴を基にして、ユーザーが求めていると予想される結果が優先して表示される。あるいはアマゾンでは、ユーザーの購買履歴と、それに類似した他のユーザーの消費動向を踏まえながら、そのユーザーが買うに違いないと予想される商品のリストが表示される。こうしたことが示唆するのは、本人に自覚のない欲望までが、アマゾンなどのサービスによって、客観的な欲望として存在させられているということである。(6～11)

われわれの身体のみならず欲望(＝精神)まで監視されていると言つてもよいこうした状況に対し、プライバシーや自由が奪われる危険性があると批判する人々もいる。しかし、こうした批判は見当はずれである。現代の監視は反社会的な行為でも行わない限り、日常生活を普通に営むわれわれのプライバシーや自由を奪うものではないからである。(12・13)

III 現代の監視がわれわれから奪うもの (14～20)

だからと言つて、われわれが監視によって何も奪われていないと言うのは速断に過ぎる。われわれは監視によって確実に何かを奪われている。(14～15)

日常生活においてわれわれは多様な役割やアイデンティティを引き受けている。そこでわれわれはいわば多重人格者として生きざるをえない。にもかかわらず、普通は人格の解離が生じない。それは、複数の役割を担いつつも、われわれに、たえず「いずれでもない」「他でありうる」という〈偶有性〉が保証されており、その〈偶有性〉が人格の多重化＝解離を防いでてくれるからである。(16・17)

現代の監視がわれわれから奪っているものとは何か、という問いの答えもここにある。それは、個人のアイデンティティを根源において構成する「他でもありえた」という〈偶有性〉にほかならない。現代社会は監視の目を遍在化させることで、われわれのあらゆる行動を観察し、われわれの「他でもありえた」可能性を奪い取る方向へとつき進みつつあるのだ。(18～20)

・プライバシーや自由が奪われる

⇒

現代の監視に肯定的な立場

- ・防犯カメラは犯罪の抑止力を持つ
- ・グーグルやアマゾンは、ユーザーが求めているものを予想して表示してくれる

III

現代の監視社会

・個々人の行動や属性が恒常に監視の眼にさらされる

←

- ・人格の多重化＝解離を防ぐ拠り所である、他でもありうるという〈偶有性〉が奪われる

【本文要旨】

本文は、現代の監視社会の特徴を分析しながら、そうした社会が、人格の解離を防ぐ拠り所としての、他でもありうるという「偶有性」をわれわれから奪いつつあることを論じた文章である。本文を便宜的に三つの部分に分け、それぞれの内容を確認していこう。なお、形式段落は①～⑩で表記することとする。

I 古典的な監視と現代の監視（①～⑤）

われわれは恒常的に監視の目にさらされている。一口に監視といつても防犯カメラのようなもの以外に、クレジットカードや高速道路のNシステム、あるいは携帯電話といったものも、われわれを監視する媒体となりうる。

①

このように、現代は監視が遍在化した社会へと突き進んでいるが、現代の監視は古典的な監視とは本質的に異なるものである。現代の監視のもとでは、われわれはどこにいても監視の対象となり得るし、その監視は国家や警察などの権力を持つた組織・集団だけに限らず、誰でも行いうる。これと対照的に、パノプティコンに象徴される古典的な監視は、監視の対象となる人物（＝犯罪者、作業員、生徒など）の移動を制限する「囲われた空間（＝刑務所、工場、学校など）」を必要としていたし、そこでの監視は国家などの「單一の主体」によって担われていた。（②・③）

パノプティコンに近代社会の権力の構図を見て取ったフーコーが、監視への不安が近代的な主体（＝命令されなくとも自分の意思で行動を律するよう仕向かれた存在）を形成すると論じたように、古典的な近代社会の人々は監視に対して拒絶的であった。それに對し、現代社会では人々は必ずしも監視を拒否していない。それどころか、監視の不在にこそ人は不安を覚えるまでになつてている。（④・⑤）

II 現代の監視の受け入れられ方（⑥～⑩）

現代社会では、犯罪の抑止力を持つ防犯カメラによる監視の意義が認められつつある。さらに、インターネットによる広義の監視はより積極的に歓迎

読解のポイント・チェック

- A 現代の監視と古典的な監視の違いが読み取れたか。
B 人々が現代の監視社会をどのように受け止めているか読み取れたか。
C 現代の監視によって、何がわれわれから奪われているのか読み取れたか。

【本文の見取図】

I 古典的な監視

- ・監視の対象となる人物の移動を制限する囲われた空間を必要とする
・国家や警察などの権力や暴力を独占している機関が監視の主体になる
・監視は不安を生み出すものとして拒絶されている

⇒

現代の監視

- ・監視のために囲われた空間を必要としない（＝移動の先々で人は監視される）
・国家や警察などの権力や暴力を独占している機関だけでなく、誰もが監視する主体になりうる
・監視は積極的に受け入れられている

II

現代の監視に否定的な立場

【国語】

【本文要約】

特定の主体による限定的な古典的監視とは異なり、現代のわれわれは遍在的な監視に恒常的にさらされているが、この事態は一般に安全で便利な生活に利すると肯定的に捉えられている。だが、こうした監視がわれわれの行動や属性をくまなく監視してしまうことによって、多様な役割を引き受け生きて生きるわれわれの人格が解離し多重人格化することを防ぐ、他でもありうるという（偶有性）が奪われているという問題を見過ごしてはならない。

【解答】 一 現代文

- 問一 a 軌跡 b 膨大（厖大） c 到達 d 様相
e 随伴

- 問二 A 工 B 力 C ア D イ

- 問三 イ

- 問四 徹底した監視によりプライバシーや自由が喪失するという批判。

(30字)

- 問五 監視が遍在化し、個々人の行動や属性が恒常的な観察にさらされることで、社会の中で多様な役割や人格を担っている人間にとつて人格の解離を防ぐ拠り所となる、他でもありうるという可能性が奪われているということ。(100字)

- 問六 エ・オ（順不同）

【配点】（六十点）

問一 2点×5	問二 2点×4	問三 6点	問四 8点
問五 16点	問六 6点×2		

【出典】

本文は、大澤真幸（おおさわ・まさち）「現代の監視はわれわれから（無）を奪う」（『學燈』第一一〇号 二〇一三年秋号所収、丸善出版）の一節である。なお、問題作成の都合上、途中に一部省略した箇所がある。

【重要語句】

・遍在……広くあちこちに行きわたって存在すること。

〔参考〕
偏在……あるところにだけ偏つて存在すること。）

・コンテクスト……文脈。前後関係。

・アイデンティティ……自分が自分であるとの証明。自分らしさ。

・自己同一性。

・属性……ある事物に備わる性質や特徴。

自己採点シート

自己採点シートの使い方

①まずは自己採点

「学習手引き」の【解答】に従って自己採点してみましょう。
論述問題配点が大きい問題については【設問解説】を読んでおよその点数を予想してみましょう。

②設問ごとにチェック

満点に対してどれだけ得点できたか、得点率を計算し、設問ごとに比較してみましょう。「特に克服補強すべき分野」として、☆に色を塗りましょう。

③何ができるなかつたのか確認しよう

②でチェックした設問を中心に何ができるなかつたのが確認し、具体的に何をどの程度のペースで学習していくのか、「今後の課題と学習プラン」を記入してみましょう。

④成績返却時には統計集を確認しよう

個人成績表と同時に返却されるANTEN NA(成績統計資料)には「見直しシート」が付いています。自分の結果を全国(校内)結果と比較し、ANTENNA成績統計資料に記載している「学習対策」を使って復習するとともに、次回へ向けて具体的な目標得点をたててみましょう。

クラス	番号	氏名

教科・科目	設問ごとの得点						合計	今後の課題と学習プラン (例) 基本の考え方や公式をしっかりと自分のものにする。
	1	2	3	4	5	6		
英語	リスニング (得点率) % ☆	発音・アクセント (得点率) /20	文法・語法・熟語 (得点率) /8	整序作文・和文英訳 (得点率) /32	長文総合 (得点率) /40	長文総合 (得点率) /55	長文総合 (得点率) /45	合計 /200
数学	数学Ⅰ・A・II 小問集合 (得点率) % ☆	数学Ⅱ いろいろな式 数学A 確率 (得点率) /30	数学Ⅱ 三角関数 (得点率) /70	数学Ⅱ 图形と方程式 (得点率) /50	数学Ⅱ 微分法 (得点率) /50	数学B ベクトル (得点率) /50	数学B ベクトル (得点率) /50	合計 /200
国語	現代文－評論 (得点率) % ☆	現代文－脚本 (得点率) /60	古文－歴史物語 (得点率) /50	漢文－詩話 (得点率) /50	漢文－詩話 (得点率) /40	漢文－詩話 (得点率) /50	漢文－詩話 (得点率) /50	合計 /200

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

学力アップ・志望校合格のための復習法

効率よく学力を伸ばすうえで、受験した模試を繰り返し復習することは非常に大切です。全統模試受験後には学習の手引き（解答・解説集）を読むだけでなく、下記のアイテムを積極的に活用して学力アップ・志望校合格につなげましょう。

STEP 1 模試受験後

【学習の手引き】

解答・解説をしっかりと読み、自己採点シート（巻末掲載）で克服・補強すべき分野を明確にしましょう。

【英語問題音声】

出題された音声問題の音源をダウンロードできます。繰り返し聴くことで、確実な復習を行いましょう。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※Kei-Net会員の登録（無料）が必要です。

STEP 2 成績資料返却後

【個人成績表】

現在の自分の学力状況を確認し、弱点分野については学習アドバイスを参考に今後の学習に活かしましょう。

【ANTENNA（生徒用成績統計資料）】

個人成績表の見方や各データの確認とあわせて、見直しシートや学習対策（教科科目別）も利用しましょう。

- ・見直しシート

今回の反省点とこれからの課題をチェックし、今後の対策を立てましょう。

- ・学習対策（教科科目別）

総評・設問別講評・学習アドバイスなどを読み、復習のポイントをつかみましょう。

STEP 3 長期休み中

STEP 1・2に再度必ず取り組み、確実な学力向上につなげましょう。